

基本計画書

基本計画									
事項		記入欄							備考
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者		がっこうがじん てんりだいがく 学校法人 天理大学							
フリガナ大学の名称		てんりだいがく 天理大学							
大学本部の位置		奈良県天理市杣之内町1050番地							
大学の目的		天理大学は、教育基本法および学校教育法に則り、天理教教義に基づいて、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、もって人類の福祉と文化の発展に貢献する人材、殊に世界布教に従事すべき者を育成することを目的とする。							
新設学部等の目的		人文学部6学科（宗教、国文学国語、歴史文化、心理、社会教育、社会福祉）及び国際学部5学科（韓国・朝鮮語、中国語、英米語、外国語、日本）は、18歳人口の減少はもとより、昨今の人文系学問に対する社会的関心の希薄化、COVID-19パンデミックやAIの急速な進展を背景とした国際系学科への志願者の減少といった要因を十分に捉えきれていなかったことによる志願者数減少の影響を受け、令和6年度の開設以来、入学定員を充足できていない状況にある。このため、入学定員充足率の改善と収容定員充足率の適正化を図ることを目的として、入学定員及び収容定員を変更する。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地
	人文学部	年	人	年次人	人			年 月 第 年次	奈良県天理市 杣之内町1050番地
	宗教学科	4	15 (20)	—	60 (80)	学士 (宗教学)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	国文学国語学科	4	25 (40)	—	100 (160)	学士 (国文学)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	歴史文化学科	4	35 (50)	—	140 (200)	学士 (歴史文化学)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	心理学科	4	35 (40)	—	140 (160)	学士 (心理学)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	社会教育学科	4	25 (40)	—	100 (160)	学士 (社会教育学)	文学関係、教育学・保育学関係	令和9年4月 第1年次	
	社会福祉学科	4	40 (50)	—	160 (200)	学士 (社会福祉学)	社会学・社会福祉学関係	令和9年4月 第1年次	
	国際学部								同上
	韓国・朝鮮語学科	4	25 (40)	—	100 (160)	学士 (韓国・朝鮮語)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	中国語学科	4	15 (40)	—	60 (160)	学士 (中国語)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	英米語学科	4	45 (60)	—	180 (240)	学士 (英語)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	外国語学科	4	25 (60)	—	100 (240)	学士 (タイ語) (インドネシア語) (ドイツ語) (フランス語) (ロシア語) (スペイン語) (アフリカ・ラテンアメリカ語)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	国際文化学科	4	50	—	200	学士 (国際文化学)	文学関係	令和6年4月 第1年次	
	日本学科	4	30 (40)	—	120 (160)	学士 (日本学)	文学関係	令和9年4月 第1年次	
	体育学部								奈良県天理市 田井庄町80
	体育学科	4	240	—	960	学士 (体育学)	体育関係	昭和30年4月 第1年次	
	医療学部								奈良県天理市 別所町80-1
	看護学科	4	70	—	280	学士 (看護学)	保健衛生学関係	令和5年4月 第1年次	
	臨床検査学科	4	30	—	120	学士 (臨床検査学)	保健衛生学関係	令和5年4月 第1年次	
	計		705 (870)		2820 (3480)				令第23条の2 第4項
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）		該当なし							

教育 課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数		
		講義	演習	実験・実習	計				
		科目	科目	科目	科目	単位			
学部等の名称		基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)	
		教授	准教授	講師	助教	計			
新	人文学部 宗教学科	人 3 (3)	人 2 (2)	人 0 (1)	人 0 (0)	人 5 (6)	人 0 (0)	人 119 (118)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	5 (6)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	5 (6)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	3 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	5 (6)			
	国文学国語学科	4 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	131 (131)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (6)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	4 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (6)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	4 (3)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (6)			
	歴史文化学科	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	136 (136)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (5)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	6 (6)			
	心理学科	6 (6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	8 (8)	0 (0)	137 (137)	大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	8 (8)			
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	6 (6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	8 (8)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	6 (6)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	8 (8)			

設

社会教育学科	3 (5)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (7)	0 (0)	132 (130)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (5)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (7)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	3 (5)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (7)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	3 (5)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (7)		
社会福祉学科	8 (9)	3 (8)	0 (0)	1 (1)	12 (18)	0 (0)	130 (124)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (9)	0 (4)	0 (0)	1 (1)	8 (14)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (0)	3 (4)	0 (0)	0 (0)	4 (4)		
小計（a～b）	8 (9)	3 (8)	0 (0)	1 (1)	12 (18)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	8 (9)	3 (8)	0 (0)	1 (1)	12 (18)		
国際学部 韓国・朝鮮語学科	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	147 (147)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (4)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)		
小計（a～b）	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	5 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)		
中国語学科	5 (4)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (6)	0 (0)	145 (145)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (4)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
小計（a～b）	5 (4)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		
計（a～d）	5 (4)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	6 (6)		

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
5人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
11人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
5人

大学設置基準別表第一イに定める基幹教員数の四分の三の数
5人

分	英米語学科						0	141	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (4)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (7)	0 (0)	141 (140)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (4)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (7)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (4)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (7)			
	外国語学科						0	155	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (6)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (9)	0 (0)	155 (153)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	5 (6)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (9)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	5 (6)	1 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (9)			
	日本学科						0	138	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	3 (3)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (5)	0 (0)	138 (138)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	小計（a～b）	3 (3)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (5)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	3 (3)	2 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (5)			
	計	52 (53)	16 (22)	1 (7)	1 (1)	70 (83)	0 (0)	— (—)	
既	国際学部 国際文化学科						0	145	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 5人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	4 (6)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (9)	0 (0)	145 (143)	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	3 (5)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	4 (7)			
	小計（a～b）	1 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)			
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	4 (6)	2 (2)	0 (1)	0 (0)	6 (9)			
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
	計（a～d）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			

設	体育学部 体育学科		19 (13)	5 (14)	0 (2)	1 (1)	25 (30)	0 (0)	126 (126)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 13人		
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	18 (11)	5 (14)	0 (2)	1 (1)	24 (28)						
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	1 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (2)						
	小計（a～b）	19 (13)	5 (14)	0 (2)	1 (1)	25 (30)						
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
	計（a～d）	19 (13)	5 (14)	0 (2)	1 (1)	25 (30)						
	医療学部 看護学科		6 (6)	4 (4)	9 (9)	7 (7)			26 (26)		1 (1)	159 (159)
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	4 (4)	9 (9)	7 (7)	26 (26)					大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 9人	
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)						
小計（a～b）	6 (6)	4 (4)	9 (9)	7 (7)	26 (26)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計（a～d）	6 (6)	4 (4)	9 (9)	7 (7)	26 (26)							
臨床検査学科		9 (9)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	18 (18)	0 (0)	151 (151)				
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	18 (18)		大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の 四分の三の数 11人					
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
小計（a～b）	9 (9)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	18 (18)							
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
計（a～d）	9 (9)	3 (3)	3 (3)	3 (3)	18 (18)							
計		38 (34)	14 (23)	12 (15)	11 (11)			75 (83)	0 (1)	— (—)		
合 計		90 (87)	30 (45)	13 (22)	12 (12)			145 (166)	0 (1)	— (—)		
職 種		専 属			そ の 他			計				
事 務 職 員		105人 (105人)			25人 (25人)		130人 (130人)					
技 術 職 員		0人 (0人)			0人 (0人)		0人 (0人)					
図 書 館 職 員		16人 (18人)			4人 (4人)		20人 (22人)					
そ の 他 の 職 員		9人 (9人)			0人 (0人)		9人 (9人)					
指 導 補 助 者		0人 (0人)			0人 (0人)		0人 (0人)					
計		130人 (132人)			29人 (29人)		159人 (161人)					
校 地 等	区 分		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地		342,216.76 m ²		0 m ²		0 m ²		342,216.76 m ²			
	そ の 他		28,069.17 m ²		0 m ²		0 m ²		28,069.17 m ²			
	合 計		370,285.93 m ²		0 m ²		0 m ²		370,285.93 m ²			
校 舎		専 用		共 用		共用する他の 学校等の専用		計				
		82,951.71 m ² (82,951.71 m ²)		0 m ² (0 m ²)		0 m ² (0 m ²)		82,951.71 m ² (82,951.71 m ²)				

教 室 ・ 教 員 研 究 室			教 室		室		教 員 研 究 室		室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕冊		電子図書 〔うち外国書〕冊		学術雑誌 〔うち外国書〕種		電子ジャーナル 〔うち外国書〕種		機械・器具 点	標本 点
			〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		()	()
	計		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		〔 〕 (〔 〕)		()	()
スポーツ施設等			スポーツ施設			講堂			厚生補導施設			
			㎡			㎡			㎡			
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設前年度	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
		教員 1 人当り研究費等		390 千円	390 千円	390 千円	390 千円	—	—			
		共同研究費等		926 千円	926 千円	926 千円	926 千円	—	—			
		図 書 購 入 費	42,320 千円	42,320 千円	42,320 千円	42,320 千円	42,320 千円	—	—			
		設 備 購 入 費	362 千円	362 千円	362 千円	362 千円	362 千円	—	—			
	学生 1 人当り納付金			第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次			
	人文学部・国際学部			1,240 千円	1,130 千円	1,130 千円	1,130 千円	— 千円	— 千円			
	体育学部			1,270 千円	1,160 千円	1,160 千円	1,160 千円	— 千円	— 千円			
	医療学部			1,795 千円	1,715 千円	1,715 千円	1,715 千円	— 千円	— 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		寄付金、私立大学等経常費補助金、手数料、資産運用収入、雑収入 等									

	大 学 等 の 名 称	天理大学									
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定員 充 足 率	開設 年度	所 在 地		
既 設 大 学 等 の 状 況	人文学部	年	人	年次 人	人		0.65		奈良県天理市杣之内 町1050番地	※令和6年度より 学生募集停止 (人間学部)	
	宗教学科	4	20	—	60	学士（宗教学）	0.43	令和6			
	国文学国語学科	4	40	—	120	学士（国文学）	0.45	令和6			
	歴史文化学科	4	50	—	150	学士（歴史文化学）	0.60	令和6			
	心理学科	4	40	—	120	学士（心理学）	0.76	令和6			
	社会教育学科	4	40	—	120	学士（社会教育学）	0.73	令和6			
	社会福祉学科	4	50	—	150	学士（社会福祉学）	0.78	令和6			
	人間学部						—		同上		
	宗教学科	4	—	—	—	学士（宗教学）	—	平成4			
	人間関係学科	4	—	—	—		—	平成4			
						学士（臨床心理）			同上		
						学士（生涯教育）					
						学士（社会福祉）					
	文学部						—		同上		※令和6年度より 学生募集停止 (文学部)
	国文学国語学科	4	—	—	—	学士（国文学）	—	昭和24			
	歴史文化学科	4	—	—	—	学士（歴史文化）	—	平成4			
	国際学部						0.57		同上		※令和6年度より 入学定員減 (外国語学科105 人減) および学 則の変更
	韓国・朝鮮語学科	4	40	—	120	学士（韓国・朝鮮語）	0.61	令和6			
	中国語学科	4	40	—	120	学士（中国語）	0.24	令和6			
	英米語学科	4	60	—	180	学士（英語）	0.70	令和6			
	外国語学科	4	60	—	345		0.28	平成22			
						学士（タイ語）			同上		
						学士（インドネシア語）					
						学士（ドイツ語）					
						学士（フランス語）					
						学士（ロシア語）					
						学士（スペイン語）					
						学士（ブラジルポルトガル語）					
						学士（英語）					
						学士（中国語）					
					学士（韓国・朝鮮語）						
					学士（スペイン語又はブラジルポルトガル語）						
国際文化学科	4	50	—	150	学士（国際文化学）	0.98	令和6		※令和6年度より 学生募集停止 (地域文化学科)		
日本学科	4	40	—	120	学士（日本学）	0.51	令和6				
地域文化学科	4	—	—	—	学士（地域文化）	—	平成22				
体育学部						1.11		奈良県天理市田井庄 町80	※令和6年度より 入学定員増 (体育学科40人増)		
体育学科	4	240	—	920	学士（体育学）	1.11	昭和30				
医療学部						0.95		奈良県天理市別所町 80-1			
看護学科	4	70	—	280	学士（看護学）	0.97	令和5				
臨床検査学科	4	30	—	120	学士（臨床検査学）	0.89	令和5				
既 設 大 学 等 の 状 況	大 学 等 の 名 称	天理大学大学院								※令和9年度より 学生募集停止 (宗教文化研究科 令和8年3月報告)	
	学 部 等 の 名 称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	収 容 定員 充 足 率	開設 年度	所 在 地		
	宗教文化研究科	年	人	年次 人	人				奈良県天理市杣之内 町1050番地		
	宗教文化研究専攻	2	6	—	12	修士（宗教文化研究）	0.00	平成29			
	臨床人間学研究科								同上		
	臨床心理学専攻	2	8	—	16	修士（臨床心理学）	0.87	平成16			
	体育学研究科								同上		
体育学専攻	2	12	—	24	修士（体育学）	0.79	平成27				

附属施設の概要	名称：天理大学附属天理図書館 目的：天理大学における教育研究に資するため、図書及びその他の資料を収集、整理、保存 所在地：奈良県天理市杣之内町1050番地 設置年月：大正14年8月 規模等：延面積 11,482㎡ 蔵書数 150万冊 名称：天理大学附属おやさと研究所 目的：天理教及び世界諸民族の宗教・文化を研究調査する 所在地：奈良県天理市杣之内町1050番地 設置年月：昭和17年12月 名称：天理大学附属天理参考館 目的：民俗学・民族学・考古学に関する学術研究資料を総合的に収集、整理、保存 所在地：奈良県天理市守目堂町250番地 設置年月：昭和5年4月 規模等：延面積 13,556㎡ 収蔵資料 30万点	
----------------	--	--

(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」，「新設学部等の目的」，「新設学部等の概要」，「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については，専門職大学にあつては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあつては「短期大学設置基準別表第一イ」，専門職短期大学にあつては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については，共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は，「教育課程」，「校地等」，「校舎」，「教室・教員研究室」，「図書・設備」，「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず，斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には，実技も含むこと。
- 7 空欄には，「－」又は「該当なし」と記入すること。

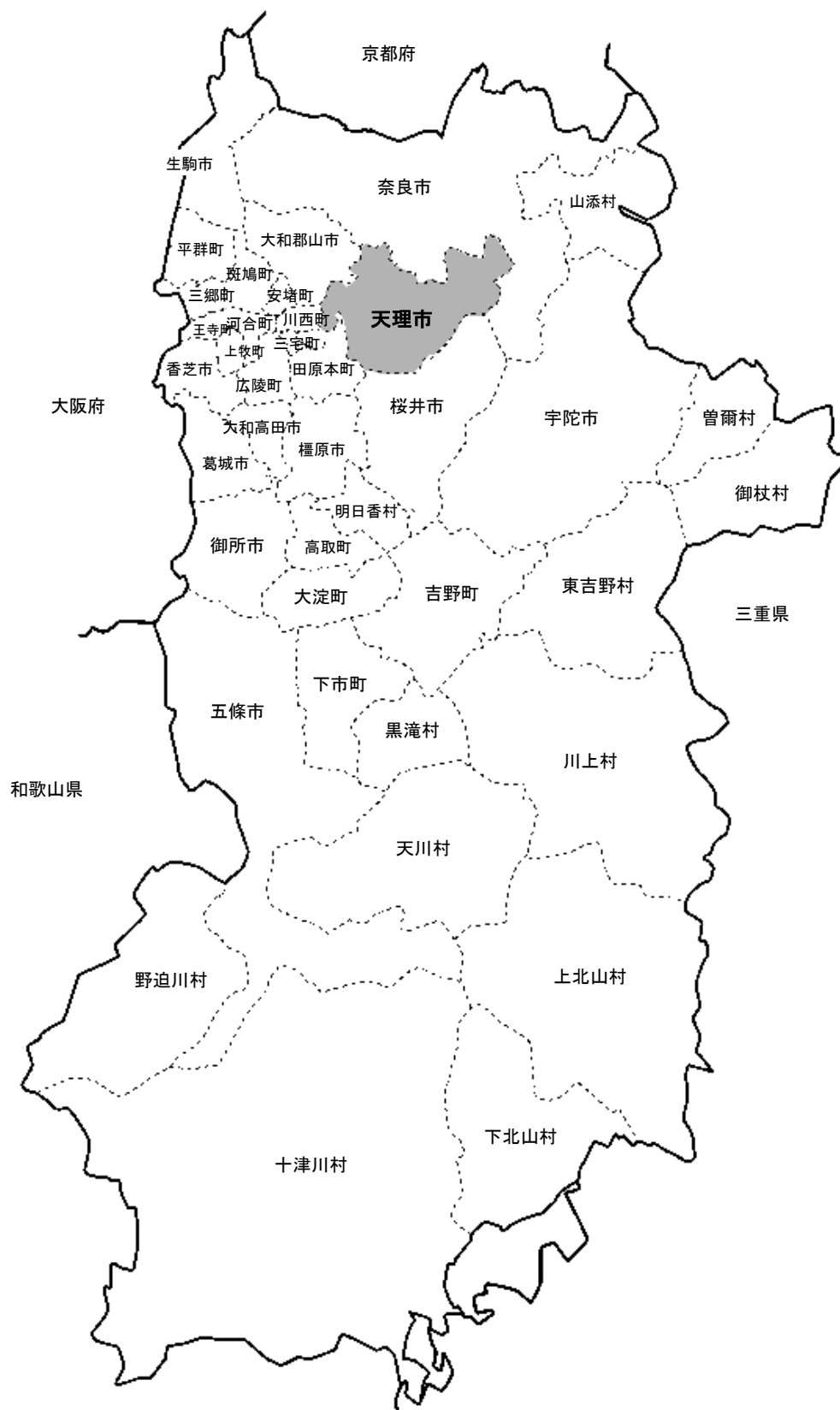
学校法人天理大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和8年度

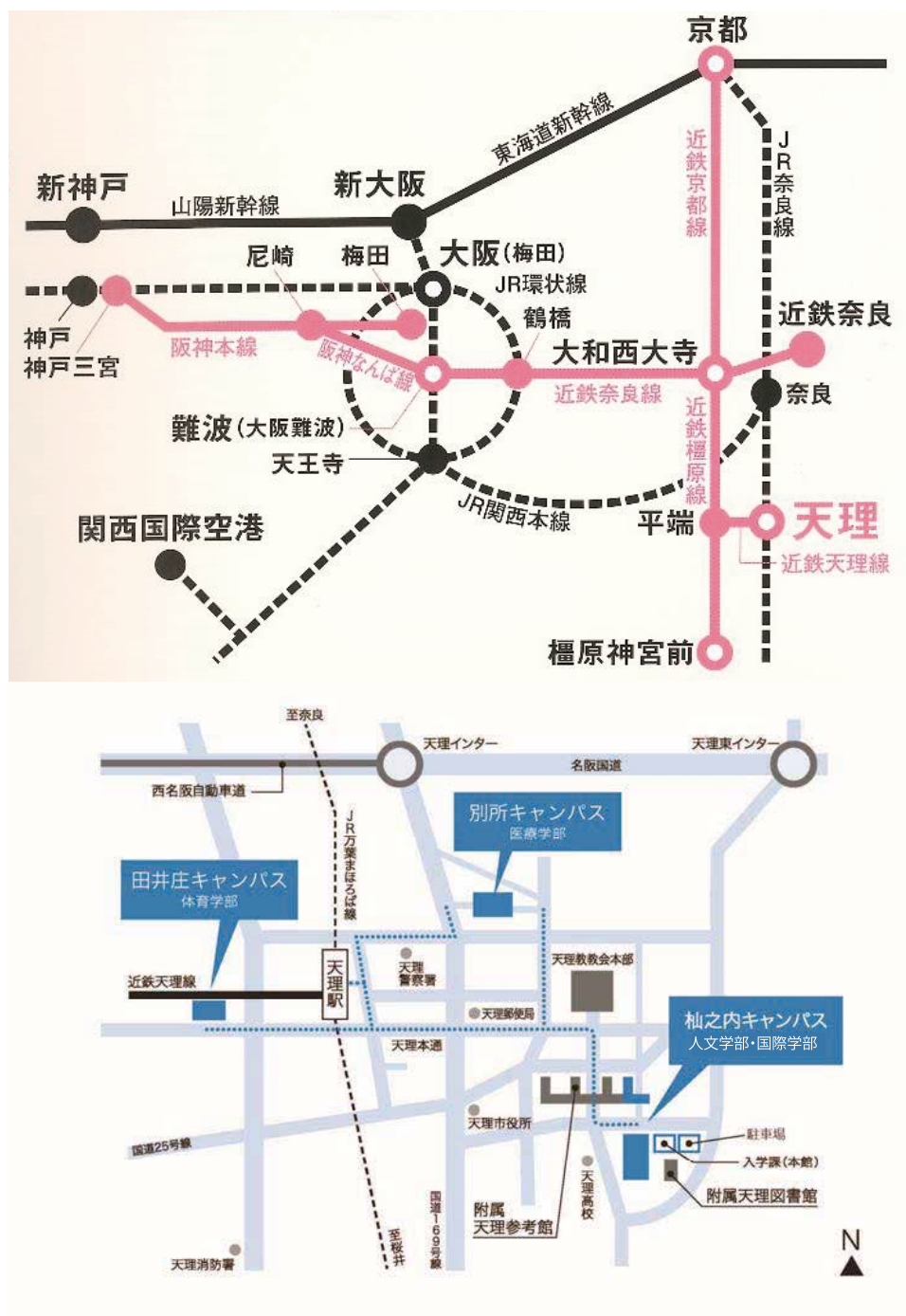
令和9年度

	入学 定員	編入学 定員	収容 定員		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
天理大学								
人文学部								
宗教学科	20	—	80	宗教学科	<u>15</u>	—	<u>60</u>	定員変更 (△5)
国文学国語学科	40	—	160	国文学国語学科	<u>25</u>	—	<u>100</u>	定員変更 (△15)
歴史文化学科	50	—	200	歴史文化学科	<u>35</u>	—	<u>140</u>	定員変更 (△15)
心理学科	40	—	160	心理学科	<u>35</u>	—	<u>140</u>	定員変更 (△5)
社会教育学科	40	—	160	社会教育学科	<u>25</u>	—	<u>100</u>	定員変更 (△15)
社会福祉学科	50	—	200	社会福祉学科	<u>40</u>	—	<u>160</u>	定員変更 (△10)
計	240	—	960	計	<u>175</u>	—	<u>700</u>	
国際学部								
韓国・朝鮮語学科	40	—	160	韓国・朝鮮語学科	<u>25</u>	—	<u>100</u>	定員変更 (△15)
中国語学科	40	—	160	中国語学科	<u>15</u>	—	<u>60</u>	定員変更 (△25)
英米語学科	60	—	240	英米語学科	<u>45</u>	—	<u>180</u>	定員変更 (△15)
外国語学科	60	—	240	外国語学科	<u>25</u>	—	<u>100</u>	定員変更 (△35)
国際文化学科	50	—	200	国際文化学科	50	—	200	
日本学科	40	—	160	日本学科	<u>30</u>	—	<u>120</u>	定員変更 (△10)
計	290	—	1,160	計	<u>190</u>	—	<u>760</u>	
体育学部								
体育学科	240	—	960	体育学科	240	—	960	
計	240	—	960	計	240	—	960	
医療学部								
看護学科	70	—	280	看護学科	70	—	280	
臨床検査学科	30	—	120	臨床検査学科	30	—	120	
計	100	—	400	計	100	—	400	
合計	870	—	3,480	合計	<u>705</u>	—	<u>2,820</u>	令第23条の2第4項
天理大学大学院								
宗教文化研究科								
宗教文化研究専攻	6	—	12	宗教文化研究専攻	<u>0</u>	—	<u>0</u>	令和9年4月学生募集停止
臨床人間学研究科								
臨床心理学専攻	8	—	16	臨床心理学専攻	8	—	16	
体育学研究科								
体育学専攻	12	—	24	体育学専攻	12	—	24	
合計	26	—	52	合計	<u>20</u>	—	<u>40</u>	

(1)都道府県内における位置関係の図面



(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



大学へのアクセス<天理駅から>

仙之内キャンパスへは

- ・通学バス(天理大学行)で約8分
- ・徒歩の場合 東へ約2km(約20分)

田井庄キャンパスへは

- ・徒歩 西へ約700m(約5分)

別所キャンパスへは

- ・徒歩 東へ約1.2km(約15分)
- ・バス利用で約10分

<大阪から>(所要時間約1時間)

近鉄奈良線「難波」駅より奈良行き(快速急行・急行)に乗車約35分、「大和西大寺」駅で下車。天理行き(急行)に乗車約20分、「天理」駅で下車。「大和西大寺」駅より橿原神宮前行きに乗車の場合は、「平端」駅下車、天理行きに乗り換え。

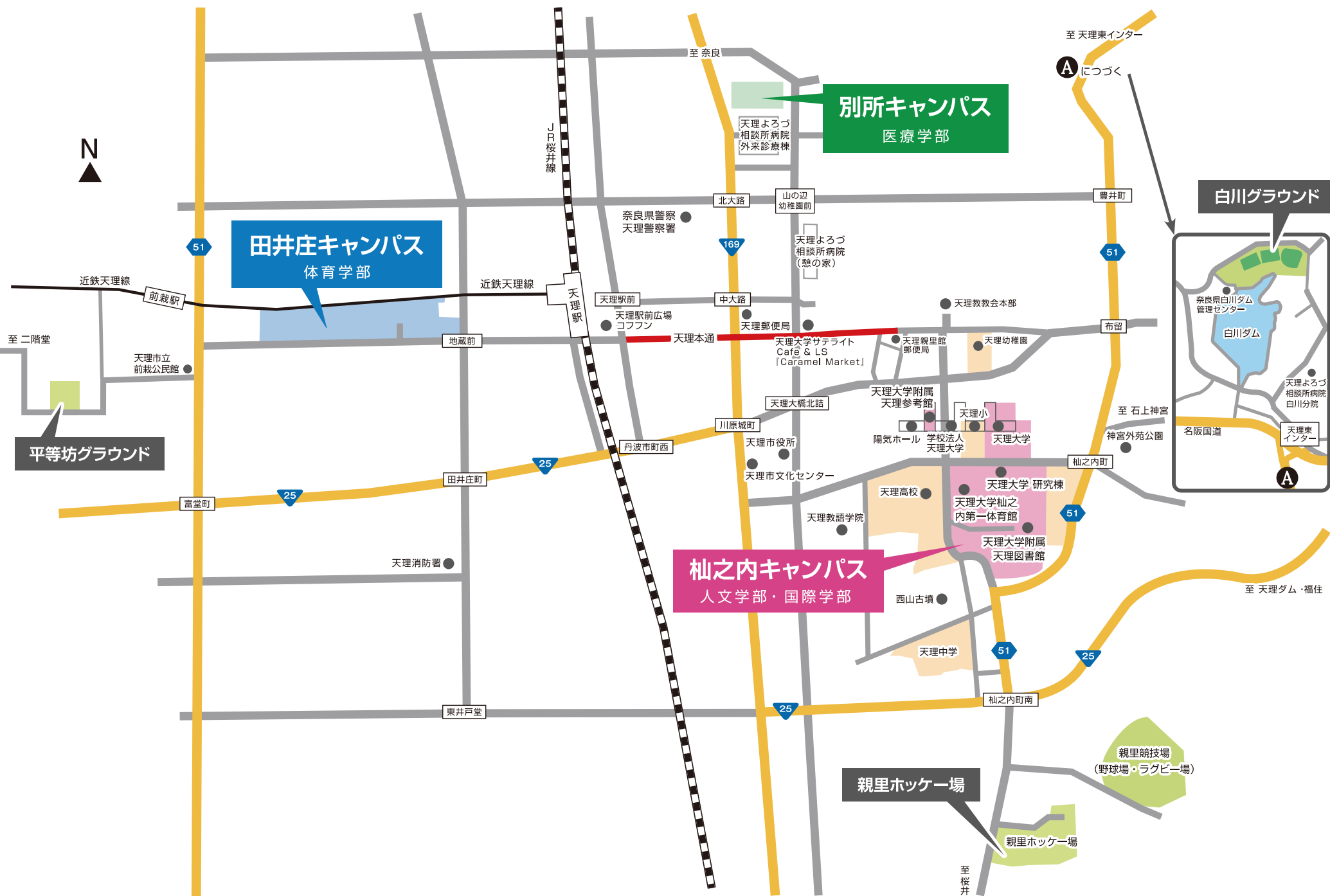
<京都から>(所要時間約1時間)

近鉄京都線「京都」駅より天理行き(急行)に乗車約60分、「天理」駅で下車。「京都」駅より橿原神宮前行き(急行)に乗車の場合は、「平端」駅下車、天理行きに乗り換え。

<神戸から>(所要時間約1時間半)

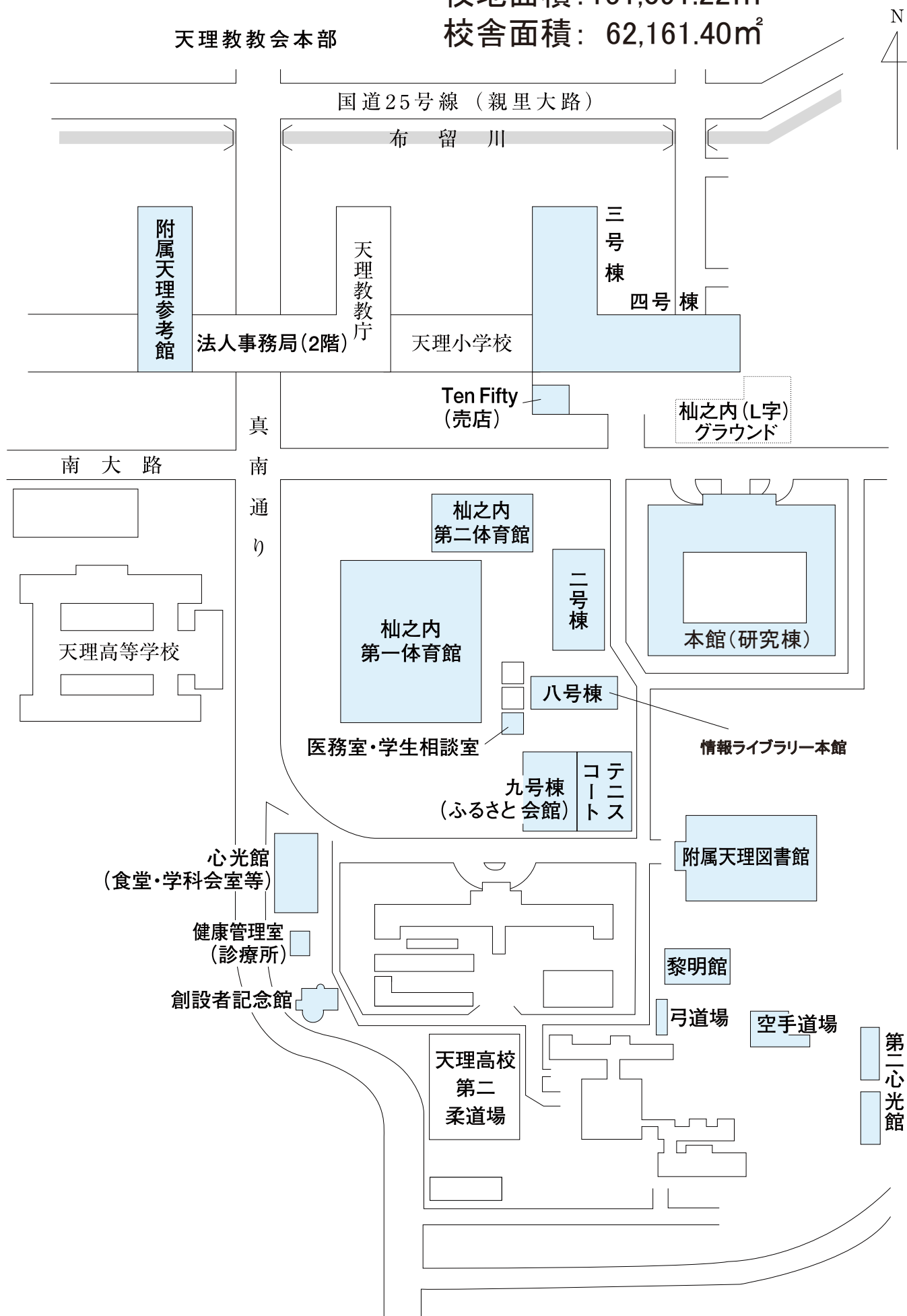
阪神なんば線「三宮」駅より奈良行き(快速急行)に乗車約70分、近鉄奈良線「大和西大寺」駅で下車。「大和西大寺」駅より橿原神宮前行き(急行)に乗車の場合は、「平端」駅下車、天理行きに乗り換え。

(3) 校舎、運動場等の配置図



(3) 校舎、運動場等の配置図
 杣之内キャンパス

校地面積: 151,091.22m²
 校舎面積: 62,161.40m²



天理大学学則（案）

令和 9 年 4 月改正

第 1 章 総 則

第 1 条 天理大学（以下「本大学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に則り、天理教教義に基づいて、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、もって人類の福祉と文化の発展に貢献する人材、殊に世界布教に従事すべき者を育成することを目的とする。

第 1 条の 2 本大学は、その教育研究水準の向上を図り、前条の目的を達成するため、本大学における教育研究活動等の状況について自ら点検評価を行う。

2 前項の点検評価項目及び実施体制に関する規程は、別に定める。

第 1 条の 3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究を行う。

第 2 条 本大学に、人文学部・国際学部・体育学部及び医療学部を置く。

2 人文学部に、次の学科を置く。

- (1) 宗教学科
- (2) 国文学国語学科
- (3) 歴史文化学科
- (4) 心理学科
- (5) 社会教育学科
- (6) 社会福祉学科

3 国際学部に、次の学科を置く。

- (1) 韓国・朝鮮語学科
- (2) 中国語学科
- (3) 英米語学科
- (4) 外国語学科
- (5) 国際文化学科
- (6) 日本学科

4 体育学部に、次の学科を置く。

体育学科

5 医療学部に、次の学科を置く。

- (1) 看護学科
- (2) 臨床検査学科

第 2 条の 2 各学部、学科の教育研究上の目的は、別表第 1 のとおりとする。

第 2 条の 3 本大学に、大学院を置く。

2 大学院に関する規程は、別に定める。

第 3 条 本大学の収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
人文学部	宗教学科	1 5 名	6 0 名
	国文学国語学科	2 5 名	1 0 0 名
	歴史文化学科	3 5 名	1 4 0 名
	心理学科	3 5 名	1 4 0 名

	社会教育学科	25名	100名
	社会福祉学科	40名	160名
国際学部	韓国・朝鮮語学科	25名	100名
	中国語学科	15名	60名
	英米語学科	45名	180名
	外国語学科	25名	100名
	国際文化学科	50名	200名
	日本学科	30名	120名
体育学部	体育学科	240名	960名
医療学部	看護学科	70名	280名
	臨床検査学科	30名	120名

第4条 本大学各学部の修業年限は、4年とする。

第5条 本大学に全学教育推進機構を置く。

第5条の2 本大学に国際交流センターを置く。

2 本大学に情報ライブラリーを置く。

3 本大学に社会連携センターを置く。

第2章 職員組織

第6条 本大学に学長を置く。

2 学長は、校務を掌り所属職員を統督する。

3 学長は、学内の諸会議体の審議結果を参酌した上で、法律が定める事項及び理事会から委任された教育・研究に関する事項を決定し実行する責任を負う。

第7条 本大学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務を掌る。

第8条 本大学に学部長を置く。

2 学部長は、当該学部の教授会を代表し、学部の運営にあたる。

第9条 本大学の学科及び課程にそれぞれ主任を置き、主任は学科及び課程の事務を処理する。

第10条 本大学に教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員を置く。

2 本大学に必要に応じ、特任教授、特任准教授、特任講師を置く。

3 教員及び事務職員に関する規程は、別に定める。

第11条 事務組織は、事務職員によることを原則とするが、その事務の性質上、教員がこれを兼務することがある。

第12条 本大学各学部及び附属おやさと研究所に教授会を置く。

2 教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

3 各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

(1) 学部学生の入学及び卒業に関する事項

(2) 学部学生の学位授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意

見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

- 4 各教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）が掌る教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 各学部教授会及び附属おやさと研究所教授会に関する規程は、別に定める。

第 13 条 本大学に、全学協議会を置く。

- 2 全学協議会は、次の構成員をもって組織する。
 - (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 各学部長
 - (4) 各大学院研究科長
 - (5) 附属天理図書館長、附属おやさと研究所長及び附属天理参考館長
 - (6) 各学部より選出された 教授 各 1 名
 - (7) 事務局長
 - (8) 事務部門の長のうち学長の指名する者 2 名
- 3 全学協議会は、全学的な教育研究及び運営に関わる次の事項について審議する。
 - (1) 学生の入学及び卒業の方針に関する事項
 - (2) 学位授与の方針に関する事項
 - (3) 大学の研究組織、施設の設置・廃止及び制度、機構の整備・改変に関する事項
 - (4) 学則その他重要な規程の制定及び改廃に関する事項
 - (5) 名誉教授に関する事項
 - (6) 大学の教育研究上の目的を達成するための予算、人事等の基本計画に関する事項
 - (7) 教育課程編成の基本方針に関する事項
 - (8) 教育内容及び授業方法の改善に関する事項
 - (9) 学生の生活、厚生、進路等の指導・支援及び賞罰に関する事項
 - (10) 大学の自己点検・評価に関する事項
 - (11) その他大学の教育研究及び運営に関する重要事項
- 4 全学協議会に関する規程は、別に定める。

第 3 章 学年・学期及び休業日

第 14 条 学年は、4 月 1 日に始まり翌年 3 月 3 1 日に終る。

第 15 条 学年を次の 2 学期に分ける。

春学期 4 月 1 日から 9 月 3 0 日まで

秋学期 1 0 月 1 日から翌年 3 月 3 1 日まで

第 16 条 休業日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和 2 3 年法律第 1 7 8 号)に規定する休日

- (2) 天理教祭日 4月18日 10月26日 1月26日
- (3) 創立記念日 4月23日
- 2 夏期休業、冬期休業、春期休業については、学長が全学協議会の議を経て定めることができる。
- 3 学長は、必要があると認めたときは、前2項に掲げる休業日を変更することができるほか、臨時に休業日を置くことができる。
- 4 学長は、必要があると認めたときは、休業日であっても授業を実施することができる。

第 4 章 教 育 課 程

第 17 条 本大学の授業科目の区分は、総合教育科目及び専門教育科目とする。

第 18 条 本大学の授業科目及び単位は別表第2に定めるとおりとし、天理大学履修規則によって履修しなければならない。

第 18 条の 2 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

第 19 条 授業科目の単位数は、1単位の履修時間を教室内及び教室外をあわせて45時間とし、次の基準により計算する。

- (1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験・実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 1の授業科目について、講義、演習、実験・実習及び実技のうち2以上の方法の併用により行う場合は、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮した時間の授業をもって1単位とする。
- 2 前項の1単位の計算基礎となる授業時間については、教授会及び全学協議会の議を経て、学長がこれを決定する。

第 20 条 授業科目を履修し試験に合格した者には、所定の単位を与える。

第 21 条 授業科目の試験の成績は、A・B・C・D・Fの5種の評語をもって表わし、A・B・Cを合格とする。

第 22 条 本大学が教育上有益と認めるときは、別に定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、本大学の協定又は認定する外国の大学又は短期大学に留学する場合及び外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修する場合について準用する。

第 22 条の 2 本大学が教育上有益と認めるときは、短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

- 2 前項により与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本大

学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第23条 本大学が教育上有益と認めるときは、本大学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学に入学した後の本大学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 本大学が教育上有益と認めるときは、本大学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、別に定めるところにより単位を与えることができる。

3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第22条第1項及び第2項並びに前条第1項により本大学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第24条 本大学を卒業し、教育職員免許法及び同施行規則に定める科目、単位を修得した者は、下表に示す教育職員免許状を取得することができる。

学 部 名	学 科 名	免 許 状 の 種 類	
		種 類	免 許 教 科
人 文 学 部	宗教学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	宗 教
	国文学国語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	国 語
	歴史文化学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 地理歴史
国 際 学 部	韓国・朝鮮語学科	高等学校教諭一種免許状	韓国・朝鮮語
	中国語学科	高等学校教諭一種免許状	中 国 語
	英米語学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	英 語
	外国語学科	高等学校教諭一種免許状	スペイン語
	国際文化学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	社 会 公 民
体 育 学 部	体育学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	保健体育

第25条 本大学を卒業し、図書館法及び同施行規則に定める図書館に関する科目、単位を修得した者は、図書館司書となる資格を取得することができる。

第26条 教育職員免許状を取得した者で、学校図書館司書教諭講習規程に定める科目、単位を修得した者は、学校図書館司書教諭となる資格を取得することができる。

- 第 27 条** 本大学を卒業し、博物館法及び同施行規則に定める博物館に関する科目、単位を修得した者は、博物館学芸員となる資格を取得することができる。
- 第 28 条** 社会教育法及び社会教育主事講習等規程に定める社会教育に関する科目、単位を修得した者は、社会教育主事となる資格及び社会教育士の称号を取得することができる。
- 第 29 条** 人文学部社会福祉学科を卒業し、社会福祉士及び介護福祉士法及び同施行規則に定める科目、単位を修得した者は、社会福祉士の国家試験受験資格を取得することができる。
- 第 30 条** 人文学部社会福祉学科を卒業し、精神保健福祉士法及び同施行規則に定める科目、単位を取得した者は、精神保健福祉士の国家試験受験資格を取得することができる。
- 第 31 条** 医療学部看護学科を卒業し、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める科目、単位を取得した者は、看護師国家試験受験資格を取得することができる。
- 第 32 条** 医療学部臨床検査学科を卒業し、臨床検査技師等に関する法律に規定する学校として指定を受けた科目、単位を取得した者は、臨床検査技師の国家試験受験資格を取得することができる。

第 5 章 入学・留学・休学及び退学

- 第 33 条** 入学期は、学年の始めとする。
- 第 34 条** 第 1 年次に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。
- (1) 高等学校を卒業した者（中等教育学校の後期課程を含む）
 - (2) 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む）
 - (3) 外国において、学校教育における 1 2 年の課程を修了した者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行なう大学入学資格検定に合格した者
 - (7) その他本大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達した者
- 第 35 条** 入学志願者に対しては、別に定めるところによって、選考を行なう。
- 第 36 条** 入学志願者は、指定の期日までに所定の書類を提出し、別に定める検定料を納入しなければならない。
- 第 37 条** 入学試験に合格した者で、指定の期日までに所定の誓約書（本人及び保証人の署名捺印を要す）等を提出し、入学金・授業料・教育設備充実費・その他を納入した者は、入学を許可する。
- 2 前項の保証人は、父母（父母なき者はこれに代わる親族等）とする。

第 38 条 別に定めるところによって選考のうえ、編入学を認めることがある。

第 39 条 別に定めるところによって選考のうえ、他学科に転ずるのを認めることがある。

第 40 条 学生が、本大学の協定又は認定する外国の大学へ留学するときは、別に定めるところにより願い出なければならない。

第 40 条の 2 外国の大学に籍を置く外国人学生の受入れ及びその取扱いについては、別に定める。

第 41 条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により 2 ヶ月以上欠席するときは、本人及び保証人連署のうえ、学部長に願い出てその許可を得て休学することができる。ただし、疾病の場合は医師の診断書を添付しなければならない。

2 前項の事由のある場合において、特に必要があると認めた者には、休学を命ずることができる。

3 休学期間は当該年度以内とし、特別の事由がある場合は、別に定めるところによってその期間延長を認めることができる。ただし、通算 4 年を超えることができない。

第 42 条 学生は、8 年を超えて在学することはできない。

2 前条の休学期間は、原則として在学年数に通算しない。

第 43 条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により退学するときは、本人及び保証人連署のうえ、学長に願い出て、その許可を得なければならない。

第 6 章 卒業及び学位

第 44 条 4 年以上在学し、次の各号に定める単位について、天理大学履修規則に定めるところにより修得した者には、教授会の議を経て学長が卒業を認定し、卒業証書を授与し、あわせて学士の学位を授与する。

(1) 人 文 学 部 1 2 4 単位以上

(2) 国 際 学 部 1 2 4 単位以上

(3) 体 育 学 部 1 2 4 単位以上

(4) 医 療 学 部 1 2 4 単位以上

第 45 条 卒業期は、学年の終りとする。

第 46 条 本大学が授与する学士の学位に付記する専攻分野の名称は、次の各号に定めるとおりとする。

(1) 人 文 学 部	宗 教 学 科	宗 教 学
	国文学国語学科	国 文 学
	歴史文化学科	歴 史 文 化 学
	心 理 学 科	心 理 学
	社会教育学科	社 会 教 育 学
(2) 国 際 学 部	社会福祉学科	社 会 福 祉 学
	韓国・朝鮮語学科	韓 国 ・ 朝 鮮 語
	中 国 語 学 科	中 国 語
	英 米 語 学 科	英 語
	外 国 語 学 科	タ イ 語

		インドネシア語
		ドイツ語
		フランス語
		ロシア語
		スペイン語
		ブラジルポルトガル語
	国際文化学科	国際文化学
	日本学科	日本学
(3) 体育学部	体育学科	体育学
(4) 医療学部	看護学科	看護学
	臨床検査学科	臨床検査学

第 7 章 科目等履修生・特別聴講学生及び委託学生

第 47 条 本大学の学生以外の者で一又は複数の授業科目の履修を希望する者（「科目等履修生」という）がある時は、当該授業科目所属の学科（課程を含む）において適当と認められた者につきこれを許可する。ただし、第 34 条の各号の一に該当する者に限る。

第 48 条 科目等履修生の願い出は学期始めとし、科目等履修生の就学期間は原則として、当該年度末までとする。

2 年度を超えて引き続き科目等履修生として授業科目の履修を希望する者は、改めて願い出なければならない。

第 49 条 科目等履修生であって所定の科目試験に合格し単位認定を受けた場合は、請求により単位修得証明書を交付する。

第 50 条 科目等履修生のうち、次の各号に該当する者は、希望の授業科目を指定し、所定の手続きを経て許可を受けなければならない。

- (1) 教育職員免許法第 5 条に規定する基礎資格を有し、教育職員免許法及び同施行規則により教育職員免許状を得ようとする者
- (2) 学士の学位を有し、図書館法第 5 条第 1 項第 1 号の規定による司書となる資格を得ようとする者
- (3) 教育職員免許状を有し、学校図書館司書教諭講習規程第 3 条及び附則第 3 項の規定による学校図書館司書教諭となる資格を得ようとする者
- (4) 学士の学位を有し、博物館法第 5 条第 1 項第 1 号の規定による学芸員となる資格を得ようとする者
- (5) 社会教育法第 9 条の 4 第 1 項第 3 号の規定による社会教育主事となる資格を得ようとする者

第 50 条の 2 他の大学又は短期大学との協議に基づき、当該大学に在学中の学生で本大学の授業科目の履修を希望する者がある時は、別に定めるところにより、特別聴講学生としてこれを認めることができる。

第 51 条 官庁又は公共団体から、1 年以上を在学期間として受講科目を定めて入学を願い出た場合は、選考のうえ委託学生として入学を許可することがある。

第 52 条 委託学生であって、所定の科目を修めその試験に合格した者には、修了

証書を授与する。

第 53 条 科目等履修生、特別聴講学生及び委託学生には、別に定めるものを除くほか本学則を準用する。

第 8 章 入学金・授業料・教育設備充実費・その他

第 54 条 入学金・授業料・教育設備充実費は別表第 3 に定めるとおりとし、その納入及びその他については別に定める。

第 55 条 前条に定める入学金・授業料・教育設備充実費・その他は、所定の期日までに納入しなければならない。ただし、「大学等における修学の支援に関する法律」による授業料等減免対象者と認定された者については、別に定める。

第 56 条 既に納入した第 54 条に定める入学金・授業料・教育設備充実費・その他は返還しない。ただし、前条に定める授業料等減免対象者と認定された入学者については、減免対象となる入学金・授業料を返還する。

第 57 条 休学を許可された者及び命ぜられた者についての授業料・教育設備充実費・その他は別に定める。

第 58 条 学年の途中において退学する者は、退学の日属する学期分の授業料・教育設備充実費・その他を納入しなければならない。

第 59 条 正当な理由なく第 54 条に定める授業料・教育設備充実費・その他を所定の期日までに納入しない者は除籍する。

第 9 章 賞 罰

第 60 条 学生で優秀な研究をした者、又は他の学生の範となるべき行為をした者に対して、学長は、教授会及び全学協議会の意見を徴し、これを褒賞することができる。

第 61 条 学生にその本分に反する行為のあったときは、教授会及び全学協議会の議を経て、学長が懲戒する。

2 懲戒は、譴責、停学、退学とする。

第 62 条 次の各号の一に該当する者には、教授会及び全学協議会の議を経て、学長が退学を命ずることがある。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者

(2) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 10 章 別 科

第 63 条 本大学に別科（日本語課程、外国語課程）を置く。

2 別科に関する規程は、別に定める。

第 11 章 附 属 施 設

第 64 条 本大学に天理図書館、おやさと研究所及び天理参考館を付設する。

2 附属施設に関する規程は、別に定める。

第 65 条 学寮を設け一部学生を入寮させる。

第 12 章 公開講座

第 66 条 地域社会への研究成果の還元と文化の向上に資するため、本大学に公開講座を開設することができる。

第 13 章 履修証明プログラム

第 67 条 本大学の教育研究上の資源を活かし、社会人等への学習の機会を積極的に提供するため、本大学に学校教育法第 105 条に規定する特別の課程として履修証明プログラムを開設し、履修生を受け入れることができる。

2 履修証明プログラムに関する規程は、別に定める。

附 則

本学則は、昭和 24 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

朝鮮文学朝鮮語学科は、昭和 25 年 4 月から開設する。

附 則

司書養成課程は、昭和 26 年 4 月から実施する。

附 則

学部学科の変更に伴う学則の改正は、昭和 27 年から実施する。

附 則

選科生に関する規程は、昭和 27 年 4 月から実施する。

附 則

体育学部体育学科は、昭和 30 年 4 月から開設する。

附 則

本学則は、昭和 32 年 4 月から施行する。

附 則

本学則は、昭和 33 年 4 月から施行する。

附 則

本学則は、昭和 35 年 4 月から施行する。

附 則

本学則は、昭和 37 年 4 月から施行する。ただし、第 31 条ただし書については、昭和 38 年 4 月から施行する。

附 則

本学則は、昭和 40 年 4 月から施行する。

附 則

本学則は、昭和 43 年 10 月から施行する。

附 則

本学則は、昭和44年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、なお従前の例による。

附 則

本学則は、昭和46年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和48年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和49年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和50年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和51年4月から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和52年4月から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和56年4月から施行する。

附 則

本学則は、昭和58年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、昭和62年4月1日から施行する。

附 則

本学則は、昭和63年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成2年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生については、平成 2 年度に第 1 年次に入学した学生を除き従前の例による。

附 則

本学則は、平成 3 年 1 2 月 5 日から施行する。

附 則

- 1 本学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生については、別に定めるもののほか従前の例による。
- 3 第 3 条の規定にかかわらず、平成 4 年度から平成 1 1 年度までの入学定員は、つぎのとおりとする。

学 部	学 科	入学定員
体 育 学 部	体 育 学 科	2 2 0 名

附 則

本学則は、平成 5 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、平成 4 年度に第 1 年次に入学した学生を除き従前の例による。

附 則

本学則は、平成 6 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 6 年 5 月 1 8 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 1 8 条別表第 1 については、平成 3 年度以前に入学した学生は従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成 7 年 1 1 月 1 7 日から施行する。
- 2 第 3 5 条の規定にかかわらず、平成 3 年度以前に入学した文学部宗教学科及び外国語学部各学科の学生については、別に定めるところにより、他学部・学科・専攻に転ずることができる。

附 則

本学則は、平成 8 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 9 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 9 年 6 月 5 日から施行する。

附 則

本学則は、平成１０年４月１日から施行する。

附 則

本学則は、平成１１年４月１日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、平成１２年４月１日から施行する。
- 2 第３条の規定にかかわらず、平成１２年度から平成１５年度までの入学定員及び平成１２年度から平成１８年度までの収容定員は、つぎのとおりとする。

学 部	学 科	年 度	入学定員	収容定員
体育学部	体育学科	１２年度	２１０名	８７０名
		１３年度	２００名	８５０名
		１４年度	１９０名	８２０名
		１５年度	１８０名	７８０名
		１６年度	１７０名	７４０名
		１７年度	１７０名	７１０名
		１８年度	１７０名	６９０名

- 3 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修および単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成１３年４月１日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成１４年４月１日から施行する。

附 則

本学則は、平成１５年４月１日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成１５年５月１４日から施行する。

附 則

本学則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 14 年度以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、従前の例による。

附 則

本学則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 21 年度以前入学生にあつては、従前の例による。

附 則

本学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

本学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

本学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

文学部歴史文化学科の収容定員の変更に係る改正学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

言語教育研究センターの廃止並びに教育設備充実費の改定に係る改正学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の教育設備充実費については、従前の例による。

附 則

本学則は、令和2年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した学生の教育設備充実費については、従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。
- 3 本改正学則施行以前に入学した学生の教育設備充実費については、従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。
- 3 本改正学則施行以前に入学した学生の入学金及び授業料については、従前の例による。

附 則

本学則は、令和5年4月1日から施行する。ただし、本改正学則施行以前に入学した医療学部学生の学納金（授業料及び教育設備充実費（令和5年4月1日付で天理医療大学から転籍した学生においては教育充実費を読み替えるものとする。））については、従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

- 3 本改正学則施行以前に入学した学生の入学金及び授業料については、従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生の授業科目の履修及び単位の修得については、別に定めるもののほか従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生については、従前の例による。

附 則

- 1 本学則は、令和 9 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生については、従前の例による。
- 3 学校教育法施行令第 23 条の 2 第 1 項第 4 号の規定による届出に係る収容定員の総数及び増加変更に関する計画の期間は以下のとおりとする。

収容定員	減少変更前の収容定員	増加変更に関する計画期間
2820 名	3480 名	令和 9 年 4 月～令和 16 年 3 月

別表第1（第2条の2関係）

学 部 学 科	目 的
人文学部	宗教や思想などの精神文化への知識と理解を基礎に人文学の知的体系の成果を教授することにより、他者に献身できる教養と態度を身につけ、現代社会の絶え間ない複雑な環境変化や社会的課題に対して、主体的に判断でき能動的に行動できるとともに、国内外で「陽気ぐらし」世界の建設を掲げる建学の精神の具現化に資する人材を養成することを目的とする。
人文学部 宗教学科	宗教学及び天理教学の枠組みに基づく歴史的、理論的かつ実践的な学習をふまえ、現代世界をとりまく多様な宗教状況を広く学ぶことを通して、ものごとに多面的に対応できる資質と能力を修得させ、同時に、建学の精神にもとづき、国の内外で社会に貢献する実践的意欲をそなえた人材を養成することを目的とする。
人文学部 国文学国語学科	国文学ならびに国語学の知識を基礎から高度な専門領域まで段階的・組織的に修得し、文学作品や言語資料の考察を通して日本の文化を幅広く理解するとともに、国際社会のなかでみずからの知見を主体的に発信できる人材を養成することを目的とする。
人文学部 歴史文化学科	歴史学・考古学・民俗学に立脚しながら、地域に根ざした歴史認識を養い、国際的視野に立った社会や文化の理解をめざす。また、歴史文化に関わる資料の調査・記録能力を修得し、自主的に学び正しく伝える力を身につける。これらの知識や能力を活用し、歴史文化に学びつつ現代社会に貢献する教養ある社会人を育成し、教育や文化財に関わる仕事を通して地域社会に寄与する人材を養成することを目的とする。
人文学部 心理学科	現代社会に起きているさまざまな心の現象を幅広い視点から理解するために必要な心理学の基礎知識と実践のための能力を修得させることを通じて、諸問題の解決に向けた社会活動に実践的に取り組むことのできる人材を養成することを目的とする。
人文学部 社会教育学科	社会教育の基礎となる知識と技術を修得し、地域社会の持続的な発展に資する多様な学習支援の在り方を実践的に体験・探求していくことで、誰もが主体的に参画できる生涯学習社会の形成に寄与する人材を養成することを目的とする。
人文学部 社会福祉学科	社会福祉のプロフェッショナルとして必要な、理念への理解、現場に関する専門的知識、福祉活動をめぐる諸技能等を修得させ、福祉への視点と理解をもつ市民をひろく育成するとともに、社会福祉施設や機関、団体、病院等で活躍できる人材を養成することを目的とする。

学 部 学 科	目 的
国際学部	現代世界が直面する諸課題を、地球的な視野から理解し判断する能力を養い、建学の精神から発する他者への献身の態度をもとに国際社会へ積極的に参加する資質を身につけさせる。そのために、国際人に必須の高度な語学力の修得に重点を置く「韓国・朝鮮語学科」「中国語学科」「英米語学科」「外国語学科」と、現代社会の仕組みと国内外の文化の多様性について学際的に学び、その多様性がおりなす共生社会に自ら参加して行動できる力を養う「国際文化学科」、確かな日本語運用能力を基礎として、世界のなかの日本の社会・文化について学び、その学びを社会や地域で活用する力を養う「日本学科」の5学科を設ける。利他の精神を身につけた真の国際人として世界に雄飛し「陽気ぐらし」世界の建設に寄与する人材を養成することを目的とする。
国際学部 韓国・朝鮮語学科	本学創設当初からの長い歴史の中で培われてきた韓国・朝鮮語教育プログラムにもとづき、体系的かつ実践的な韓国・朝鮮語教育を行う。また、韓国・朝鮮語の修得にとどまらず、同時に韓国・朝鮮地域の歴史や文化・社会に関する知識を身につけ、韓国・朝鮮に対する深い理解を得るようにする。さらに、韓国・朝鮮に対する知識を土台に、自国の文化や自分自身を相対化して考える力を涵養し、他者を尊重しつつ、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする。
国際学部 中国語学科	国際的な視野を有し、国際社会に対応できる人材の育成をはかるための実践的な中国語教育を行う。学習レベルに応じて体系化したカリキュラムにもとづき、高度な中国語運用能力を養成する。さらに実り豊かな留学・海外語学実習を通じて、異文化理解の能力を身につけさせ、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする。
国際学部 英米語学科	今や事実上の国際共通語となっている英語を集中的に学習し、留学や語学実習において語学力を確実なものにさせる。クラスは習熟度別編成を行い、それぞれの目標レベルに向かって学習・習得させる。加えて英米語圏の文化・社会などを多面的に英語によって学ばせ、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする。
国際学部 外国語学科	タイ語、インドネシア語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ブラジルポルトガル語をコース言語とする7言語コースを設け、本学が蓄積してきた外国語の教育・研究資源を活用し、語学力を徹底して鍛えることに主眼を置く。さらに、関連地域の文化や社会についての理解を深めさせ、高度な内容のコミュニケーションを可能にする知識と異文化理解能力を修得し、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする。
国際学部 国際文化学科	国の内外における多文化共生社会を実現するために、現代社会の仕組みを学際的に理解し、自ら行動し指導・協働することができる人材、公共に資する市民としての「公民」を育成することを目的とする。そのため、ひと・もの・価値（観）が国境を越えて行き来することで生み出される国の内外の文化の多様性について学び、その多様性が織りなす共生社会に自らが参加して行動することのできる人材を養成することを目的とする。

国際学部 日本学科	入学時の語学力に応じた日本語のクラスを通じて身につけた確かな日本語運用能力を基礎として、世界のなかの日本について社会・文化を幅広く学ぶ。また、「日本という国のはじまり」である奈良の地域的特性について深く学び、グローバルな視点から日本や奈良の地理と歴史の理解を深める。既存の知識を単に修得するだけではなく、経営的な視点も加え、社会や地域が伝統文化や新しい文化をどのように導入し、活用していくことができるのかという、今日求められる実学的知識を修得し、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする。
----------------------	--

別表第2（第18条関係）

（1）総合教育科目

天理スピリット科目群

科 目 名	単 位	
	必修	選択
天理教概説1	2	
天理教概説2	2	
天理教学1		2
天理教学2		2
建学の精神と天理大学のあゆみ	2	
英語1	1	
英語2	1	
韓国・朝鮮語1		1
韓国・朝鮮語2		1
中国語1		1
中国語2		1
教養アカデミック英語1		1
教養アカデミック英語2		1
実践アカデミック英語1		1
実践アカデミック英語2		1
アカデミック英語上級		1
多文化理解と言語（韓国・朝鮮語）		2
多文化理解と言語（中国語）		2
多文化理解と言語（英語）		2
多文化理解と言語（タイ語）		2
多文化理解と言語（インドネシア語）		2
多文化理解と言語（ドイツ語）		2
多文化理解と言語（フランス語）		2
多文化理解と言語（ロシア語）		2
多文化理解と言語（スペイン語）		2
多文化理解と言語（ポルトガル語）		2
多文化理解と言語（日本語）		2
日本事情1		2
日本事情2		2
健康スポーツ科学1		2
健康スポーツ科学2		2
国際社会におけるスポーツの役割		2
保健医療の仕組みと健康づくり		2
ローカリアクト天理SDGs 森に生きる入門編		1
ローカリアクト天理SDGs 森に生きる実践編		1
国際協力入門		2
国際協力実習		2
国際協力演習1		2
国際協力演習2		2
国際ボランティア論		2
天理大学特別講義1		2
天理大学特別講義2		2
天理大学特別講義3		2
天理大学特別講義4		2
天理大学特別講義5		2
天理大学特別講義6		2
天理大学特別講義7		2
天理大学特別講義8		2
天理異文化伝道		2

キャリア教育科目群

科 目 名	単 位	
	必修	選択
キャリアプランニング		2
キャリアデザイン 1		2
キャリアデザイン 2		2
インターンシップ 1		1
インターンシップ 2		2
海外インターンシップ 1		1
海外インターンシップ 2		2

基礎リテラシー科目群

科 目 名	単 位	
	必修	選択
基礎ゼミナール 1	2	
基礎ゼミナール 2		2
データサイエンス・A I 入門		2
データサイエンス・A I 応用		2
データリテラシー		2
コンピューター入門		2
情報処理		2
基礎からわかるレポート作成		2
基礎からわかる近代史		2
基礎からわかる現代社会		2
基礎からわかる数学		2
基礎からわかる生物・化学		2

一般教養教育科目群

科 目 名	単 位	
	必修	選択
生活の中の科学		2
地球環境論		2
科学と現代		2
数学と論理		2
統計学 1		2
統計学 2		2
経営学 1		2
経営学 2		2
地理学 1		2
地理学 2		2
日本国憲法		2
法学		2
経済学 1		2
経済学 2		2
政治学		2
社会学		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
民法 1		2
民法 2		2
行政法 1		2
行政法 2		2
哲学概論 1		2
哲学概論 2		2
倫理学 1		2
倫理学 2		2
心理学 1		2
心理学 2		2
ジェンダー・セクシャリティ		2
近現代の遺産と未来		2
宗教と芸能		2
労働と社会		2
障害学		2
世界の文学 1		2
世界の文学 2		2
カルチュラルスタディーズ		2
宗教と現代社会		2
人権と差別 1		2
人権と差別 2		2
日本手話 A		2
日本手話 B		2
アウトドアスポーツ		1
レクリエーションalsスポーツ		1
ニューススポーツ		1

(2) 専門教育科目

共通科目

国際学部

科 目 名	単 位	
	必修	選択
日本文化概論		2
国際文化論		2
日本と国際社会		2
グローバル文化論		2
アジア地域文化論		2
オセアニア地域文化論		2
ヨーロッパ地域文化論		2
スラヴ・ユーラシア地域文化論		2
アフリカ地域文化論		2
アメリカス地域文化論		2
世界の歴史と社会		2
アジアの歴史と社会		2
オセアニアの歴史と社会		2
ヨーロッパの歴史と社会		2
スラヴ・ユーラシアの歴史と社会		2
アフリカの歴史と社会		2
アメリカスの歴史と社会		2
世界の英語		2
異文化コミュニケーション 1		2
異文化コミュニケーション 2		2
英語音声学 1		2
英語音声学 2		2
英語学概論		2
社会言語学 1		2
社会言語学 2		2
言語学概論 1		2
言語学概論 2		2
College English Grammar A		1
College English Grammar B		1
Business Communication		1
TOEFL Academic English		1
Japanese Culture and Society		2
Japanese History		2
Japanese Religions		2
観光地理学		2
観光デザイン論		2
観光業界論		2
世界遺産論		2
ホスピタリティー観光研究 1		2
ホスピタリティー観光研究 2		2
国内旅行実務		2
海外旅行実務		2
国際スポーツ協力論		1
国際スポーツ交流実習		1

医療学部

科 目 名	単 位	
	必修	選択
臨床心理学	2	
コミュニケーション演習	1	
現代家族論		2
教育学概論 1		2
医療英語 A		1
医療英語 B		1
体のしくみ I	2	
体のしくみ II	2	
分子医学の基礎	2	
生化学		2
微生物学		1
疾病の成り立ちと治療 I	2	
疾病の成り立ちと治療 II	2	
疾病の成り立ちと治療 III	2	
疾病の成り立ちと治療 IV	2	
疾病の成り立ちと治療 V	2	
病理学		1
薬理学・臨床薬理学	2	
栄養学・臨床栄養学	2	
保健医療概論	2	
公衆衛生学	2	
保健医療福祉行政論	2	
現代社会と福祉 1	2	
医療安全管理学	2	
情報科学演習	1	

専攻科目
人文学部
宗教学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
天理教学概論 1	2	
天理教学概論 2	2	
天理教教祖伝概説 1	2	
天理教教祖伝概説 2	2	
宗教史概説 1	2	
宗教史概説 2	2	
宗教研究基礎演習	2	
宗教学概論 1	2	
宗教学概論 2	2	
現代宗教を読み解くゼミ 1	2	
現代宗教を読み解くゼミ 2	2	
伝道実習 1		1
伝道実習 2		1
伝道実習 3		1
伝道実習 4		1
天理教原典学 1 概説		2
天理教原典学 2 概説		2
天理教原典学 3 概説		2
天理教学特殊講義 1		2
天理教学特殊講義 2		2
天理教学特殊講義 3		2
天理教史特殊講義 1		2
天理教史特殊講義 2		2
宗教学特殊講義 1		2
宗教学特殊講義 2		2
宗教学特殊講義 3		2
宗教学特殊講義 4		2
宗教史特殊講義 1		2
宗教史特殊講義 2		2
宗教史特殊講義 3		2
宗教史特殊講義 4		2
宗教史特殊講義 5		2
宗教史特殊講義 6		2
宗教科指導法 1		2
宗教科指導法 2		2
宗教科指導法 3		2
宗教科指導法 4		2
宗教研究演習 1	2	
宗教研究演習 2	2	
宗教課題演習 1	2	
宗教課題演習 2	2	
卒業論文	6	

国文学国語学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
国文学基礎演習	2	
国文学概論 1	2	
国文学概論 2	2	
上代文学講読 1		2
上代文学講読 2		2
中古文学講読 1		2
中古文学講読 2		2
中世文学講読 1		2
中世文学講読 2		2
近世文学講読 1		2
近世文学講読 2		2
近代文学講読 1		2
近代文学講読 2		2
上代文学特論 1		2
上代文学特論 2		2
中古文学特論 1		2
中古文学特論 2		2
中世文学特論 1		2
中世文学特論 2		2
近世文学特論 1		2
近世文学特論 2		2
近代文学特論 1		2
近代文学特論 2		2
古典文学史 1		2
古典文学史 2		2
近代文学史 1		2
近代文学史 2		2
国文学演習（上代） 1		2
国文学演習（上代） 2		2
国文学演習（中古） 1		2
国文学演習（中古） 2		2
国文学演習（近世） 1		2
国文学演習（近世） 2		2
国文学演習（近代） 1		2
国文学演習（近代） 2		2
国語学基礎演習	2	
国語学概論 1	2	
国語学概論 2	2	
国語学特論（言語構造） 1		2
国語学特論（言語構造） 2		2
国語学特論（言語運用） 1		2
国語学特論（言語運用） 2		2
国語学特論（言語実態） 1		2
国語学特論（言語実態） 2		2
国語史 1		2
国語史 2		2
国語学演習（言語構造） 1		2
国語学演習（言語構造） 2		2
国語学演習（言語運用） 1		2
国語学演習（言語運用） 2		2
国語学演習（言語実態） 1		2
国語学演習（言語実態） 2		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
漢文学基礎演習	2	
漢文学特論 1		2
漢文学特論 2		2
実用国語表現		2
音声言語		2
天理図書館資料論（上代・中古）		2
天理図書館資料論（中世・近世）		2
大和の地域文化論（文学）		2
大和の地域文化論（言語）		2
文章表現 1		2
文章表現 2		2
書道（書写を中心とする）		1
国語科指導法 1		2
国語科指導法 2		2
国語科指導法 3		2
国語科指導法 4		2
卒業論文演習	4	
卒業論文	6	

歴史文化学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
歴史学概論	2	
考古学概論	2	
民俗学概論	2	
歴史文化基礎演習	2	
日本史要説		2
東洋史要説		2
西洋史要説		2
日本考古学要説		2
日本民俗学要説		2
くずし字入門		2
人文地理学概論		2
自然地理学概論		2
地誌		2
美術史		2
文化財行政学	2	
文化財科学・保存科学		2
大和の文化遺産を学ぶ1		2
大和の文化遺産を学ぶ2		2
大和の文化遺産を学ぶ3		2
博物館学概論		2
博物館経営総論		2
博物館教育論		2
博物館情報・メディア論		2
博物館展示論		2
博物館資料論		2
博物館資料保存論		2
社会科指導法1		2
社会科指導法2		2
社会・地理歴史科指導法1		2
社会・地理歴史科指導法2		2
英語文献講読1		2
英語文献講読2		2
卒業論文	6	

歴史学コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
歴史学研究入門 1		2
歴史学研究入門 2		2
文化交流史の研究 1		2
文化交流史の研究 2		2
日本古代史の研究		2
日本中世史の研究		2
日本近世史の研究		2
日本近代史の研究		2
東アジア史の研究		2
古文書学		2
日本古代史料の講読 1		2
日本古代史料の講読 2		2
日本中世史料の講読 1		2
日本中世史料の講読 2		2
日本近世史料の講読 1		2
日本近世史料の講読 2		2
日本近代史料の講読 1		2
日本近代史料の講読 2		2
歴史学史料実習 1		1
歴史学史料実習 2		1
歴史学史料実習 3		1
歴史学史料実習 4		1
日本古代中世史演習 1		2
日本古代中世史演習 2		2
日本古代中世史演習 3		2
日本古代中世史演習 4		2
日本近世史演習 1		2
日本近世史演習 2		2
日本近世史演習 3		2
日本近世史演習 4		2
日本近代史演習 1		2
日本近代史演習 2		2
日本近代史演習 3		2
日本近代史演習 4		2

考古学コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
考古学研究入門 1		2
考古学研究入門 2		2
旧石器・縄文時代の考古学		2
弥生時代の考古学		2
古墳時代の考古学		2
飛鳥・奈良時代の考古学		2
中近世の考古学		2
東アジア考古学		2
西アジア考古学		2
遺跡探査学		2
遺跡の保存と活用		2
考古資料の情報化		2
考古学実習 1		1
考古学実習 2		1
考古学実習 3		1
考古学実習 4		1
先史考古学演習 1		2
先史考古学演習 2		2
先史考古学演習 3		2
先史考古学演習 4		2
原史考古学演習 1		2
原史考古学演習 2		2
原史考古学演習 3		2
原史考古学演習 4		2
歴史考古学演習 1		2
歴史考古学演習 2		2
歴史考古学演習 3		2
歴史考古学演習 4		2

民俗学コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
民俗学研究入門 1		2
民俗学研究入門 2		2
民俗学と現代社会		2
生活文化史		2
フィールドワークからみる民俗文化		2
民話と伝承		2
宗教民俗学		2
民俗資料論		2
民俗学実習 1		1
民俗学実習 2		1
民俗学実習 3		1
民俗学実習 4		1
歴史民俗学演習 1		2
歴史民俗学演習 2		2
歴史民俗学演習 3		2
歴史民俗学演習 4		2
現代民俗学演習 1		2
現代民俗学演習 2		2
現代民俗学演習 3		2
現代民俗学演習 4		2

心理学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
心理学概論	2	
臨床心理学概論	2	
公認心理師の職責		2
心理学研究法		4
心理学統計法		2
多変量解析法		2
心理学実験法		4
知覚・認知心理学		2
学習・言語心理学		2
感情・人格心理学		2
神経・生理心理学		2
社会・集団・家族心理学		2
発達心理学		2
障害者・障害児心理学		2
心理的アセスメント1		4
心理的アセスメント2		4
心理学的支援法		2
健康・医療心理学		2
福祉心理学		2
教育・学校心理学		2
司法・犯罪心理学		2
産業・組織心理学		2
人体の構造と機能及び疾病		2
精神疾患とその治療1		2
精神疾患とその治療2		2
関係行政論		2
精神分析学		2
ユング心理学		2
投影法演習		4
対人スキル演習		4
臨床心理学課題演習		2
対人社会課題演習		2
心理演習		2
心理実習		2
心理学入門演習	2	
心理学研究演習1	2	
心理学研究演習2	2	
卒業課題研究	4	

社会教育学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
生涯学習概論 1	2	
生涯学習概論 2	2	
教育学概論 1		2
社会教育基礎演習 1	2	
社会教育基礎演習 2	2	
生涯学習支援演習 1	2	
生涯学習支援演習 2	2	
生涯学習支援論 1	2	
生涯学習支援論 2	2	
社会教育経営論 1		2
社会教育経営論 2		2
社会教育経営論 3		2
社会教育経営論 4		2
文化スポーツ支援論 1		2
文化スポーツ支援論 2		2
社会教育特講 1		2
社会教育特講 2		2
社会教育特講 3		2
社会教育特講 4		2
生涯学習特論 1		2
生涯学習特論 2		2
生涯学習特論 3		2
生涯学習特論 4		2
生涯学習特論 5		2
生涯学習特論 6		2
生涯学習特論 7		2
生涯学習特論 8		2
図書館情報学概論		2
図書館サービス概論		2
図書館マネジメント論		2
図書館情報学基礎特論		2
図書館とメディアの歴史		2
文化政策学概論		2
地域産業論		2
地域金融論		2
広報・PR論		2
臨地文化施設実習	1	
野外教育実習		1
プロジェクト実習 1		1
プロジェクト実習 2		1
プロジェクト実習 3		1
プロジェクト実習 4		1
プロジェクト実習 5		1
プロジェクト実習 6		1
地域協働実習		1
社会教育実習 1		2
社会教育実習 2		2
社会教育演習 1 (コーディネーター支援)		2
社会教育演習 2 (コーディネーター支援)		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
社会教育演習 1 (文化行政)		2
社会教育演習 2 (地域文化共創)		2
社会教育演習 1 (文化スポーツ支援)		2
社会教育演習 2 (文化スポーツ支援)		2
社会教育課題研究 1	2	
社会教育課題研究 2	2	
卒業課題研究		4
卒業論文		6

社会福祉学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
社会福祉学演習 1	2	
社会福祉学演習 2	2	
社会福祉学演習 3	2	
社会福祉学演習 4	2	
社会福祉概論 1	2	
社会福祉概論 2	2	
人体の構造と機能及び疾病		2
社会学と社会システム		2
社会保障論 1		2
社会保障論 2		2
社会福祉調査法		2
ソーシャルワーク論 1	2	
ソーシャルワーク論 2		2
ソーシャルワーク論 3		2
ソーシャルワーク論 4		2
ソーシャルワーク論 5		2
ソーシャルワーク論 6		2
地域福祉と包括的支援体制 1		2
地域福祉と包括的支援体制 2		2
福祉経営論		2
障害者福祉論		2
児童福祉論		2
高齢者福祉論		2
公的扶助論		2
医療福祉論		2
権利擁護を支える法制度		2
刑事司法と福祉		2
ソーシャルワーク演習 1		2
ソーシャルワーク演習 2		2
ソーシャルワーク演習 3		2
ソーシャルワーク演習 4		2
ソーシャルワーク演習 5		2
ソーシャルワーク実習指導 1		2
ソーシャルワーク実習指導 2		2
ソーシャルワーク実習指導 3		2
ソーシャルワーク実習 1		2
ソーシャルワーク実習 2		4
地域連携実習		2
天理教社会福祉論	2	
精神医学と精神医療 1		2
精神医学と精神医療 2		2
現代の精神保健の課題と支援 1		2
現代の精神保健の課題と支援 2		2
精神保健福祉の原理 1		2
精神保健福祉の原理 2		2
現代家族論		2
ソーシャルワーク理論と方法（専門） 1		2
ソーシャルワーク理論と方法（専門） 2		2
精神障害リハビリテーション論		2
精神保健福祉制度論		2

科 目 名	单 位	
	必修	選択
精神保健福祉援助演習 1		2
精神保健福祉援助演習 2		2
精神保健福祉援助演習 3		2
精神保健福祉援助実習 A		5
精神保健福祉援助実習 B		3
精神保健福祉援助実習指導 1		2
精神保健福祉援助実習指導 2		2
精神保健福祉援助実習指導 3		2
卒業論文	6	

国際学部
韓国・朝鮮語学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
韓国・朝鮮語 A (文法)	3	
韓国・朝鮮語 A (会話)	2	
韓国・朝鮮語 A (発音)	1	
韓国・朝鮮語 B (文法)	3	
韓国・朝鮮語 B (会話)	2	
韓国・朝鮮語 B (講読)	1	
韓国・朝鮮語 C (文法)	1	
韓国・朝鮮語 C (会話)	1	
韓国・朝鮮語 C (講読)	1	
韓国・朝鮮語 C (作文)	1	
韓国・朝鮮語 D (文法)	1	
韓国・朝鮮語 D (会話)	1	
韓国・朝鮮語 D (講読)	1	
韓国・朝鮮語 D (作文)	1	
韓国・朝鮮語 E (会話)	1	
韓国・朝鮮語 E (講読)	1	
韓国・朝鮮語 E (作文)	1	
韓国・朝鮮語 E (表現)	1	
韓国・朝鮮語 F (会話)	1	
韓国・朝鮮語 F (講読)	1	
韓国・朝鮮語 F (作文)	1	
韓国・朝鮮語 F (表現)	1	
韓国・朝鮮語 G (総合)	1	
韓国・朝鮮語 H (総合)	1	
実践韓国・朝鮮語 A		1
実践韓国・朝鮮語 B		1
映像で学ぶ韓国・朝鮮語		1
韓国・朝鮮語古典講読		1
通訳翻訳韓国・朝鮮語 A		1
通訳翻訳韓国・朝鮮語 B		1
応用韓国・朝鮮語 A		1
応用韓国・朝鮮語 B		1
伝道韓国・朝鮮語 1		1
伝道韓国・朝鮮語 2		1
韓国・朝鮮語学概論 1		2
韓国・朝鮮語学概論 2		2
韓国・朝鮮文学概論 1		2
韓国・朝鮮文学概論 2		2
韓国・朝鮮史 1		2
韓国・朝鮮史 2		2
韓国・朝鮮社会文化論 1		2
韓国・朝鮮社会文化論 2		2
韓国・朝鮮文化交流史 1		2
韓国・朝鮮文化交流史 2		2
韓国・朝鮮事情 1		2
韓国・朝鮮事情 2		2
韓国・朝鮮語科指導法 1		2
韓国・朝鮮語科指導法 2		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
韓国・朝鮮入門	2	
韓国・朝鮮語演習 1	2	
韓国・朝鮮語演習 2	2	
韓国・朝鮮語演習 3	2	
韓国・朝鮮語演習 4	2	
韓国・朝鮮語海外語学実習	4	
卒業課題研究		2
卒業論文		4

中国語学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
中国語 A (文法)	2	
中国語 A (発音)	2	
中国語 A (リスニング)	2	
中国語 B (文法)	2	
中国語 B (発音)	2	
中国語 B (リスニング)	2	
中国語 C (文法)	2	
中国語 C (会話 1)	1	
中国語 C (会話 2)	1	
中国語 D (読解)	2	
中国語 D (会話 1)	1	
中国語 D (会話 2)	1	
中国語 E (通訳 1)	1	
中国語 E (通訳 2)	1	
中国語 E (読解)	2	
中国語 F (通訳 1)	1	
中国語 F (通訳 2)	1	
中国語 F (読解)	2	
中国語 G (総合)	1	
中国語 H (総合)	1	
伝道中国語 1		1
伝道中国語 2		1
広東語 A		1
広東語 B		1
台湾語 A		1
台湾語 B		1
ボランティア中国語 A		1
ボランティア中国語 B		1
スピーチ中国語 A		1
スピーチ中国語 B		1
ビジネス中国語		1
中国語学概論 1		2
中国語学概論 2		2
中国文学概論 1		2
中国文学概論 2		2
中国史 1		2
中国史 2		2
中国文化史 1		2
中国文化史 2		2
台湾社会文化論 1		2
台湾社会文化論 2		2
近代中国と国際政治 1		2
近代中国と国際政治 2		2
中国語科指導法 1		2
中国語科指導法 2		2
中国語圏研究入門	2	
中国語演習 1	2	
中国語演習 2	2	
中国語演習 3	2	

科 目 名	単 位	
	必修	選択
中国語演習 4	2	
中国語海外語学実習	4	
卒業課題研究		2
卒業論文		4

英米語学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
英語 A (Reading)	1	
英語 A (Writing)	1	
英語 A (Grammar)	1	
英語 A (Oral Communication 1)	1	
英語 A (Oral Communication 2)	1	
英語 A (Integrated English)	1	
英語 B (Reading)	1	
英語 B (Writing)	1	
英語 B (Grammar)	1	
英語 B (Oral Communication 1)	1	
英語 B (Oral Communication 2)	1	
英語 B (Integrated English)	1	
英語 C (Reading)	1	
英語 C (Writing)	1	
英語 C (Oral Communication 1)	1	
英語 C (Oral Communication 2)	1	
英語 C (Presentation)	1	
英語 C (Integrated English)	1	
英語 D (Reading)	1	
英語 D (Writing)	1	
英語 D (Oral Communication 1)	1	
英語 D (Oral Communication 2)	1	
英語 D (Presentation)	1	
英語 D (Integrated English)	1	
英語 E (Writing)	1	
英語 E (Presentation)	1	
英語 E (Integrated English)	1	
英語 F (Writing)	1	
英語 F (Presentation)	1	
英語 F (Integrated English)	1	
観光英語		1
ビジネス英語		1
英米文学概論		2
伝道英語 1		1
伝道英語 2		1
英米語概論 1		2
英米語概論 2		2
英米語概論 3		2
英米語概論 4		2
英米語概論 5		2
Content Based English 1		2
Content Based English 2		2
Content Based English 3		2
Content Based English 4		2
Content Based English 5		2
英語科指導法 1		2
英語科指導法 2		2
英語科指導法 3		2
英語科指導法 4		2

科 目 名	単 位	
	必修	選択
ガイド英語		1
時事英語		1
通訳		1
翻訳		1
英米語演習 1	2	
英米語演習 2	2	
英米語演習 3	2	
英米語演習 4	2	
英米語海外語学実習	4	
卒業課題研究		2
卒業論文		4

外国語学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
外国語演習 1	2	
外国語演習 2	2	
外国語演習 3	2	
外国語演習 4	2	
海外語学実習		4
卒業課題研究		2
卒業論文		4

タイ語コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
タイ語 A (表記)		2
タイ語 A (会話)		2
タイ語 A (リスニング)		1
タイ語 A (文法・表現)		1
タイ語 B (表記)		2
タイ語 B (会話)		2
タイ語 B (リスニング)		1
タイ語 B (文法・表現)		1
タイ語 C (講読 1)		1
タイ語 C (講読 2)		1
タイ語 C (会話)		1
タイ語 C (作文)		1
タイ語 D (講読 1)		1
タイ語 D (講読 2)		1
タイ語 D (会話)		1
タイ語 D (作文)		1
タイ語 E (講読 1)		1
タイ語 E (講読 2)		1
タイ語 E (会話)		1
タイ語 E (作文)		1
タイ語 F (講読 1)		1
タイ語 F (講読 2)		1
タイ語 F (会話)		1
タイ語 F (作文)		1
タイ語 G (翻訳)		1
タイ語 H (通訳)		1
伝道タイ語 1		1
伝道タイ語 2		1
タイ語で学ぶ日本文化		1
観光タイ語		1
映像で学ぶタイ語		1
時事タイ語		1
タイ研究入門		2
タイ史		2
タイ社会文化論		2
タイ言語文化論		2
タイと日本		2

インドネシア語コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
インドネシア語 A (文法)		2
インドネシア語 A (コミュニケーション)		2
インドネシア語 A (語彙・表現)		2
インドネシア語 B (文法)		2
インドネシア語 B (コミュニケーション)		2
インドネシア語 B (語彙・表現)		2
インドネシア語 C (文法・読解)		2
インドネシア語 C (コミュニケーション)		2
インドネシア語 D (文法・読解)		2
インドネシア語 D (コミュニケーション)		2
インドネシア語 E (総合)		2
インドネシア語 E (コミュニケーション)		2
インドネシア語 F (総合)		2
インドネシア語 F (コミュニケーション)		2
インドネシア語 G (総合)		1
インドネシア語 H (コミュニケーション)		1
伝道インドネシア語 1		1
伝道インドネシア語 2		1
インドネシア語で学ぶ日本文化		1
通訳インドネシア語		1
観光インドネシア語		1
時事インドネシア語		1
インドネシア研究入門		2
インドネシア史		2
インドネシア社会文化論		2
インドネシア言語文化論		2
インドネシアと日本		2

ドイツ語コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
ドイツ語 A (文法・読解)		2
ドイツ語 A (コミュニケーション)		2
ドイツ語 A (語彙・発音)		1
ドイツ語 A (リスニング)		1
ドイツ語 B (文法・読解)		2
ドイツ語 B (コミュニケーション)		2
ドイツ語 B (語彙・発音)		1
ドイツ語 B (リスニング)		1
ドイツ語 C (文法・読解)		2
ドイツ語 C (コミュニケーション)		1
ドイツ語 C (作文)		1
ドイツ語 D (文法・読解)		2
ドイツ語 D (コミュニケーション)		1
ドイツ語 D (作文)		1
ドイツ語 E (文法・読解)		1
ドイツ語 E (総合)		1
ドイツ語 E (コミュニケーション)		1
ドイツ語 E (作文)		1
ドイツ語 F (文法・読解)		1
ドイツ語 F (総合)		1
ドイツ語 F (コミュニケーション)		1
ドイツ語 F (作文)		1
ドイツ語 G (総合)		1
ドイツ語 H (総合)		1
伝道ドイツ語 1		1
伝道ドイツ語 2		1
ドイツ語で学ぶ日本文化		1
観光ドイツ語		1
映像で学ぶドイツ語		1
時事ドイツ語		1
ドイツ語圏研究入門		2
ドイツ語圏史		2
ドイツ社会文化論		2
ドイツ言語文化論		2
ドイツと日本		2

フランス語コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
フランス語 A (文法・読解)		2
フランス語 A (コミュニケーション)		2
フランス語 A (語彙・発音)		1
フランス語 A (リスニング)		1
フランス語 B (文法・読解)		2
フランス語 B (コミュニケーション)		2
フランス語 B (語彙・発音)		1
フランス語 B (リスニング)		1
フランス語 C (文法・読解)		2
フランス語 C (コミュニケーション)		1
フランス語 C (作文)		1
フランス語 D (文法・読解)		2
フランス語 D (コミュニケーション)		1
フランス語 D (作文)		1
フランス語 E (総合)		1
フランス語 E (読解)		1
フランス語 E (コミュニケーション)		1
フランス語 E (作文)		1
フランス語 F (総合)		1
フランス語 F (読解)		1
フランス語 F (コミュニケーション)		1
フランス語 F (作文)		1
フランス語 G (総合)		1
フランス語 H (総合)		1
伝道フランス語 1		1
伝道フランス語 2		1
フランス語で学ぶ日本文化		1
観光フランス語		1
通訳フランス語		1
翻訳フランス語		1
フランス語圏研究入門		2
フランス語圏史		2
フランス社会文化論		2
フランス言語文化論		2
フランスと日本		2

ロシア語コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
ロシア語 A (文法)		2
ロシア語 A (会話)		2
ロシア語 A (リスニング)		1
ロシア語 A (語彙・発音)		1
ロシア語 B (文法)		2
ロシア語 B (会話)		2
ロシア語 B (リスニング)		1
ロシア語 B (語彙・発音)		1
ロシア語 C (文法)		1
ロシア語 C (講読)		1
ロシア語 C (会話 1)		1
ロシア語 C (会話 2)		1
ロシア語 D (文法)		1
ロシア語 D (講読)		1
ロシア語 D (会話 1)		1
ロシア語 D (会話 2)		1
ロシア語 E (講読)		1
ロシア語 E (翻訳)		1
ロシア語 E (会話)		1
ロシア語 E (作文)		1
ロシア語 F (講読)		1
ロシア語 F (翻訳)		1
ロシア語 F (会話)		1
ロシア語 F (作文)		1
ロシア語 G (総合)		1
ロシア語 H (総合)		1
伝道ロシア語 1		1
伝道ロシア語 2		1
ロシア語で学ぶ日本文化		1
観光ロシア語		1
映像で学ぶロシア語		1
時事ロシア語		1
ロシア研究入門		2
ロシア史		2
ロシア社会文化論		2
ロシア言語文化論		2
ロシアと日本		2

スペイン語コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
スペイン語 A (文法)		2
スペイン語 A (コミュニケーション・表現)		3
スペイン語 A (読解・聴解)		1
スペイン語 B (文法)		2
スペイン語 B (コミュニケーション・表現)		3
スペイン語 B (読解・聴解)		1
スペイン語 C (文法)		1
スペイン語 C (コミュニケーション・表現)		2
スペイン語 C (読解・聴解)		1
スペイン語 D (文法)		1
スペイン語 D (コミュニケーション・表現)		2
スペイン語 D (読解・聴解)		1
スペイン語 E (文法・理解)		2
スペイン語 E (コミュニケーション・表現)		2
スペイン語 F (文法・理解)		2
スペイン語 F (コミュニケーション・表現)		2
スペイン語 G (総合)		1
スペイン語 H (総合)		1
伝道スペイン語 1		1
伝道スペイン語 2		1
スペイン語で学ぶ日本文化		1
観光スペイン語		1
時事スペイン語		1
映像で学ぶスペイン語		1
翻訳スペイン語		1
通訳スペイン語		1
スペイン語圏研究入門		2
スペイン語圏史 1		2
スペイン語圏史 2		2
スペイン語学 1		2
スペイン語学 2		2
スペイン語圏と日本		2
スペイン語圏文学 1		2
スペイン語圏社会文化論 1		2
スペイン語圏文学 2		2
スペイン語圏社会文化論 2		2
スペイン語科指導法 1		2
スペイン語科指導法 2		2

ブラジルポルトガル語コース

科 目 名	単 位	
	必修	選択
ブラジルポルトガル語 A (文法・読解)		2
ブラジルポルトガル語 A (コミュニケーション)		2
ブラジルポルトガル語 A (語彙・発音)		1
ブラジルポルトガル語 A (リスニング)		1
ブラジルポルトガル語 B (文法・読解)		2
ブラジルポルトガル語 B (コミュニケーション)		2
ブラジルポルトガル語 B (語彙・発音)		1
ブラジルポルトガル語 B (リスニング)		1
ブラジルポルトガル語 C (文法・読解)		2
ブラジルポルトガル語 C (コミュニケーション)		1
ブラジルポルトガル語 C (作文)		1
ブラジルポルトガル語 D (文法・読解)		2
ブラジルポルトガル語 D (コミュニケーション)		1
ブラジルポルトガル語 D (作文)		1
ブラジルポルトガル語 E (総合 1)		1
ブラジルポルトガル語 E (総合 2)		1
ブラジルポルトガル語 E (コミュニケーション)		1
ブラジルポルトガル語 E (作文)		1
ブラジルポルトガル語 F (総合 1)		1
ブラジルポルトガル語 F (総合 2)		1
ブラジルポルトガル語 F (コミュニケーション)		1
ブラジルポルトガル語 F (作文)		1
ブラジルポルトガル語 G (総合)		1
ブラジルポルトガル語 H (総合)		1
伝道ブラジルポルトガル語 1		1
伝道ブラジルポルトガル語 2		1
ブラジルポルトガル語で学ぶ日本文化		1
観光ブラジルポルトガル語		1
ブラジルポルトガル語コミュニティ通訳		1
ブラジルポルトガル語コミュニティ翻訳		1
ブラジル研究入門		2
ブラジル史		2
ブラジル社会文化論		2
ブラジル言語文化論		2
ブラジルと日本		2

国際文化学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
やさしい日本語	2	
異文化理解入門ゼミナール 1		2
異文化理解入門ゼミナール 2		2
多文化共生入門ゼミナール 1		2
多文化共生入門ゼミナール 2		2
国際事情入門ゼミナール 1		2
国際事情入門ゼミナール 2		2
歴史文化入門ゼミナール 1		2
歴史文化入門ゼミナール 2		2
異文化理解ゼミナール 1		2
異文化理解ゼミナール 2		2
多文化共生ゼミナール 1		2
多文化共生ゼミナール 2		2
国際事情ゼミナール 1		2
国際事情ゼミナール 2		2
歴史文化ゼミナール 1		2
歴史文化ゼミナール 2		2
社会調査法入門		2
社会調査法 1		2
社会調査法 2		2
社会調査法実践 A		2
社会調査法実践 B		2
質的調査研究		2
宗教学		2
社会学概論		2
多文化共生学		2
国際法		2
国際政治学		2
国際関係論		2
国際経済史		2
経済学概論		2
環境政治論		2
地域統合論		2
比較宗教学		2
文化人類学概論		2
ボランティアネットワーク論		2
異文化理解論		2
多文化共生論		2
国際事情論		2
歴史文化論		2
国際文化演習 1	2	
国際文化演習 2	2	
国際文化演習 3	2	
国際文化演習 4	2	
社会・公民科指導法 1		2
社会・公民科指導法 2		2
多文化体験活動 1		1
多文化体験活動 2		1
卒業論文	4	

日本学科

科 目 名	単 位	
	必修	選択
日本研究入門	2	
ナラロジー研究入門	2	
文化人類学入門	2	
日本文化入門	2	
言語学入門	2	
フィールドワークの方法	2	
世界史のなかの日本	2	
日本表現文化概論		2
交通地理学概論		2
日本多文化共生概論		2
日本精神文化概論		2
ナラロジー概論		2
日本生活文化概論		2
社会言語学概論		2
日本表現文化特論		2
経営人類学特論		2
日本情報文化特論		2
日本環境文化特論		2
観光地理学特論		2
ナラロジー特論		2
日本生活文化特論		2
入門日本語A（会話）		1
入門日本語A（講読）		1
入門日本語A（文法A）		1
入門日本語A（文法B）		1
入門日本語A（作文）		1
入門日本語A（表記）		1
入門日本語A（総合）		1
入門日本語B（会話）		1
入門日本語B（講読）		1
入門日本語B（文法A）		1
入門日本語B（文法B）		1
入門日本語B（作文）		1
入門日本語B（表記）		1
入門日本語B（総合）		1
基礎日本語A（会話）	1	
基礎日本語A（講読）	1	
基礎日本語A（文法A）	1	
基礎日本語A（文法B）	1	
基礎日本語A（作文）	1	
基礎日本語A（表記）	1	
基礎日本語A（総合）	1	
基礎日本語B（会話）	1	
基礎日本語B（講読）	1	
基礎日本語B（文法A）	1	
基礎日本語B（文法B）	1	
基礎日本語B（作文）	1	
基礎日本語B（表記）	1	
基礎日本語B（総合）	1	

科 目 名	単 位	
	必修	選択
ビジネス日本語 1		2
ビジネス日本語 2		2
日本語実践研究 1		2
日本語実践研究 2		2
日本研究演習 1	2	
日本研究演習 2	2	
日本研究演習 3	2	
日本研究演習 4	2	
日本文化体験実習 1		2
日本文化体験実習 2		2
卒業課題研究		2
卒業論文		4

資格科目

天理教学部門

科 目 名	単 位	
	必修	選択
伝道実習 1		1
伝道実習 2		1
伝道実習 3		1
伝道実習 4		1

人文科学部門

科 目 名	単 位	
	必修	選択
日本語学入門		2
日本語教育入門		2
日本語語彙論		2
日本語文法論 1		2
日本語文法論 2		2
日本語音声学		2
言語の対照研究		2
日本語教授法 1		2
日本語教授法 2		2
第二言語習得論		2
日本語指導法		2
日本語教育評価法		2
日本語教育実習		2

社会科学部門

科 目 名	単 位	
	必修	選択
図書館情報システム論		2
情報サービス論		2
児童・YAサービス論		2
情報サービス演習 1		2
情報サービス演習 2		2
図書館情報資源概論		2
情報資源組織論		2
情報資源組織演習 1		2
情報資源組織演習 2		2
図書館情報資源特論		2
図書館情報学特論		2
博物館実習 1		2
博物館実習 2		1
矯正概論		2
更生保護概論		2
矯正保護教育（施設参観を含む）		2
矯正保護支援実践論		2
犯罪被害者支援論		2

教職に関する専門教育科目

科 目 名	単 位	
	必修	選択
教職論		2
教育原理		2
教育史		2
教育課程論		2
学校教育心理学		2
学校教育社会学		2
道徳の理論及び指導法		2
教育方法学（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む）		2
教育相談の理論及び方法		2
生徒指導・進路指導の理論及び方法		2
教育実習講義		1
介護等体験		1
教職実践演習（中・高）		2
教育実習 1		2
教育実習 2		2
人権教育論 1		2
人権教育論 2		2
特別な支援の必要な生徒の理解		2
学校教育支援		1
特別活動・総合的な学習の時間の指導法		2
教育史特論		2
臨床教育学特論		2

別表第3（第54条関係）

(円)

学部 費目		人文学部	国際学部	体育学部	医療学部
入 学 金		200,000	200,000	200,000	200,000
授 業 料	春学期	410,000	410,000	410,000	560,000
	秋学期	410,000	410,000	410,000	560,000
	年 額	820,000	820,000	820,000	1,120,000
教育 設備 充実 費	春学期	110,000	110,000	125,000	237,500
	秋学期	110,000	110,000	125,000	237,500
	年 額	220,000	220,000	250,000	475,000

人文学部、国際学部及び体育学部の授業料については、2年目以降は4万円増とする。

医療学部の授業料については、2年目以降は2万円増とする。

人文学部、国際学部及び体育学部の教育設備充実費については、2年目以降は5万円増とする。

医療学部の令和5年度以降入学生の教育設備充実費については、2年目以降は10万円増とする。

医療学部の令和4年度以前入学生の教育設備充実費は250,000円とする。

過年度在学生

費目	区分 学部	令和9年度入学生 年 額
	人文学部 国際学部 体育学部	460,000円 + (20,000円 × 年間登録単位数)
授業料	医療学部	720,000円 + (20,000円 × 年間登録単位数)
教育 設備 充実 費	人文学部 国際学部	270,000円
	体育学部	300,000円
	医療学部	575,000円

「天理大学学則案」変更事項を記載した書類

1. 人文学部宗教学科、人文学部国文学国語学科、人文学部歴史文化学科、人文学部心理学科、人文学部社会教育学科、人文学部社会福祉学科
国際学部韓国・朝鮮語学科、国際学部中国語学科、国際学部英米語学科、国際学部外国語学科、国際学部日本学科設置、
上記学科の入学定員及び収容定員の変更
(第3条)
2. 教授会に関する特任教授、特任准教授、特任講師の変更
(第12条)
3. 学校教育法施行令第23条の2第1項第4号の規定による届出に係る収容定員の総数及び増加変更に関する計画の期間を定める
(附則)

「天理大学学則案」変更部分の新旧対照表

改正後（新）

第 1 条～第 2 条 （省略）

第 3 条 本大学の収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
人文学部	宗教学科	<u>15</u> 名	<u>60</u> 名
	国文学国語学科	<u>25</u> 名	<u>100</u> 名
	歴史文化学科	<u>35</u> 名	<u>140</u> 名
	心理学科	<u>35</u> 名	<u>140</u> 名
	社会教育学科	<u>25</u> 名	<u>100</u> 名
	社会福祉学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名
国際学部	韓国・朝鮮語学科	<u>25</u> 名	<u>100</u> 名
	中国語学科	<u>15</u> 名	<u>60</u> 名
	英米語学科	<u>45</u> 名	<u>180</u> 名
	外国語学科	<u>25</u> 名	<u>100</u> 名
	国際文化学科	50 名	200 名
	日本学科	<u>30</u> 名	<u>120</u> 名
体育学部	体育学科	240 名	960 名
医療学部	看護学科	70 名	280 名
	臨床検査学科	30 名	120 名

第 4 条～第 11 条 （省略）

第 12 条 本大学各学部及び附属おやさと研究所に教授会を置く。

- 2 教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。
- 3 各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- (1) 学部学生の入学及び卒業に関する事項
- (2) 学部学生の学位授与に関する事項
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なもの

改正前（旧）

第 1 条～第 2 条 （省略）

第 3 条 本大学の収容定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入学定員	収容定員
人文学部	宗教学科	<u>20</u> 名	<u>80</u> 名
	国文学国語学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名
	歴史文化学科	<u>50</u> 名	<u>200</u> 名
	心理学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名
	社会教育学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名
	社会福祉学科	<u>50</u> 名	<u>200</u> 名
国際学部	韓国・朝鮮語学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名
	中国語学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名
	英米語学科	<u>60</u> 名	<u>240</u> 名
	外国語学科	<u>60</u> 名	<u>240</u> 名
	国際文化学科	50 名	200 名
	日本学科	<u>40</u> 名	<u>160</u> 名
体育学部	体育学科	240 名	960 名
医療学部	看護学科	70 名	280 名
	臨床検査学科	30 名	120 名

第 4 条～第 11 条 （省略）

第 12 条 本大学各学部及び附属おやさと研究所に教授会を置く。

- 2 教授会は、専任の教授、准教授、講師及び助教~~（特任教授、特任准教授、特任講師を除く）~~をもって組織する。
- 3 各学部教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- (1) 学部学生の入学及び卒業に関する事項
- (2) 学部学生の学位授与に関する事項
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なもの

- として学長が定める事項
- 4 各学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）が掌る教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 各学部教授会及び附属おやさと研究所教授会に関する規程は、別に定める。

第13条～第67条 （省略）

附 則
(省略)
附 則

- 1 本学則は、令和9年4月1日から施行する。
- 2 本改正学則施行以前に入学した学生については、従前の例による。
- 3 学校教育法施行令第23条の2第1項第4号の規定による届出に係る収容定員の総数及び増加変更に関する計画の期間は以下のとおりとする。

収容定員	減少変更前の収容定員	増加変更に関する計画期間
2820 名	3480 名	令和9年4月～令和16年3月

別表第1～3
(省略)

- として学長が定める事項
- 4 各学部教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長その他の教授会が置かれる組織の長（以下この項において「学長等」という。）が掌る教育研究に関する事項について審議し、及び学長等の求めに応じ、意見を述べることができる。
- 5 各学部教授会及び附属おやさと研究所教授会に関する規程は、別に定める。

第13条～第67条 （省略）

附 則
(省略)
(追加)

別表第1～3
(省略)

学則の変更の趣旨等を記載した書類

【目次】

ア	学則変更（収容定員変更）の内容	2
イ	学則変更（収容定員変更）の必要性	3
ウ	学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容	3

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

天理大学人文学部宗教学科、国文学国語学科、歴史文化学科、心理学科、社会教育学科、社会福祉学科及び国際学部韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、日本学科は、令和９年度入学生より入学定員及び収容定員について下表のとおり変更する。これに伴い、大学全体の入学定員及び収容定員についても下表のとおり変更する。

学部	学科	変更前		変更後		差	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
人文学部	宗教学科	20	80	<u>15</u>	<u>60</u>	△5	△20
	国文学国語学科	40	160	<u>25</u>	<u>100</u>	△15	△60
	歴史文化学科	50	200	<u>35</u>	<u>140</u>	△15	△60
	心理学科	40	160	<u>35</u>	<u>140</u>	△5	△20
	社会教育学科	40	160	<u>25</u>	<u>100</u>	△15	△60
	社会福祉学科	50	200	<u>40</u>	<u>160</u>	△10	△40
	学部計	240	960	<u>175</u>	<u>700</u>	△65	△260
国際学部	韓国・朝鮮語学科	40	160	<u>25</u>	<u>100</u>	△15	△60
	中国語学科	40	160	<u>15</u>	<u>60</u>	△25	△100
	英米語学科	60	240	<u>45</u>	<u>180</u>	△15	△60
	外国語学科	60	240	<u>25</u>	<u>100</u>	△35	△140
	国際文化学科	50	200	50	200	－	－
	日本学科	40	160	<u>30</u>	<u>120</u>	△10	△40
	学部計	290	1160	<u>190</u>	<u>760</u>	△100	△400
体育学部	体育学科	240	960	240	960	－	－
	学部計	240	960	240	960	－	－
医療学部	看護学科	70	280	70	280	－	－
	臨床検査学科	30	120	30	120	－	－
	学部計	100	400	100	400	－	－
合 計		870	3480	<u>705</u>	<u>2820</u>	△165	△660

※下線部が変更部分。

なお、今回の学則変更において定員を減少変更することになるが、学校教育法施行令第23条の2第1項第4号の規定により、令和９年～令和16年に収容定員総数増加変更に関する計画を有している。

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

令和7年度、創立百周年を迎えた天理大学は、母体である天理外国語学校から引き継がれた外国語教育はもとより、昭和24年に天理大学として再出発を切って以降は宗教学、国文学、体育教育など、多様な分野で広く社会に貢献する人材を輩出してきた。

令和6年度には学部・学科改組を行い、人文・国際・体育・医療の四学部体制とした。新たにスタートした人文・国際両学部において、3年連続で入学定員未充足の状況が続いている。

その背景として、18歳人口の減少という時代的潮流をはじめ、昨今の人文系学問に対する社会的関心の希薄化、COVID-19パンデミックやAIの急速な進展を背景とした国際系学科への志願者の減少といった要因が考えられる。

こうした現状のなか、とりわけ政府の修学支援新制度の対象となる学生の割合が相対的に高い本学としては、定員充足率のさらなる悪化を回避すべく、このたび人文学部・国際学部の定員変更のための学則変更を行うこととした。両学部の新たな定員については、学校法人天理大学の「大学改革委員会」を中心に、近年の本学志願者の動向や大学全体の財務状況などを勘案して検討を行い、適切な収容定員として設定している。

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

今回の学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程、教育方法、履修指導方法及び教員組織の変更はない。また、施設・設備の内容について変更はなく、教育研究を行うのに十分な施設・設備等を備えている。

学生の確保の見通し等を記載した書類

【目次】

(1) 収容定員を変更する組織の概要	2
①収容定員を変更する組織の概要	2
②収容定員を変更する組織の特色	2
(2) 人材需要の社会的な動向	6
①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の 分析	6
②中長期的な 18 歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	10
③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域	10
④既設組織の定員充足の状況	11
(3) 学生確保の見通し	13
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	13
ア 既設組織における取組とその目標	13
イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標	14
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での 入学者の見込み数	15
②競合校の状況分析	17
ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性	17
イ 競合校の入学志願動向等	20
ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等	24
エ 学生納付金等の金額設定の理由	29
③先行事例分析	29
④学生確保に関するアンケート調査	29
⑤人材需要に関するアンケート調査等	29
(4) 収容定員を変更する組織の定員設定の理由	29

(1) 収容定員を変更する組織の概要

①収容定員を変更する組織の概要

収容定員を変更する組織	入学定員	編入学 定員	収容定員	所在地
天理大学				奈良県天理市杣之内町
人文学部				1050番地
宗教学科	15	—	60	
国文学国語学科	25	—	100	
歴史文化学科	35	—	140	
心理学科	35	—	140	
社会教育学科	25	—	100	
社会福祉学科	40	—	160	
国際学部				
韓国・朝鮮語学科	25	—	100	
中国語学科	15	—	60	
英米語学科	45	—	180	
外国語学科	25	—	100	
日本学科	30	—	120	

②収容定員を変更する組織の特色

<人文学部宗教学科の特色>

宗教学科は、宗教学及び天理教学の枠組みに基づく歴史的、理論的かつ実践的な学習をふまえ、現代世界をとりまく多様な宗教状況を広く学ぶことを通して、ものごとに多面的に対応できる資質と能力を修得させ、同時に、建学の精神にもとづき、国の内外で社会に貢献する実践的意欲をそなえた人材を養成することを目的としている。

宗教についての分析・比較、あるいは哲学的考察を通して宗教ないしは宗教文化に関する知識を修得するとともに、異文化や異なる思想を理解・受容すること、さらには現代社会において宗教のもつ役割、宗教の課題について教育・研究することに重点を置いている。

本学科では、入学定員15名とする少人数教育によって、天理教学に加え、仏教、キリスト教、イスラームを専門とする教員がさまざまな側面から宗教を解説し教授している。さらに、社会と宗教に関わる知見を広げ高めることに留意して、諸宗教並びに宗教文化に関わる歴史的理解はもとより、宗教における神観念、心理、儀礼、芸能などについて、幅広く修得できるようにカリキュラムを配置している。

<人文学部国文学国語学科の特色>

国文学国語学科は、国文学ならびに国語学の知識を基礎から高度な専門領域まで段階的・組織的に修得し、文学作品や言語資料の考察を通して日本の文化を幅広く理解するとともに

に、国際社会のなかでみずからの知見を主体的に発信できる人材を養成することを目的とし、過去多くの中学校・高等学校の国語科教員を輩出してきた。

天理市という歴史的、文化的に恵まれた環境のもと、附属天理図書館、附属天理参考館の豊富かつ貴重な文献、資料を活用し、我が国の言語文化に関する専門的知識を修得するとともに、国文学、国語学という伝統的な学問体系を継承し、複眼的な思考や発想、豊かな感性を修得することを目指している。

本学科の大きな特色は、国文学と国語学の二つの分野をあわせて修得し、学問としてものごとの本質を主体的に探究する力を養成する。そのため、研究対象を自ら調査し、自分の力で結論を導いていくことを重視している。また、入学定員25名に対する丁寧な指導体制を整えている。

＜人文学部歴史文化学科の特色＞

歴史文化学科は、歴史学・考古学・民俗学に立脚しながら、地域に根ざした歴史認識を養い、国際的視野に立った社会や文化の理解をめざす。また、歴史文化に関わる資料の調査・記録能力を修得し、自主的に学び正しく伝える力を身につける。これらの知識や能力を活用し、歴史文化を学びつつ現代社会に貢献する教養ある社会人を育成し、教育や文化財に関わる仕事を通して地域社会に寄与する人材を養成することを目的としている。

本学科は、歴史学・考古学・民俗学の三つの学問分野をコースとして開設している。学科の入学定員は35名とする。歴史学コースでは、附属天理図書館所蔵の古文書史料を用いながら古文書の取り扱いや整理のノウハウを身につける。考古学コース・民俗学コースでは、キャンパス近隣にある古墳の発掘調査など、希望者には実践的な経験を積み上げたり、附属天理参考館を活用して、文化財の保存と活用についての理解を深めたりする教育内容が特色である。

＜人文学部心理学科の特色＞

心理学科は、現代社会に起きているさまざまな心の現象を幅広い視点から理解するために必要な心理学の基礎知識と実践のための能力を修得させることを通じて、諸問題の解決に向けた社会活動に実践的に取り組むことのできる人材を養成することを目的としている。

本学科では、大学院臨床人間学研究科臨床心理学専攻と連携して、公認心理師や臨床心理士の養成を核としながらも、広く対人社会心理を学ぶことができる。3年次から資格履修モデルと対人社会履修モデルのクラスに分かれ、それぞれの専門科目を学んでいる。

心理実践の場として、地元奈良県や天理市の教育現場における不登校支援や発達支援の活動、家庭裁判所でのボランティア活動などを通じて、地域支援の実践を経験する。また、天理教が設置している施設において、臨床心理的活動やボランティア活動の実践を経験する。このような現場での活動を通じて、さまざまな場面における心理的支援に心理学的知見や臨床心理学的視点を活用することの重要性を学ぶとともに、心理臨床に関する実践的な知識やスキルを修得できる。入学定員は35名とする。

＜人文学部社会教育学科の特色＞

社会教育学科は、社会教育の基礎となる知識と技術を修得し、地域社会の持続的な発展に資する多様な学習支援の在り方を実践的に体験・探求していくことで、誰もが主体的に参画できる生涯学習社会の形成に寄与する人材を養成することを目的としている。

本学科では、文部科学省があらたに設けている「社会教育士」(称号)の資格取得を核に、図書館司書や博物館学芸員の資格とともに社会教育施設を効果的に活用しながら、公的及び民間の生涯教育機関において活躍できる人材の養成を行っている。「社会教育士」資格を取得することのできる大学は他にもあるが、大学の教育組織として、「社会教育」を冠する大学はない。

入学定員を25名とし、実践的な授業によって、学生一人一人の知識とスキルを修得させる。また、図書館司書と博物館学芸員の両資格課程と密接に連携し、社会教育全般に加え、図書館や博物館などが持つそれぞれのフィールドの強みを活かし、地域社会の学習を支援し、地域社会との共創を目指した活動が実践できる人材の養成を図っている。

＜人文学部社会福祉学科の特色＞

社会福祉学科は、社会福祉のプロフェッショナルとして必要な、理念への理解、現場に関する専門的知識、福祉活動をめぐる諸技能等を修得させ、福祉への視点と理解をもつ市民をひろく育成するとともに、社会福祉施設や機関、団体、病院等で活躍できる人材を養成することを目的としている。

本学科では、これからの社会における社会福祉のプロフェッショナルへのニーズの高まりに鑑み、少人数制を活かして理論学習だけではなく、工夫を凝らした実践教育を実施している。少人数指導を一層推進するため、入学定員を40名に減じる。特に実習や演習科目においては、対人援助職に必要な知識や基本姿勢、援助方法を実践的に修得するため、個別指導やグループ学習を取り入れて、高い教育効果を上げている。

＜国際学部韓国・朝鮮語学科の特色＞

韓国・朝鮮語学科は、本学創設当初からの長い歴史の中で培われてきた韓国・朝鮮語教育プログラムにもとづき、体系的かつ実践的な韓国・朝鮮語教育を行う。また、韓国・朝鮮語の修得にとどまらず、同時に韓国・朝鮮地域の歴史や文化・社会に関する知識を身につけ、韓国・朝鮮に対する深い理解を得るようにする。さらに、韓国・朝鮮に対する知識を土台に、自国の文化や自分自身を相対化して考える力を涵養し、他者を尊重しつつ、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。

本学科は大正14(1925)年、日本で唯一の韓国・朝鮮学専門教育研究機関として天理外国語学校朝鮮語部が誕生して以来、100年以上にわたって日本の韓国・朝鮮語教育の発展に大きな役割を果たしてきた。長年にわたり培ってきた教育実績を基盤に、「読む・書く・聞く・話す」の四技能を総合的に伸ばす体系的なカリキュラムを編成している。語学力の向上と並行して、韓国・朝鮮の歴史・文化・社会に関する専門知識を深く学び、基礎から応用へと高める。さらに、現地での異文化体験を通じて国際的な視野を広げるとともに、韓国・朝鮮語による実践的な語学力の向上を目的とした実習科目を開講している。入学定員は25名とする。

＜国際学部中国語学科の特色＞

中国語学科は、国際的な視野を有し、国際社会に対応できる人材の育成をはかるための実践的な中国語教育を行う。学習レベルに応じて体系化したカリキュラムにもとづき、高度な中国語運用能力を養成する。さらに、実り豊かな留学・海外語学実習を通じて、異文化理解の能力を修得させ、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。

本学科では、入学定員15名に対し、丁寧な指導を行う。国際社会へ積極的に参加する資質を身につけるため、中国語コミュニケーション能力、文章読解・作成能力、情報収集・分析能力及びICT活用能力を「入門」「基礎」「展開」として段階的に学び、修得できるようにする。さらに、現地での異文化体験を通じて国際的な視野を広げるとともに、実践的な語学力の向上を目的とした実習科目を開講している。

＜国際学部英米語学科の特色＞

英米語学科は、今や事実上の国際共通語となっている英語を集中的に学習し、留学や語学実習において語学力を確実なものにさせる。クラスは習熟度別編成を行い、それぞれの目標レベルに向かって修得させる。加えて英米語圏の文化・社会などを多面的に英語によって学ばせ、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的としている。

本学科では、このような目的を達成するため、入学定員45名に対する少人数教育を基盤に、「使える英語」を重視した実践的なカリキュラムを展開している。特に、オーラル・コミュニケーション能力の強化を図るとともに、英語による専門科目の履修を通して高度な英語運用能力と専門的知識を育成する。さらに、海外留学や国際交流プログラムと連動させることで学修成果を高めるほか、教職課程や観光・国際ビジネス分野に対応した科目を設けるなど、卒業後の多様な進路に対応できる点を特色としている。

＜国際学部外国語学科の特色＞

外国語学科は、タイ語、インドネシア語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ブラジルポルトガル語をコース言語とする7言語コースを設け、本学が蓄積してきた外国語の教育・研究資源を活用し、語学力を徹底して鍛えることに主眼を置く。さらに、関連地域の文化や社会についての理解を深めさせ、高度な内容のコミュニケーションを可能にする知識と異文化理解能力を修得し、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする。

本学科では、このような目的を達成するため、入学定員25名の少人数による授業を通して「読む・書く・聞く・話す」の四技能をバランスよく高め、実践的な運用能力の向上を図っている。また、各言語圏の文化や社会に関する専門科目を配置し、関連地域の文化や社会についての理解を深めるとともに、語学力と専門知識を修得できるようにする。さらに、「伝道タイ語」「伝道インドネシア語」など特色ある科目を設けるなど、建学の精神に基づいた独自のカリキュラムを編成している点も本学科の特色である。

＜国際学部日本学科の特色＞

日本学科は、入学時、語学力に応じて日本語のクラス分けを行い、そこで身につけた確かな日本語運用能力を基礎として、世界のなかの日本という観点から、日本の社会・文化

について幅広く学ぶ。また、「日本という国のはじまり」である奈良の地域的特性について深く学び、グローバルな視点から日本や奈良の地理と歴史の理解を深める。単に既存の知識を修得するだけではなく、経営的な視点も加え、社会や地域が伝統文化や新しい文化をどのように導入し、活用していくことができるのかという、今日求められる実学的知識を修得し、国際社会で活躍できる人材を養成することを目的とする

本学科は、留学生だけを受け入れるユニークな学科である。特色ある教育体制のもと、このような目的を達成するため、必修科目「基礎日本語」を通じ、日本語運用能力を確かなものとしながら、言語学や文化人類学を基礎とした比較の視点から日本研究を行っている。さらに、地元である奈良県への理解を深める「ナラロジー」や、経営という視点からの応用を学ぶ「経営人類学」などの科目を設け、日本社会と文化を多角的に探究する。これらを通して、卒業後に日本及び海外において日本に関わる分野で活躍できる十分な知識と技能を修得させる点を特色としている。入学定員は30名とする。

(2) 人材需要の社会的な動向

①収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

<人文学部宗教学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析>

宗教学科は、本学が母体とする天理教の教義・教学及びその実践について、天理教の聖地とも言うべき天理の地で学ぶことが最大の特色であるとともに、仏教、キリスト教、イスラームを専門とする教員がさまざまな側面から宗教を教授している。

多様な宗教的背景をもつ多くの外国人が、短期的・長期的に日本を訪れることが現実となっている今日、異文化を宗教的な視点から正確に理解する人材の養成は極めて重要である。

今日の国際社会ではさまざまな紛争が生じているが、その根底には多くの場合、宗教的な問題が存在する。そうした中、他宗教・異文化の理解を修得して国際協調などの仕事に携わる人材は、今後ますます国際社会での活躍が期待される。この点で、本学科は社会的にも大きな意義を持つ。また、教科「宗教」の教員養成を行っている全国でも数少ない学科でもある。

<国文学国語学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析>

国文学国語学科は、天理という歴史的、文化的に恵まれた環境のもと、附属天理図書館、附属天理参考館の質量ともに豊富かつ貴重な和漢古書等の文献類を活用し、我が国の言語文化に関する専門的知識を修得し、国文学、国語学という伝統的な学問体系を継承しながら複眼的な思考や発想、感性を醸成できる環境で、多くの有為な人材を輩出してきた。特に、これまで多くの中学校・高等学校の国語科教員を現場に送り出してきた。学校現場で働く卒業生の経験を学生に還元することで、実践力のある人材の育成に実績を上げてきた。

子どもの学びを支える教員の不足が全国的に大きな問題となっている現在、本学科で養成する人材は、学校現場から大きな期待をされている。令和6（2024）年度卒業の就職実績では、就職者のうち27.8%が教員となっており、教員養成において地域社会に貢献して

いる。言語環境が急激に変化している現代社会において、今後も、適確にことばで意思を伝達できる人材を社会に輩出していくことで、地域や社会に貢献し続けるものとする。

＜歴史文化学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

歴史文化学科は、天理という歴史的、文化的に恵まれた環境のもと、歴史学・考古学・民俗学の3つの学問分野をコースとして開設している。国内外から収集した附属天理参考館所蔵の民俗学・考古学分野の多様で優れた資料類や、近世期の大和を中心とした豊富な文書類を所蔵する附属天理図書館の史料類を積極的に活用した教育環境で、実践的な教育を行い、奈良県はもとより国内各地での郷土史的探究を進めるうえで必要な人材を積極的に養成している。

「地域共生」「地域のブランディング」「地域文化の活性化」など、文化財や歴史文化に対する需要は、今日、地方自治体や地方公共団体だけでなく、一般企業でも大きくなっている。本学科では、そのような知識を修得した上で、各コースに設けた実習で実践力を涵養し、中学校「社会」・高等学校「地理歴史」の教員養成や博物館学芸員養成も行っている。地域の多様な文化資源を適確に発掘し、共有化していくことのできる人材への需要は、今後ますます高まっていくと考える。

＜心理学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

心理学科は、本学大学院臨床人間学研究科臨床心理学専攻と連携して、公認心理師や臨床心理士の養成を核としつつ、広く対人社会心理を教授している。実践的な実習を実施するために、本学において日本で初めて導入された箱庭療法の伝統を引き継ぎ、充実した箱庭実習室を備え、心の表現として、言葉のみではない、さまざまな表現手法を学んでいる。心の病の問題が大きく取り上げられることが多くなった現代社会において、心について実践的に学び、社会において実践的に生かすことのできる知識とスキルを修得した人材を社会に輩出する意義は大きい。

令和6（2024）年度の調査によると、全国の小中学校で不登校の状況にある児童生徒は35万4千人とされており、社会的に大きな問題となっている。このような不登校児や、心理的に問題を抱えている子ども達に寄り添う心理職は、今後の学校教育においてますます重要な役割を果たすと考えられる。また、現代の社会には、心に問題を抱えた多くの人たちが存在する。それらの人々とコミュニケーションを重ね、支えることができる人材は、社会全体にとっても必須の人材である。心理臨床の知識やスキルを実践的に修得した人材は、地域社会に対して大きく貢献する人材として必要不可欠であるとする。

＜社会教育学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

社会教育学科は、文部科学省があらたに設けている「社会教育士」（称号）の資格取得を核に、社会教育施設の専門職員である図書館司書や博物館学芸員の資格取得を目指す人材を育成する。また、地域社会の社会教育施設を効果的に活用しながら、公的及び民間の生涯教育機関において活躍できる実践力のある人材の養成を行っている。社会教育主事養成に関する科目を開講している大学は、県内には本学と奈良教育大学しかなく、また、大学の教育組織として、「社会教育」を冠する大学は他にはない。社会教育の専門学科として、

初年次から卒業研究までの4年間で、講義や演習、大学内での実習や課外での活動を丁寧に積み重ね、実践しながら社会教育の世界で活躍できる知識とスキルを涵養し、社会教育人材の養成を行っている。

社会教育全般に加え、図書館や博物館などが持つそれぞれのフィールドの強みを活かしつつ地域社会の学習を支援し、地域社会との共創を目指した活動が実践できる人材の養成は、地域社会の活性化や地域コミュニティの再生・復活に不可欠であると考えている。

＜社会福祉学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

社会福祉学科は、これからの社会における社会福祉のプロフェッショナルへのニーズの高まりに鑑み、理論学習だけではなく、工夫を凝らした実践教育を実施している。特に実習や演習科目においては、対人援助職に必要な知識や基本姿勢、援助方法を実践的に修得するため、個別指導やグループ学習を取り入れ、教育効果の高い方法を採用している。教育の効果として、前身の社会福祉専攻時代から、「社会福祉士」並びに「精神保健福祉士」の国家試験の高い合格率を示している。今後も高い合格率を維持し、多くの資格取得者を社会に輩出していく。

これまで、奈良県をはじめとして、多くの卒業生が地域のソーシャルワーカーとして、高齢者や児童、障害者、生活困難者などに対する支援を行っている。こうした卒業生や地元自治体（奈良県、天理市ほか）、県内の福祉関係機関・団体・施設、加えて天理教内の福祉関係部署及び施設等と連携し、学生の実践力を高めている。

超高齢社会を迎えた我が国において、奈良県内で唯一の「社会福祉士」「精神保健福祉士」資格養成課程を有する本学科は、地域の高齢者施設や病院、行政機関で活躍し、相談援助の専門家の養成機関として必要不可欠的存在であると考えている。

＜国際学部韓国・朝鮮語学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

韓国・朝鮮語学科は、韓国・朝鮮語を専門的に学ぶことができる奈良県内唯一の学科である。奈良県は古くから朝鮮半島との交流が活発で、その交流の痕跡を示す歴史的遺跡も豊富である。

COVID-19による旅行規制が解除されて以降、日本を訪れる外国人観光客が再び増加する中で、令和7（2025）年には韓国人観光客が史上最多を記録したことから、韓国における日本への関心の高さが窺える。【資料1】

本学科の前身である外国語学科韓国・朝鮮語専攻の卒業生の主な進路は、日本国外務省、韓国総領事館、全日空、大韓航空、アジアナ航空、トップツアー、京都ホテル、ホテルグランヴィア、近鉄・都ホテルズなど、外交関係や航空会社、ホテル業界など、隣国の韓国との国際交流を前提とした分野が目立つ。全世界がCOVID-19を克服し、国家間の交流の必要性がますます高まる中、日本でもっとも古い韓国・朝鮮語教育の伝統をもつ本学科の卒業生は、即戦力となる人材として今後もますますの活躍が期待され、そのような人材の養成は天理市や奈良県の地域社会の発展のためにも必要であると考えている。

＜国際学部中国語学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

我が国にとって中国は、歴史的につながりの深い地域であると同時に、社会的にもなお

互いに影響を与え合う関係にある。奈良県には、古くから歴史的に中国との交流があったことを示す歴史的遺跡が豊富にある。中国語学科は、中国語を専門的に学ぶことができる学科として奈良県内唯一の学科である。

グローバル経済における中国経済の存在感は大きく、中国で経済活動を行う重要性や、中国市場において活躍できる人材の需要は、引き続き高い水準にある。

また、台湾やシンガポール及び中華系の人々が多く居住する東南アジア諸国・諸地域との経済関係も、日本にとっては重要である。こうした地域への日本企業の進出及び現地企業との提携の状況は堅調に推移しており、中国に限定しない、中華圏（台湾、香港、マカオ、シンガポール）を含む市場へのアプローチも重要である。

さらに、外国人居住者の増加にともない、社会の「多文化化」が進むなかで、外国語のみならず、国際的な知見を持った人材の地域的要請は高まっている。特に、外国人居住者の多くを占める中国人及び中華系の人々が同じ生活圏内で暮らしていくために必要とされる知見は、これまで以上に地域社会において求められていると考える。

＜国際学部英米語学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

グローバル化の進展に加え、インバウンド需要の回復、国際的な人的交流の再拡大により、高度な英語運用能力を有する人材への需要は引き続き高い水準にある。特に、観光業、航空・運輸業、貿易関連企業、国際協力機関、教育分野などにおいて、英語を用いて円滑なコミュニケーションを図れる人材が求められている。

大正14年に創立された天理外国語専門学校の時代から、本学では教員養成に力を注ぎ、戦後新制大学になってからも、多くの中学校・高等学校の外国語科（英語）の教員を輩出し、地域社会に貢献している。

また、近年では、国内企業においても社内公用語の英語化や海外取引の拡大が進んでおり、地域社会においても英語対応力を備えた人材の必要性が高まっている。英米語学科が養成する、語学力と異文化理解力をあわせ持つ人材は、今後も全国的・地域的に安定した需要が見込まれると考える。

＜国際学部外国語学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

外国語学科は、タイ語、インドネシア語、ロシア語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語といった、多くの大学では学べない言語を専門的に学ぶことができるプログラムを提供している。スペイン語やフランス語を第二外国語として学べる大学は少なくないが、専門として学べる大学は限られており、奈良県内では本学が唯一である。奈良県立国際高等学校、高取国際高等学校、法隆寺国際高等学校等では、第二外国語としてスペイン語、フランス語、ドイツ語などの授業が開設されており、それらの高校からの進学需要が想定される。

また、前述の本学の特徴と関連して、外国語を学ぶ学生には天理教信者も少なくない。天理教は、日本国内に信者がおり、近畿圏だけではなく全国各地から本学への入学を目指す学生たちが一定数存在する。天理教には南米のスペイン語圏やフランス語圏、ドイツ、タイ、インドネシア、ブラジルなどに布教の拠点があり、これらの地域に関わる言語の修得は、これからの天理教の海外における教勢伸展を期するうえで重要であると考えられる。

＜国際学部日本学科で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析＞

少子化により労働人口が減り続けることが明白な日本では、平成2（1990）年に「出入国管理及び難民認定法（入管法）」が改正され、その後は外国人労働者が積極的に受け入れられてきている。また、平成24（2012）年からは「高度外国人材」を受け入れるためのポイント制が導入され、日本の経済成長に貢献することが期待される高度な能力や資質を持つ外国人が、いま日本の社会に必要とされている。日本学科が学士（日本学）の教育課程を通じて養成する人材は、日本語の優れた運用能力と日本の社会と文化について豊かな知識を持ち、日本と外国をつないで活躍することが可能な、まさに「高度外国人材」にあたると考える。

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

リクルート進学総研「マーケットリポート2024」によれば、全国の18歳人口は、令和6（2024）年の106.3万人だったのが、令和7（2025）年には109.1万人、令和8（2026）年には109.3万人と少しずつ増加をするものの、令和5（2027）年度以降は減少に転じ、令和17（2035）年には97.1万人と、100万人を切ることになると予測している。これは令和7（2025）年の89%にあたり、11%の減少となる。

本学が所在する近畿圏においても、18歳人口は減少傾向にある。近畿圏における18歳人口は、令和7（2025）年の17.9万人から徐々に減少し、令和18（2036）年には15.3万人へと減少する。令和7（2025）年の86.9%になると予測され、全国の減少率と比べても大きな減少といえる。

さらに、奈良県においては、令和18（2036）年に18歳人口が令和7（2025）年度の78.6%に減少すると見込まれており、この地域での学生確保は今後一層難しくなると予想される。

また、全国の大学進学者数は、「令和6年度文部科学白書」では、現在の約63万人か令和17（2035）年には約57万人、令和22（2040）年には約44万人となり、現在の定員規模の約70%へと大幅に減少する厳しい予測となっている。

近畿圏の進学率は平成27（2015）年の53.8%から令和6（2024）年の64.7%へ推移し、進学者数は、平成27（2015）年の94,972名から97,844名に増加している。一方で、奈良県における進学率は上昇しているものの、大学進学者数については、平成27（2015）年の3,171名から令和6（2024）年の2,892名へ推移している。この減少傾向は今後も続くものと推察され、学生確保にとって厳しい状況は今後も続く予想される。

さらに、奈良県の大学進学者の地元残留率（奈良県内所在の大学・短期大学入学者数のうち奈良県内所在の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合）は、令和6（2024）年で15.2%となっており、奈良県内からの進学者が全体の4割程度を占める本学においては、学生確保の見通しは、大変厳しいものと言わざるを得ない状況である。【資料2】【資料3】

③収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

別紙1に記している令和7（2025）年度学校基本調査によれば、奈良県内大学の入学者の出身高校所在地は、大阪府1,270名（28.6%）、奈良県1,176名（26.5%）、京都府371名（8.4%）、兵庫県276名（6.2%）、三重県139名（3.1%）の順となっている。大阪府及び奈

奈良県出身者で過半数を占めており、巨大人口圏である大阪府からの継続的な流入と、地元奈良県における安定した進学需要という二重の基盤を有している。また、本学においてもこれら上位5府県の出身者が66.6%を占めており、近畿広域及び三重県を主要な学生募集地域として位置づけている。

一方で、奈良県の大学進学率は令和6（2024）年61.7%（全国平均58.4%）と高いものの、県内大学への残留率は15.2%（全国平均44.8%）と極めて低い。隣接府県への交通利便性の高さが県外流出を促進している側面があり、本学のみならず県内高等教育機関に共通する喫緊の課題となっている。【資料2】【資料4】

この課題の解決に向け、本学を含む県内すべての高等教育機関、産業界、自治体などが連携し、「なら産学官連携プラットフォーム」を構築した。同プラットフォームを通じて地域課題の解決や新産業の創出を図り、地域全体の魅力向上を通じて若者の定着と県外からの人材流入の促進に取り組んでいる。

本学としては、附属天理図書館をはじめとする県内の豊富な教育資源を最大限に活用し、奈良ならではの学びを展開する。さらに、プラットフォームを介した地元優良企業との就職直結型インターンシップの開発などを通じて県内残留率の向上を図るとともに、他府県からの志願者確保を推進し、安定した定員充足を目指す。

また、本学の経営母体である天理教が全国に有する約1万4千の教会ネットワークを一層強化し、全国規模での学生募集を進める。これらの施策により、収容定員の適正化を図りつつ、意欲ある学生を安定的に確保することが可能である。

④既設組織の定員充足の状況

既設学科の収容定員充足率及び入学定員の充足状況は、別紙2の1及び別紙2の2-1～2-26のとおりである。

令和7（2025）年度の収容定員充足率について、まず体育学部及び医療学部を見ると、体育学部1.13<体育学科1.13>、医療学部1.00<看護学科1.09、臨床検査学科0.78>であり、両学部は学部全体としては収容定員を充足している。なお、学科としての収容定員が未充足の臨床検査学科の過去3年の入学者数は令和5（2023）年度25名（入学定員充足率0.81）、令和6（2024）年度34名（1.13）、令和7（2025）年度21名（0.70）と推移しており、直近の令和8（2026）年度は34名（1.13）である。令和5（2023）年度から令和8（2026）年度の4年間の平均入学者数28.5名となり、収容定員充足率は0.89となる。依然として定員未充足の状況は続くものの、令和8（2026）年度は若干の改善の兆しが見られる。

一方で、人文学部及び国際学部の収容定員充足率を見ると、人文学部0.60<宗教学科0.55、国文学国語学科0.40、歴史文化学科0.58、心理学科0.76、社会教育学科0.60、社会福祉学科0.69>、国際学部0.57<韓国・朝鮮語学科0.60、中国語学科0.25、英米語学科0.65、外国語学科0.27、国際文化学科0.99、日本学科0.61>となっており、両学部は学部全体としての定員を充足していない。

次に人文学部及び国際学部の各学科について、令和6（2024）年度の学部学科改組以前の学部学科専攻名を挙げながら、令和6（2024）、令和7（2025）年度の入学定員充足率を見てみたい。

人文学部宗教学科は令和6（2024）年度に人間学部宗教学科を改組し、人文学部宗教学

科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.45、令和 7（2025）年度0.65となっている。

人文学部国文学国語学科は令和 6（2024）年度に文学部国文学国語学科を改組し、人文学部国文学国語学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.35、令和 7（2025）年度0.45となっている。

人文学部歴史文化学科は令和 6（2024）年度に文学部歴史文化学科を改組し、人文学部歴史文化学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.68、令和 7（2025）年度0.48となっている。

人文学部心理学科は令和 6（2024）年度に人間学部人間関係学科臨床心理専攻を改組し、人文学部心理学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.55、令和 7（2025）年度0.98となっている。

人文学部社会教育学科は令和 6（2024）年度に人間学部人間関係学科生涯教育専攻を改組し、人文学部社会教育学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.64、令和 7（2025）年度0.74となっている。

人文学部社会福祉学科は令和 6（2024）年度に人間学部人間関係学科社会福祉専攻を改組し、人文学部社会福祉学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.60、令和 7（2025）年度0.78となっている。

国際学部韓国・朝鮮語学科は令和 6（2024）年度に国際学部外国語学科韓国・朝鮮語専攻を改組し、国際学部韓国・朝鮮語学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.60、令和 7（2025）年度0.65となっている。

国際学部中国語学科は令和 6（2024）年度に国際学部外国語学科中国語専攻を改組し、国際学部中国語学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.28、令和 7（2025）年度0.23となっている。

国際学部英米語学科は令和 6（2024）年度に国際学部外国語学科英米語専攻を改組し、国際学部英米語学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.50、令和 7（2025）年度0.77となっている。

国際学部外国語学科は、令和 6（2024）年度に国際学部外国語学科スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻で学んでいたスペイン語とブラジルポルトガル語に加え、国際学部地域文化学科の 3 研究コース（アジア・オセアニア研究コース、ヨーロッパ・アフリカ研究コース、アメリカス研究コース）において地域言語として学んでいたタイ語、インドネシア語、ドイツ語、フランス語、ロシア語の 5 言語、計 7 言語の中からいずれか 1 言語をコースとして選択して学ぶ学科に改編した。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.48、令和 7（2025）年度0.57となっている。

国際学部国際文化学科は、それまで国際学部地域文化学科で学んでいた地域言語を令和 6（2024）年度に外国語学科に移設することで世界各地域の社会、文化、歴史などを学ぶことに特化した学科に改組し、国際学部国際文化学科として開設。令和 6（2024）年度の入学定員充足率1.00、令和 7（2025）年度0.99となっている。

国際学部日本学科は令和 6（2024）年度に国際学部地域文化学科日本研究コースを改組し、国際学部日本学科として開設した。令和 6（2024）年度の入学定員充足率0.40、令和 7（2025）年度0.73となっている。

前述した、学部学科改組前の人間学部、文学部、国際学部における令和5（2023）年度の収容定員充足率は、人間学部0.81<宗教学科0.58、人間関係学科臨床心理専攻0.92、人間関係学科生涯教育専攻0.86、人間関係学科社会福祉学科0.98>、文学部0.75<国文学国語学科0.78、歴史文化学科0.72>、国際学部0.69<外国語学科韓国・朝鮮語専攻1.01、外国語学科中国語専攻0.54、外国語学科英米語専攻0.71、外国語学科スペイン・ブラジル語専攻0.47、地域文化学科0.70>となっており、外国語学科韓国・朝鮮語専攻を除く10学科専攻において収容定員を充足していない状況であった。

教育内容の再編及び志願者動向への対応を目的として、令和6（2024）年度に人間学部、文学部の2学部を人文学部の1学部に変更、臨床心理専攻、生涯教育専攻、社会福祉専攻の3専攻を心理学科、社会教育学科、社会福祉学科の各学科に改編した。国際学部においても、外国語学科韓国・朝鮮語専攻、中国語専攻、英米語専攻の3専攻を韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科の各学科に改編し、外国語学科はタイ語、インドネシア語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ブラジルポルトガル語の各7言語のコース制に改編した。また、地域文化学科を改編した国際文化学科を設置し、地域文化学科のコースとして設けていた日本研究コースを日本学科に改編した。

なお、令和6（2024）年度の改組では、大学全体の収容定員880名を増減せずに体育学部の収容定員を200名から240名に増員し、人文学部及び国際学部の各学科で定員の見直しを行った。

令和6（2024）年度の学部学科改編及び収容定員の変更により、各学部学科の収容定員充足率が改善することを想定していたが、一部の学科において改善が見られたものの、依然として収容定員未充足の状況が継続している。

その背景としては、18歳人口の減少という時代的潮流をはじめ、昨今の人文系学問に対する社会的関心の希薄化、COVID-19パンデミックやAIの急速な進展を背景とした国際系学科への志願者の減少といった要因を十分に把握できていなかったことが挙げられる。

以上のとおり、学部学科改組及び定員の見直しを行ったものの、人文学部及び国際学部収容定員充足率においては、大幅な改善を見込むことは容易ではない状況にある。

収容定員を適正に管理するために、令和9（2027）年度より、人文学部6学科（宗教、国文学国語、歴史文化、心理、社会教育、社会福祉）、国際学部5学科（韓国・朝鮮語、中国語、英米語、外国語、日本）において、収容定員の減少に係る届出を行う。

（3）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

本学における学生募集のPR活動の近年の実績は別紙3に示すとおりである。

資料請求者から本学への受験率は5～6%だが、入学率は5%で、受験者が入学する割合は高くなっている。したがって、資料請求から受験を経て入学までの動線を重視し、資料請求者に対してSNSで入試情報を積極的に発信するなどして、受験率の向上を図っている。

進路ガイダンスは例年参加者数が増加しており、過去2年でも参加者（受験対象者）の10%超が本学に入学していることから、今後もこの直接交流できる機会を重視し、資料請求への動線につなげていく。

また、オープンキャンパスについては、令和3（2021）年までは4回だったものを、令和5（2023）年には7回に増やした。過去2年間の数値では参加者の受験率が50%前後、入学率も40%後半と高く、本学の教職員が受験生・保護者と直接交流できるこの機会が非常に重要であることが分かる。また、本学にはオープンキャンパスのサポートのための学生主体のサークル「T-Can」があり、これまでのオープンキャンパス実施のうえで多大な貢献をしてきた。受験生により近い年代の学生が本学の魅力をアピールする絶好の場として、この活動を今後も継続し、さらに充実させていく。また、オープンキャンパスでは、リピーターの参加が入学率向上につながるという調査結果に基づき、今年度から初めての参加者に交通費を補助する施策を行った。これには一定の効果が見られたため、来年度以降も継続して行っていく。全学的に、今後もオープンキャンパスを本学の入試広報の最重要課題として位置づけつつ、受験生にとってより魅力的に映るよう、実施の充実を図っていききたい。

全学的な入試広報としては、令和7（2025）年度から、SNSに学生主導で作成したリール動画を配信する試みを始めた。令和7（2025）年度は試験的な試みだったため、配信本数も限定的だったが、令和8（2026）年度はこれをさらに増やしていく。一方で、ここ数年、費用対効果を考慮して控えていた駅や電車内での広告を、令和8（2026）年度から再開する。特に、近隣の高校生の利用が見込まれる近畿日本鉄道（近鉄）の車両にオープンキャンパスの広告を出し、認知度の向上から参加者の増加へとつなげていきたい。

高校訪問や進路ガイダンスについては、令和6（2024）年度より、本学の若手職員で「入試アドバイザー制度」を立ち上げ、入学部以外の職員も高校訪問や進路ガイダンスに参加する体制を整えた。それに加え、このメンバーで「新入生インタビュー調査」を行い、受験生の行動・意識を分析している。

さらに、入試広報戦略の一環として、令和7（2025）年度より、元県立高校の進路指導部長だった本学OBを高校訪問のアドバイザーとして採用し、地元の高校を中心に、より積極的な高校訪問を行っている。それによって県内高校教員と本学との人脈がさらに開拓され、近畿圏の高校訪問の展開にもつながっている。

イ 収容定員を変更する組織における取組とその目標

今回は人文学部の全学科（宗教学科、国文学国語学科、歴史文化学科、心理学科、社会教育学科、社会福祉学科）及び国際学部の5学科（韓国・朝鮮語学科、中国語学科、英米語学科、外国語学科、日本学科）において、入学定員・収容定員の削減を行うが、その後も上記アで記したことは全学的な取組として発展的に継続していく。

別紙3の数値にも現れているように、特にオープンキャンパスの参加者（受験対象者）のうち、過去2年間で受験率がほぼ50%、入学率は46～47%という数字が示すように、本学キャンパスで教職員が受験生・保護者と対面で接することが、受験から入学に至るまでの重要な鍵となる。こうした点からも、人文学部と国際学部で年間7回のオープンキャンパス実施を継続しつつ、人文学部・国際学部の各学科の学びの魅力をさらに効果的にアピ

ールできるような柔軟なプログラムを考案し、実施していく。

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、収容定員を変更する組織での入学者の見込み数

本学では令和6（2024）年度に人文学部・国際学部の改組による設置届出を行い、現行の人文学部6学科・国際学部6学科の体制になった。それにより、人文学部の定員は240名、国際学部は290名にそれぞれ変更された。だが、人文学部の入学者数が令和6（2024）年度に132名、令和7（2025）年度に158名となり、定員を大きく下回った。また国際学部は令和6（2024）年度に149名、令和7（2025）年度に181名と、同じく大きく定員を割り込んだ。令和6（2024）年度から令和7（2025）年度へ、両学部とも入学者数の回復は見られるものの、このことが原因で、体育学部・医療学部を合わせた全学の定員収容率が8割を下回る状況が続いている。したがって、令和9（2027）年度入試より、入学定員を人文学部175名、国際学部190名にそれぞれ削減し、収容定員の見直しを行い、中長期的な収容定員の適正化を図る。

＜人文学部宗教学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員20名から15名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の9名から令和7（2025）年度の13名と若干回復したものの、定員を下回った。特に宗教学科は近年の入学者の減少傾向が顕著なため、基礎人数を7～8名とする。オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、令和6（2024）年度より始めた学科独自のSNSでの広報の強化などによって、7～8名の上乗せが可能と想定している。

＜人文学部国文学国語学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員40名から25名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の14名から令和7（2025）年度の18名と若干回復したものの、定員を下回った。直近の令和7（2025）年度入学者数18名を基礎人数とし、オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みなどによって、7～8名の上乗せが可能と想定している。

＜人文学部歴史文化学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員50名から35名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の34名から令和7（2025）年度の24名と10名の減少で、定員を下回った。過去2年間の入学者数から判断して25名を基礎人数とし、オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みなどによって、10名の上乗せが可能と想定している。

＜人文学部心理学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員40名から35名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の22名から令和7（2025）年度の39名と17名増加したものの、定員を1名下回った。過去2年間の入学者数から判断して30名を基礎人数とし、オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みになどによって、5名の上乗せが可能と

想定している。

＜人文学部社会教育学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員40名から25名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の23名から令和7（2025）年度の25名と2名増加したものの、定員を下回った。直近の令和7（2025）年度入学者数25名を基礎人数とし、オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、学科の学びの内容との親和性から、特にアスリート系の学生へさらにアピールしていくことで定員を充足すると想定している。

＜人文学部社会福祉学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員50名から40名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の30名から令和7（2025）年度の39名と9名増加したものの、定員を下回った。直近の令和7（2025）年度入学者数39名を基礎人数とし、オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みなどによって、40名の定員確保は可能と想定している。

＜国際学部韓国・朝鮮語学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員40名から25名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の24名、令和7（2025）年度の24名と横ばいで、定員を下回った。過去2年間の入学者数をもとに、近畿圏の他大学における韓国・朝鮮語の学科・コースの新設といった競合の状況を踏まえ、基礎人数を25名とする。オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みなどによって、25名の定員を上回る入学者数を想定している。

＜国際学部中国語学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員40名から15名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の11名から令和7（2025）年度の9名と2名の減少で、定員を下回った。過去2年間の入学者数をもとに、中国語学科は近年の入学者数の減少傾向が顕著なため、基礎人数を10名とする。オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みなどによって、15名の定員確保は可能と想定している。

＜国際学部英米語学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員60名から45名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の35名から令和7（2025）年度の46名と11名増加したものの、定員を下回った。過去2年間の入学者数をもとに基礎人数を40名とし、オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みなどによって、45名の定員確保は可能と想定している。

＜国際学部外国語学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員60名から25名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の13名から令和

7（2025）年度の21名と8名増加したが、定員を大きく下回った。過去2年間の入学者数をもとに基礎人数を20名とし、オープンキャンパスを中心とした取り組みに加え、天理高等学校や他の協定校との高大接続の取り組みなどによって、25名の定員確保は可能と想定している。

＜国際学部日本学科での入学者の見込み数＞

現行の入学定員40名から30名に削減する。入学者は令和6（2024）年度の16名から令和7（2025）年度の29名と13名増加したものの、定員を下回った。過去2年間の入学者数をもとに、基礎人数を25名とする。今後もアジア圏での積極的な入試広報活動をさらに展開していくことに加え、令和9（2027）年度入試より、海外居住者に対する春学期入試を導入することから、30名の定員確保は可能と想定している。

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と収容定員を変更する組織との比較分析、優位性

奈良県内または近畿圏内の4年制大学であることを前提とし、当該学科の学問分野、定員規模、学力層などを総合的に勘案し、一定の類似性が認められる大学を競合校として選定した。

＜人文学部宗教学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

天理教の教義と実践についての学びを主軸とする学科であるため、同様の分野の競合校はないと捉えている。

＜人文学部国文学国語学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

帝塚山大学文学部日本文化学科（入学定員110名）

帝塚山大学文学部日本文化学科には、「文化財・文化遺産コース」「日本史コース」「日本語・日本文学コース」の3つのコースがあり、本学の国文学国語学科の学問分野はこれらのコースのうち「日本語・日本文学コース」と類似しており、このコースを選択する受験生にとっては競合校と意識されていると考えられる。

公開情報から比較すると、本学の国文学国語学科は、奈良県天理市という歴史的、文化的に恵まれた環境のもと、附属天理図書館、附属天理参考館の豊富かつ貴重な文献、資料を活用し、初年次から系統的・体系的に組織されたカリキュラムにより、我が国の言語文化に関する専門的知識を、分野や時代といった分類の壁を越えて修得できることが特徴である。また、入学定員25名に対し6名の基幹教員で少人数指導を進めており、自主的な勉強会「輪講」など、キャンパスを超えた活動もアピールポイントとして挙げられる。

＜人文学部歴史文化学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

大谷大学文学部歴史学科（入学定員105名）

大谷大学文学部歴史学科は、「日本史コース」「世界史コース」「歴史ミュージアムコース」「京都探究コース」の4コースがあり、本学の歴史文化学科とコースや学問分野が類似している。

公開情報から比較すると、大谷大学文学部歴史学科が歴史学を中心にカリキュラムを構成しているのに対し、本学の歴史文化学科は、初年次に各分野の基礎的知識を修得し、2年次から「歴史学コース」「考古学コース」「民俗学コース」の3コースに分かれて専門的知識を学ぶカリキュラムを構成している。さらに、教職・博物館学芸員資格の取得を核にした7つの履修モデル・プログラムを展開している。歴史学コースでは、附属天理図書館所蔵の古文書史料を用いながら、古文書の取り扱いのノウハウを修得することができる。考古学、民俗学コースにおいては、キャンパスが日本最古の道である「山の辺の道」沿いにあり、学内及びその周辺に多くの古墳が点在するという環境や、附属天理参考館などでの学びを通して、文化財の保存と活用についての理解を深めることが特色である。これらの環境や施設のメリットを最大限に生かしながら、少人数指導により専門性を高めることができる教育内容である。

<人文学部心理学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性>

帝塚山大学心理学部心理学科（入学定員100名）

帝塚山大学心理学部心理学科は、1学部1学科で編成され、本学の心理学科よりも所属教員も多く、専門分野も実験心理学分野、社会・応用心理学分野、臨床・発達心理学分野と多岐にわたっている。両大学ともに公認心理師・臨床心理士の課程を有していることから学習範囲もほぼ同じであると考えられるが、本学の心理学科は、臨床心理学分野を専門とする教員が多く、臨床心理学分野を中心とした学びが充実している。教員に対する学生数で比較すると、本学の心理学科は、少人数による丁寧な指導が特色一つである。また、大学院臨床人間学研究科臨床心理学専攻と連携して、公認心理師や臨床心理士の養成を核としながらも、広く対人社会心理を学ぶことができるように、1、2年次で基礎的な内容を学修したうえで、3年次から資格履修モデルと対人社会履修モデルのクラスに分かれ、体験的な授業を通して、実践的に心理臨床の知識やスキルを修得するなど、それぞれの専門科目を深く学ぶことができる。

<人文学部社会教育学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性>

「社会教育学」を冠する学科が他に存在しないため、同様の分野の競合校はないと捉えている。

<人文学部社会福祉学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性>

関西福祉科学大学社会福祉学部福祉創造学科（入学定員80名）

関西福祉科学大学社会福祉学部福祉創造学科は、「まちづくり」「医療福祉」「高齢・障害福祉」「子ども家庭福祉」の5コースを設けているが、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士などの養成を目的としており、本学の社会福祉学科と学問分野や学修の範囲の類似性が高く、競合校といえる。

本学の社会福祉学科は、学びを未来に活かす履修モデルを明示したうえで、理論学習だけではなく、工夫を凝らした実践教育を実施している。特に実習や演習科目においては、対人援助職に必要な知識や基本姿勢、援助方法を実践的に修得するため、個別指導やグループ学習を取り入れて、教育効果の高い方法を採用している。また、教育の効果として、

「社会福祉士」の国家試験では、直近の3年間連続で80%を超え、令和7（2025）年の「精神保健福祉士」国家試験では合格率100%となっている。いずれも高い合格率となっていることは大きな特色であり、アピールポイントといえる。

＜国際学部韓国・朝鮮語学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

近隣に韓国・朝鮮語、韓国・朝鮮学を専門とする学科を設置している大学はない。

韓国・朝鮮語が学べる大学としては、近畿大学国際学部国際学科東アジア専攻の韓国語コース、京都産業大学外国語学部アジア言語学科の韓国語専攻、帝塚山学院大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科の韓国語韓国文化専攻などが挙げられるが、いずれも「学科」組織ではなく、入学定員も公開されていないため、単純な比較は難しい。

公開情報によると、各大学の韓国・朝鮮関係を専門分野とする教員数は、近畿大学2名、京都産業大学3名、帝塚山学院大学4名で、その大部分は韓国語教育、言語学を専門としている。

これに対し、本学の韓国・朝鮮語学科は、国内で最も長い韓国・朝鮮語教育の歴史と伝統のもと、言語学、文学、歴史学を専門とする5名の基幹教員を有し、高度な韓国・朝鮮語の運用能力を身につけるとともに、文学、歴史、社会などを深く体系的に学修することができるカリキュラムを設けている。韓国への充実した留学及び海外実習制度、国際交流の実績を活かした教育環境は、他大学に対して優位性を有する。国内ではわずか6校しかない高等学校教諭一種免許状（韓国・朝鮮語）の教職課程を設置している点も、アピールポイントである。

＜国際学部中国語学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

京都外国語大学外国語学部中国語学科（入学定員60名）

京都外国語大学外国語学部中国語学科は、中国語の確かな運用力を備え、中国語話者によって育まれた社会と文化の諸事象に関する専門的知識を身につけながら、問題意識を持って課題に取り組み、的確な分析を行い、その結果を他者と共有すべく発表する力を備えた人材を育成することを目的としており、本学の中国語学科との類似性が高く、競合校といえる。

公開情報から比較すると、両校とも中国語を専門的に学び、言語、文化、社会などについての理解を深め、グローバルな人材を育成することを目指しており、学習の範囲や学問分野はほぼ同じであると考えられる。本学の中国語学科は、卒業後の社会参画を見据えて、「国際貢献志向」「地域貢献志向」「グローバル志向」「デュアルディグリープログラム」の4つの履修モデルを明示していることが特色である。「デュアルディグリープログラム」では、台湾の中国文化大学との協定に基づき、2年間の中国文化大学での留学生活を含め、5年で両大学の学位を取得することが可能である。台湾を中心とした言語文化をより深く学べることは、本学科のアピールポイントである。同時に、台湾を含む中華圏への充実した留学及び海外実習制度、国際交流の実績を活かした教育環境は、他大学に対して優位性を有する。

＜国際学部英米語学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

近隣地域で英語を専門として学べる大学として、京都外国語大学外国語学部英米語学科、関西外国語大学外国語学部英米語学科がある。

両大学ともに学問分野や学修範囲は本学の英米語学科とほぼ同様であると考えられ、類似性は極めて高く、ともに競合校といえる。また両大学ともに、立地条件や知名度においては本学に対する一定の優位性を有する。

京都外国語大学の入学定員は350名、関西外国語大学の入学定員は730名で、大規模学科編成による教育となっている。一方、本学の英米語学科は入学定員45名に対して基幹教員7名による徹底した少人数制によるきめ細かな指導を強みとし、学生の英語運用能力の着実な向上を実現している点に優位性がある。本学科の教育環境は、建学の精神に基づく国際理解教育や、英語圏への充実した留学及び海外実習制度、国際交流の実績を活かしており、他大学に対して優位性を有する。また、奈良県及び近隣地域の中学校・高等学校で、英語教員として多くの卒業生が活躍している点もアピールポイントである。

＜国際学部外国語学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

奈良県内に外国語学科の競合校はない。

近隣地域では、京都外国語大学がスペイン語学科、フランス語学科、ドイツ語学科、ブラジルポルトガル語学科、ロシア語学科を設置している。本学科で学べる7言語（タイ語、インドネシア語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ブラジルポルトガル語）のうち5言語が重複し、学問分野や学習範囲の上から、本学科の競合校と考えられる。

京都外国語大学の各学科の入学定員は、スペイン語学科60名、フランス語学科45名、ドイツ語学科45名、ブラジルポルトガル語学科45名、ロシア語学科20名である。一方、本学科の入学定員は25名で、1言語コースあたりの平均定員数は約3.6名である。

同大学は立地条件や知名度において本学に対して一定の優位性を有する一方、大規模な学科構成となっている。これに対して本学の外国語学科は、徹底した少人数制によるきめ細かな指導を強みとし、学生の外国語運用能力の着実な向上を実現できるカリキュラムを設けている。また、各言語圏への充実した留学及び海外実習制度、国際交流の実績を活かした教育環境は、他大学に対して優位性を有する。

＜国際学部日本学科の競合校の選定理由と比較分析、優位性＞

留学生だけを受け入れるユニークな学科は、我が国の他大学ではあまり例がないため、特定の大学を競合校として想定することができない。

イ 競合校の入学志願動向等

＜人文学部宗教学科の競合校の入学志願動向等＞

天理教の教義と実践についての学びを主軸とする学科であるため、近隣に同様の分野の大学は存在しないが、「宗教系」という枠で捉えれば、以下のような事例が挙げられる。

大谷大学文学部仏教学科では、入学定員25名に対して、令和5（2023）年度は入学者12名（充足率0.48）、令和6（2024）年度13名（0.52）、令和7（2025）年度8名（0.32）となっている。

花園大学文学部仏教学科では、令和7（2025）年度入試において、入学定員35名に対し

て、入学者数16名（0.45）となっている。

佛教大学仏教学部仏教学科では、令和7（2025）年度入試において、入学定員60名に対して、入学者数60名（1.00）となっている。

＜人文学部国文学国語学科の競合校の入学志願動向等＞

競合校として選定した帝塚山大学文学部日本文化学科では、入学定員110名に対して、令和5（2023）年度は入学者84名（充足率0.76）、令和6（2024）年度75名（0.68）、令和7（2025）年度69名（0.63）となっている。直近の3年間の状況を見ると、入学定員未充足の状況が続いている。

一方で、近畿圏内にある同分野の学科を設置している大谷大学文学部文学科では、入学定員78名に対して、令和5（2023）年度は入学者90名（1.15）、令和6（2024）年度83名（1.06）、令和7（2025）年度89名（1.14）となっており、入学定員を充足している。四天王寺大学文学部日本学科では、入学定員100名に対して、令和6（2024）年度入学者81名（0.81）、令和7（2025）年度109名（1.09）となっており、ほぼ充足の状況が続いている。

これらの競合校や学問分野が類似する大学では、志願者の動向は安定しているとはいえない。本学の国文学国語学科は、附属天理図書館の資料など本物に触れて学びたい志願者にとっては魅力的であり、志願者確保に優位に働くものと考えている。これまでも国文学国語学科では、これらの強みを生かして一定数の志願者を確保しており、今回の入学定員の削減により、定員の適正管理ができるものと考えている。

＜人文学部歴史文化学科の競合校の入学志願動向等＞

競合校として選定した大谷大学文学部歴史学科では、入学定員105名に対して、令和5（2023）年度は入学者134名（充足率1.28）、令和6（2024）年度117名（1.11）、令和7（2025）年度98名（0.93）となっており、入学定員をほぼ充足している。

一方で、県内の類似する学問分野の学科である帝塚山大学文学部日本文化学科では、入学定員110名に対して、令和5（2023）年度は入学者84名（0.76）、令和6（2024）年度75名（0.68）、令和7（2025）年度69名（0.63）となっており、入学定員未充足の状況が続いている。また大阪大谷大学文学部歴史文化学科では、入学定員50名に対して、令和7（2025）年度の在籍者数を見ると、3年次生は41名（0.82）、2年次生は30名（0.60）、1年次生は29名（0.58）となっており、入学定員未充足の状況が続いている。これらの状況から、入学志願者の募集については厳しい状況であるといえるが、本学の歴史文化学科は、附属天理図書館や附属天理参考館の本物の資料に触れる機会をもつなど、他大学にはない優れた環境を生かした少人数指導による専門性の高い教育を強みとして、一定の志願者を確保している。今回の入学定員の削減により、定員の適正管理ができるものと考えている。

＜人文学部心理学科の競合校の入学志願動向等＞

競合校として選定した帝塚山大学心理学部心理学科では、入学定員100名に対して、令和5（2023）年度は入学者117名（充足率1.17）、令和6（2024）年度128名（1.28）、令和7（2025）年度125名（1.25）となっており、入学定員を充足している。

本学の心理学科は、臨床心理学分野を専門とする教員が多く、臨床心理学分野を中心と

した学びが充実している。教員に対する学生数で比較すると、少人数による丁寧な指導が特色であり、これまでも入学定員をほぼ充足している状況にある。今回の入学定員の削減により、定員の適正管理ができるものと考えている。

＜人文学部社会教育学科の競合校の入学志願動向等＞

「社会教育学」を冠する学科が他に存在しないため、同様の分野の競合校はないと捉えている。

＜人文学部社会福祉学科の競合校の入学志願動向等＞

関西福祉科学大学社会福祉学部福祉創造学科（令和6（2024）年度より名称変更、旧社会福祉学科）では、入学定員140名に対して、令和5（2023）年度は入学者122名（充足率0.87）、令和6（2024）年度100名（0.71）、令和7（2025）年度74名（0.52）となっている。入学定員を充足しておらず、近年、入学定員の充足率が低下している。

本学の社会福祉学科においては、「社会福祉士」の国家試験の合格率が3年間連続で80%を超え、令和7（2025）年の「精神保健福祉士」国家試験合格率も100%となっており、卒業後の進路について、十分にアピールできる結果が出ている。今回の入学定員の削減により、定員の適正管理が十分できるものと考えている。

＜国際学部韓国・朝鮮語学科の競合校の入学志願動向等＞

奈良県内に韓国・朝鮮語学科の競合校は存在しない。

近隣で韓国・朝鮮語が学べる大学としては、近畿大学国際学部国際学科東アジア専攻の韓国語コース、京都産業大学外国語学部アジア言語学科韓国語専攻、帝塚山学院大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科韓国語韓国文化専攻等が挙げられるが、いずれも「学科」組織ではなく、入学定員も公開されていないため、単純な比較は難しい。

このうち、本学科と受験生層に重複が見られる帝塚山大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科の場合、入学定員120名に対する入学者数は令和5（2023）年度から令和7（2025）年度までの間、それぞれ162名（1.35）、158名（1.31）、145名（1.20）である。直近3年間の入学定員に対する平均比率は1.29であり、学科全体としては定員を充足している。

近畿大学国際学科、京都産業大学アジア言語学科においても、それぞれ学科としての収容定員は充足している。本学韓国・朝鮮語学科でも同様の傾向が見られ、今回の削減により、定員の適正管理が十分できるものと考えている。

＜国際学部中国語学科の競合校の入学志願動向等＞

奈良県内に中国語学科の競合校は存在しない。

近隣で中国語学科を設けている競合校としては、京都外国語大学外国語学部中国語学科が想定できる。

京都外国語大学外国語学部中国語学科（定員60名）は、令和7（2025）年度の在籍者数を見ると、4年次生63名（1.05）、3年次生70名（1.16）、2年次生56名（0.93）、1年次生61名（1.01）となっており、概ね定員は充足している。

競合校の充足状況から、近畿圏内にはこの分野を目指す志願者が一定数いることが想定され、今回の入学定員削減により、適正な定員管理が可能であると考えている。

＜国際学部英米語学科の競合校の入学志願動向等＞

奈良県内に英米語学科の競合校は存在しない。

近隣の競合校としては、京都外国語大学外国語学部英米語学科、関西外国語大学外国語学部英米語学科が挙げられる。

京都外国語大学の英米語学科（入学定員350名）の令和7（2025）年度在籍者数は、4年次生403名（1.06）、3年次生395名（1.04）、2年次生390名（1.02）、1年次生474名（1.24）となっている。また、関西外国語大学の英米語学科の令和7（2025）年度在籍者数は、4年次生（収容定員1,370名）1,483名（1.08）、3年次生（1,065名）1,140名（1.07）、2年次生（730名）798名（1.09）、1年次生（730名）797名（1.09）となっており、いずれの大学も定員を充足している。

競合校の充足状況から、近畿圏内にはこの分野を目指す志願者が一定数いることが想定され、今回の入学定員削減により、適正な定員管理が可能であると考えている。

＜国際学部外国語学科の競合校の入学志願動向等＞

奈良県内に外国語学科の競合校は存在しない。

近隣の競合校としては京都外国語大学が挙げられる。京都外国語大学の各学科の令和7（2025）年度在籍者数は次のとおりである。

	1年次	2年次	3年次	4年次
スペイン語学科	59名(0.98)	50名(0.83)	55名(0.91)	69名(1.15)
フランス語学科	35名(0.77)	42名(0.93)	34名(0.75)	54名(1.20)
ドイツ語学科	25名(0.55)	27名(0.60)	25名(0.55)	40名(0.88)
ブラジルポルトガル語学科	15名(0.33)	17名(0.37)	16名(0.35)	23名(0.51)
ロシア語学科	6名(0.30)	10名(0.50)	13名(0.65)	24名(1.20)

スペイン語学科は概ね9割程度、フランス語学科は8～9割程度の定員充足率を示しているが、ドイツ語学科の定員充足率は6割程度となっている。ブラジルポルトガル語学科、ロシア語学科の定員充足率はさらに低い状況にある。

世界言語である英語を例外として、外国語学習者の数は全国的に減少傾向にあり、COVID-19パンデミック以降、特に「少数言語」とも呼ばれる外国語に対する学習関心が低下傾向にあることは否めない。

本学の外国語学科は入学定員25名という少数学科でありながら、7つの言語（タイ語、インドネシア語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ブラジルポルトガル語）の中から学びたい言語を入学時に選択できる。タイ語やインドネシア語を専門的に学ぶことができる大学は極めて少なく、受験者層の一定の取り込みを図ることができる考える。

＜国際学部日本学科の競合校の入学志願動向等＞

「日本学」を掲げる学部・学科は、東京外国語大学、明治大学、神奈川大学など首都圏

の大規模大学に多く、そのほとんどは日本人学生と留学生がともに学ぶ学部、学科である。本学の日本学科のような、留学生だけを受け入れるユニークな学科は、我が国の他大学ではあまり例がないため、特定の大学を競合校として想定することができない。

しかし、次の2つの事項に関する数字を参考にして、本学科が30名の定員を満たすための留学生を集めることが可能であることを示すことができる。1つには、日本で学ぶ留学生の数である。独立行政法人日本学生支援機構が実施している「外国人留学生在籍状況調査」によると、令和6（2024）年5月1日現在、その人数は336,708名で、対前年度比20.6%増である。留学生の数は令和7（2025）年度以降も増加することが見込まれる。もう1つには、関西圏にあって積極的に留学生を受け入れている小規模私立大学の留学生数である。大阪観光大学では毎年100名を超える留学生が入学しており、また羽衣国際大学においても毎年50名を超える留学生が入学している。

競合校の充足状況から、近畿圏内にはこの分野を目指す志願者が一定数いることが想定され、今回の入学定員削減により、適正な定員管理が可能であると考えている。

ウ 収容定員を変更する組織において定員を充足できる根拠等

＜人文学部宗教学科の定員を充足できる根拠等＞

本学の宗教学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	24*	21*	9	13	16.8
入学定員	40*	40*	20	20	

* 人間学部宗教学科

令和6（2024）年度に入学定員を40名から20名に削減した。令和6（2024）年度、令和7（2025）年度と定員未充足の状況になっているものの、4年間の入学者数の平均は15名を超えており、今回の削減による15名は充足する可能性があると考えている。なお、今後、同じ法人内の天理高等学校や指定校への広報、高大連携、天理教のネットワークの活用などを通じ、入学者確保に向けて注力すれば、潜在的な志望者を掘り起こせるものと想定している。

＜人文学部国文学国語学科の定員を充足できる根拠等＞

競合校での定員充足率を見ると、大谷大学文学部文学科では、近年充足の状況が続いている。一方で、帝塚山大学文学部日本文化学科や大阪大谷大学文学部日本語日本文学科では、定員未充足の状況が続いている。また、県内の競合校とみられる奈良大学文学部国文学科は、令和8（2026）年度から定員削減を実施している。

本学の国文学国語学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	30*	28*	14	18	22.5
入学定員	40*	40*	40	40	

* 文学部国文学国語学科

令和4（2022）年度から定員未充足の状況が続いており、募集状況は厳しい。しかし、4年間の入学者数の平均は22.5名となっている。今回の申請では入学定員を25名に削減し、定員充足を目指している。人文学部及び国文学国語学科では、入学前のスクーリングに力を入れており、入試の歩留率の向上に効果を上げつつある。今後、同じ法人内の天理高等学校や指定校への広報など高大連携の取り組みの強化により、25名の定員を充足できると想定している。

＜人文学部歴史文化学科の定員を充足できる根拠等＞

競合校での定員充足率を見ると、大谷大学文学部文学科では、近年充足の状況が続いている。一方で、帝塚山大学文学部日本文化学科や大阪大谷大学文学部日本語日本文学科では、定員未充足の状況が続いている。

本学の歴史文化学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	40*	29*	34	24	31.8
入学定員	50*	50*	50	50	

* 文学部歴史文化学科

令和4（2022）年度から定員未充足の状況が続いており、募集状況は厳しい。しかし、4年間の入学者数の平均は31.8名となっている。今回の申請では入学定員を35名に削減し、定員充足を目指している。現在、本学科ではSNSに近隣の古墳での発掘の状況をアップするなど、学科でのさまざまな教育活動を発信することに注力し、受験生への訴求力の向上に努めている。今後、同じ法人内の天理高等学校や指定校への広報など高大連携の取り組みの強化により、定員を充足できると想定している。

＜人文学部心理学科の定員を充足できる根拠等＞

競合校である帝塚山大学心理学部心理学科や京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科では、ほぼ定員充足の状況にある。

本学の心理学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	27*	30*	22	39	29.5
入学定員	30*	30*	40	40	

* 人間学部人間関係学科臨床心理学専攻

過去4年間においては、令和5（2023）年度を除き定員未充足の状況にあるが、人文学部の他学科と比較すると高い充足率にある。また、令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの入学者の平均人数は29.5名である。今回の申請では入学定員を35名に削減し、定員充足を目指している。近隣の競合校でも充足率はほぼ100%で、心理学を学びたいと考えている高校生は一定数存在すると考えている。心理学科の学生のうち天理教内からの進学者が6割程度おり、天理教内での広報活動を活発化させるとともに、指定校への広報活

動やオープンキャンパスでの取り組みを充実させることで、適正な定員管理ができると考えている。

＜人文学部社会教育学科の定員を充足できる根拠等＞

競合校はないが、本学の社会教育学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	19*	15*	23	25	20.5
入学定員	20*	20*	40	40	

* 人間学部人間関係学科生涯教育専攻

令和4（2022）年度からの4年間は定員未充足の状況が続いているものの、直近では若干の増加がみられる。令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの入学者の平均人数は20.5名である。今回の申請では、入学定員を25名に削減し、定員充足を目指している。今後、指定校への広報活動やオープンキャンパスでの取り組みを充実させることで、知名度の向上を図るとともに、学校教育における部活動の地域展開などを見据えて本学のスポーツブランドを活用した広報を一層推進することで、適正な定員管理ができると考えている。

＜人文学部社会福祉学科の定員を充足できる根拠等＞

競合校である大阪大谷大学人間社会学部心理・福祉学科、四天王寺大学社会学部人間福祉学科は、未充足の状況となっているが、関西福祉科学大学社会福祉学部福祉創造学科はほぼ充足している状況である。

本学の社会福祉学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	32*	26*	30	39	31.8
入学定員	30*	30*	50	50	

* 人間学部人間関係学科社会福祉専攻

令和5（2023）年度からの3年間は定員未充足の状況が続いているものの、直近では若干の増加がみられる。令和4（2022）年度から令和7（2025）年度までの入学者の平均人数は31.8名である。今回の申請では入学定員を40名に削減し、定員充足を目指している。社会福祉士、精神保健福祉士などの資格を有する人材は、超高齢社会である我が国において必要不可欠な人材である。社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験における合格率の高さなどを発信していくことで、競合校との差別化を図れると考えている。また、本学科の学生のうち天理教内からの進学者が約7割おり、天理教内への広報活動や、天理高等学校・指定校への広報などの取り組みにより、適正な定員管理ができると考えている。

＜国際学部韓国・朝鮮語学科の定員を充足できる根拠等＞

奈良県内に韓国・朝鮮語学科の競合校は存在しない。

近畿圏の競合校としては、帝塚山学院大学リベラルアーツ学部リベラルアーツ学科韓国語韓国文化専攻、近畿大学国際学部国際学科東アジア専攻（韓国語コース）を挙げることができる。それぞれ定員は充足しており、需要の高さがうかがえる。

本学の韓国・朝鮮語学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	29*	25*	24	24	25.5
入学定員	30*	30*	40	40	

* 国際学部外国語学科韓国・朝鮮語専攻

令和4（2022）年度以来、定員未充足の状況が続いているものの、4年間の平均では、25.5名を確保している。今回の申請では、入学定員を25名に削減しており、定員充足が十分見込める。

＜国際学部中国語学科の定員を充足できる根拠等＞

競合校である京都外国語大学外国語学部中国語学科、名古屋外国語大学外国語学部中国語学科では、入学定員は概ね充足しており、需要の高さがうかがえる。

本学の中国語学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	19*	11*	11	9	12.5
入学定員	30*	30*	40	40	

* 国際学部外国語学科中国語専攻

令和4（2022）年度から令和7（2025）年度の入学者数は、入学定員未充足となっており、募集の状況は厳しいが、4年間の入学者数の平均は12.5名となっている。今回の申請では、入学定員を15名に削減し、入学定員の充足を目指している。

台湾の中国文化大学との協定に基づき、2年間の中国文化大学での留学生活を含め、5年で両大学の学位を取得することができるデュアルディグリープログラム履修モデルにより、台湾を中心とした言語文化をより深く学べるようになっているなどのアピールポイントを有している。こうしたメリットを積極的に広報し、指定校などを中心に志願者の上積みが可能であり、適正な定員管理ができると考えている。

＜国際学部英米語学科の定員を充足できる根拠等＞

競合校である京都外国語大学外国語学部は隔年で入学定員を充足しており、一定の需要が見込まれる。

本学の英米語学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	44*	43*	35	46	42.0
入学定員	70*	70*	60	60	

*国際学部外国語学科英米語専攻

本学英米語学科においても、令和4（2022）年度から令和7（2025）年度まで入学定員は未充足の状況が続いているものの、4年間の入学者数の平均は42.0名となっている。今回の申請では入学定員を45名に削減し、定員の充足を目指している。入学者の学修意欲は比較的高く、教育内容への評価も一定程度に得られている。定員規模を現状の志願動向に即したものに直すことで、定員充足ができると想定している。

＜国際学部外国語学科の定員を充足できる根拠等＞

近隣に同様の学問分野の学科をもつ競合校はないが、京都外国語大学外国語学部には類似性のある学科がある。令和7（2025）年度における各学科の収容定員充足率は、スペイン語学科0.97、フランス語学科0.91、ドイツ語学科0.65、ブラジルポルトガル語学科0.39となっており、言語によって充足状況に差がみられる。

本学の外国語学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	13	21	17.0
入学定員	60	60	

令和6（2024）年度に開設した本学科については、定員未充足が続いており、若干の増加はみられるものの厳しい状況である。この2年間の入学者数の平均は17.0名となっている。今回の申請では入学定員を25名に削減し、定員の充足を目指すことになる。本学科の特徴は、天理教の海外伝道に資する人材の育成という、天理外国語学校以来の独自の理念を有している点である。特にブラジルでは現在も活発な活動が行われており、国内の多くの天理教の関係者が関与している。そのため、教内から一定数の志願者が見込まれると考えられる。また、本学は海外拠点として、フランスのパリに海外分校、ドイツのケルンにはサテライトオフィスなど、留学生へのサポートや海外インターンシップの研修先として提供しており、他大学にない優位性があると考えている。このような教育環境の優位性をさらに積極的に発信するとともに、天理高等学校との高大連携などの強化を図るなどして、定員充足の可能性があると想定している。

＜国際学部日本学科の定員を充足できる根拠等＞

本学科は留学生だけを受け入れるユニークな学科であり、我が国の他大学ではあまり例がないため、特定の大学を競合校として想定することができない。

本学の日本学科の近年の入学者数は以下の表のとおりである。

年度	令和4 (2022) 年	令和5 (2023) 年	令和6 (2024) 年	令和7 (2025) 年	平均人数
入学者数	15*	12*	16	29	18.0
入学定員	30*	30*	40	40	

*国際学部地域文化学科日本研究コース

令和4（2022）年度以降、入学定員の未充足が続いており、志願者の状況は厳しいものの、令和7（2025）年度には前年よりも10名以上の入学者増加がみられている。4年間の入学者数の平均は18.0名である。今回の申請では、入学定員を30名に削減し、定員の充足を目指す。

独立行政法人日本学生支援機構が実施している「外国人留学生在籍状況調査」によると、令和6（2024）年5月現在、その人数は336,708名で、対前年度比20.6%増である。留学生の数は令和7（2025）年度以降も増加することが見込まれる。もう1つには、関西圏にあって積極的に留学生を受け入れている小規模私立大学の留学生数である。大阪観光大学では毎年100名を超える留学生が入学しており、羽衣国際大学においても毎年50名を超える留学生が入学している。これらの状況を踏まえ、令和8（2026）年度から入学試験として春学期の入試を実施するなどの取り組みにより志願者の確保を図り、定員充足の可能性があると想定している。

エ 学生納付金等の金額設定の理由

本学の人文学部及び国際学部における令和8（2026）年度新入生の初年度納付金は、入学金20万円、授業料82万円、教育設備充実費22万円、諸会費6万8千円の合計130万8千円としている。

国際系学部においては、少人数教育や語学演習環境の整備、留学支援体制の構築などにより、近隣の私立大学では140万円から160万円程度に設定される例が多いが、本学では、より幅広い層の学生に質の高い国際教育を提供するため、標準的な水準よりも抑制した学生納付金の設定を行っている。

また、人文学部についても、近畿圏の私立大学文系学部の平均的な納付金水準と比較して低廉な設定としている。これは学生の経済的負担を軽減し、学業に専念できる環境を維持するという本学の方針に基づくものである。適正な教育コストを確保しつつ、経営の効率化を図ることで、この学生納付金の設定を実現している。

③先行事例分析

既設組織を廃止して新設組織を設置する場合ではないため、該当なし。

④学生確保に関するアンケート調査

収容定員に係る学則変更の届出であるため、アンケートは実施していない。

⑤人材需要に関するアンケート調査等

収容定員に係る学則変更の届出であるため、アンケートは実施していない。

（4）収容定員を変更する組織の定員設定の理由

本学では、我が国の人口動態の分析から中長期的に18歳人口が減少するという見通しを

前提に、近年の志願者の動向、また入試における入学者数の動向などの変化について分析した結果などから、持続可能で質の高い教育環境を整え、入学者数を適正に管理するため、令和9（2027）年度以降、入学定員を870名から705名に削減する方針を決定した。

定員の設定にあたっては、令和7（2025）年度、法人に「大学改革委員会」を設置し、理事長、学長を中心に、教学・経営の両面から課題を精査しつつ、協議を行った。令和4（2022）年度から令和7（2025）年度の入学者数の推移、各学科からのヒアリングに加え、今後の人口動態の推移、社会的要請や志願者のニーズなどを踏まえ、各学科の入学定員について最適化を図った。

人文学部の入学定員について、宗教学科では20名から15名に、国文学国語学科では40名から25名に、歴史文化学科では50名から35名に、心理学科では40名から35名に、社会教育学科では40名から25名に、社会福祉学科では50名から40名とし、人文学部全体で240名から175名に再設定する。

国際学部の入学生定員について、韓国・朝鮮語学科では40名から25名に、中国語学科では40名から15名に、英米語学科では60名から45名に、外国語学科では60名から25名に、日本学科では40名から30名とし、国際学部全体で290名から190名に再設定する。

本学が位置する天理市は、天理教において人類のふるさととされる「ちば」の恵まれた宗教的環境と、日本文化の原点ともいえる歴史的・文化的資源に恵まれた環境にあり、附属天理図書館や附属天理参考館などの充実した資料を教育・研究に生かすことができる環境にある。これらの教育資源や教育環境を生かしながら、建学の精神に謳う、さまざまな人が互いに助け合い、誰もが幸せと生きがいにあふれる社会である「陽気ぐらし」世界建設に寄与する人材の育成めざし、多様な文化、文明の特色を認識し、その違いを互いに尊重し、助け合っていく道を、理論と実践の両面から探求してきた。

我が国の社会は、超高齢社会の到来や少子化、AIを核とする高度情報社会の到来による働き方の変化など、多くの激しい変化のただ中にあり、人が人としてその特性を生かして社会に参画していくことが、これまで以上に重要な時代になっている。これからの社会において必要とされるのは、課題を発見して解決する力や創造力、プロジェクトを遂行するマネジメント力、多様な人々と協働するグローバルな感覚であると言われる。

本学では、これらに加え、自分よりも他者を思いやり、多様性を認めながら周囲の人々に明るさと安心を届ける利他的な力を重視している。大正14（1925）年の創立以来、100年にわたって、天理スピリッツとして強調している「他者への献身」に資する教育プログラムを提供し、この精神を基盤とした宗教性、国際性、貢献性を身につけた有為な人材を数多く社会に送り出してきた。今後もこうした教育を持続させていくとともに、一人一人の学生に個別最適な充実した学びを提供する環境を整えるため、少人数を生かした丁寧な指導を一層充実させていくことが重要であるとの認識から、入学定員を再設定することとした。

再設定された入学定員を充足するため、同じ法人内の天理高等学校との高大連携を一層強めていくことで、各学科における安定的な入学者確保が見込まれる。また、SNSを活用した情報発信及びWeb広告などを用いた広報活動の強化を図り、本学の魅力ある教育・研究活動、地域連携活動、社会貢献などの取り組みを広く発信することで、志願者の増加を図る。

今回の学則変更は、単なる定員の削減ではなく、将来的な志願者回復と学生の主体的な学修環境整備のための施策であるとともに、宗教性、国際性、貢献性を身につけた人材を今後も社会に輩出し続けるために必要な措置であると認識している。

* 他大学の入学定員、入学者数及び在籍学生数は、本学の調査に基づく。

学生の確保の見通し等を記載した書類 資料

【資料 1】

中央日報 2026.01.22

昨年の訪日外国人観光客 1 位は韓国、史上最多の946万人

<https://japanese.joins.com/JArticle/343756?sectcode=A00&servcode=A00>

【資料 2】

リクルート進学総研「マーケットリポート2024」 近畿版

18歳人口予測大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 P.2・5・6・11

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2024_souken_report/2024_kinki_souken_report.pdf

【資料 3】

文部科学省「令和6年度文部科学白書」 P.3

https://www.mext.go.jp/content/20250715-mxt_oseisk01-000043715_05.pdf

【資料 4】

リクルート進学総研「マーケットリポート2024」 全国版

18歳人口予測大学・短期大学・専門学校進学率地元残留率の動向 P.10・23

https://souken.shingakunet.com/research/pdf/2024_souken_report/2024_souken_report.pdf

【別紙 1】

収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

【別紙 2 の 1】

既設学科等の収容定員の充足状況

【別紙 2 の 2 - 1 ～ 26】

既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）

【別紙 3】

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

収容定員を変更する組織が置かれる都道府県への入学状況

別紙 1

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位 5 都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	大阪	1,270人	28.6%
2	奈良	1,176人	26.5%
3	京都	371人	8.4%
4	兵庫	276人	6.2%
5	三重	139人	3.1%
	全 体	4,433人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県等)	充足率		
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1	近畿 (京都、大阪、兵庫を除く)	97.27%	92.53%	93.85%

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1	人文科学	96.28%	95.96%	101.78%
2	社会科学	102.70%	102.49%	105.56%
3	教育学	91.57%	91.64%	95.25%

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

○収容定員充足率

申請者が設置する全ての大学等（大学、短期大学、高等専門学校のみ）の
既設の学部（短期大学又は高等専門学校は学科）について記載してください。

大学等名	学部等名	学科名	収容定員	学生数 （令和7年5月1日現在）	収容定員充足率	備考
天理大学	人文学部		480人	290人	0.60	令和6年度開設
		宗教学科	40人	22人	0.55	
		国文学国語学	80人	32人	0.40	
		歴史文化学科	100人	58人	0.58	
		心理学科	80人	61人	0.76	
		社会教育学科	80人	48人	0.60	
		社会福祉学科	100人	69人	0.69	
	国際学部		1300人	748人	0.57	
		韓国・朝鮮語学	80人	48人	0.60	令和6年度開設
		中国語学科	80人	20人	0.25	令和6年度開設
		英米語学科	120人	79人	0.65	令和6年度開設
		外国語学科	120人	33人	0.27	
		国際文化学科	100人	99人	0.99	令和6年度開設
		日本学科	80人	49人	0.61	令和6年度開設
	体育学部		880人	995人	1.13	
		体育学科	880人	995人	1.13	
	医療学部		400人	401人	1.00	
		看護学科	280人	307人	1.09	
		臨床検査学科	120人	94人	0.78	

※上記には、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項を適用した場合の学生数及び収容定員充足率を記入してください。その場合は、備考にその内訳を記入してください。
※大学院、専攻科、別科、募集停止を行った学部等については記載不要です。
※行は適宜追加してください。

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数				6人	10人	8人
		受験者数				6人	9人	8人
		合格者数				6人	9人	8人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				6人	9人	8人
		受験者数				6人	9人	8人
		合格者数				6人	9人	8人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					6人	9人	8人
学校推薦型選抜	募集人員					5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数				4人	3人	4人
		受験者数				4人	3人	4人
		合格者数				3人	2人	3人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				3人	2人	3人
		受験者数				3人	2人	3人
		合格者数				3人	2人	3人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					3人	2人	3人
一般選抜	募集人員					5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数				2人	7人	5人
		受験者数				0人	7人	4人
		合格者数				0人	3人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				2人	3人	3人
		受験者数				0人	3人	2人
		合格者数				0人	3人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	2人	1人
共通テスト利用入試	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				3人	7人	5人
		受験者数				3人	7人	5人
		合格者数				1人	2人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				1人	3人	2人
		受験者数				1人	3人	2人
		合格者数				1人	1人	1人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	20人	20人	8人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	15人	27人	8人
		受験者数	0人	0人	0人	13人	26人	8人
		合格者数	0人	0人	0人	10人	16人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	12人	17人	6人
		受験者数	0人	0人	0人	10人	17人	5人
		合格者数	0人	0人	0人	10人	15人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	9人	13人	4人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				20人	20人	20人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.45	0.65	0.55
歩 留 率	—	—	—	0.90	0.81	0.86

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和６年度開設

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					11人	10人	11人
	延べ人数	志願者数				5人	12人	9人
		受験者数				5人	11人	8人
		合格者数				5人	11人	8人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				5人	11人	8人
		受験者数				5人	11人	8人
		合格者数				5人	11人	8人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					5人	11人	8人
学校推薦型選抜	募集人員					13人	20人	17人
	延べ人数	志願者数				11人	8人	10人
		受験者数				11人	8人	10人
		合格者数				10人	8人	9人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				10人	8人	9人
		受験者数				9人	8人	9人
		合格者数				9人	8人	9人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					8人	5人	7人
一般選抜	募集人員					13人	10人	12人
	延べ人数	志願者数				6人	17人	12人
		受験者数				6人	17人	12人
		合格者数				4人	9人	7人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				4人	8人	6人
		受験者数				4人	8人	6人
		合格者数				3人	8人	6人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	1人	1人
共通テスト利用入試	募集人員					3人	0人	2人
	延べ人数	志願者数				16人	20人	18人
		受験者数				16人	20人	18人
		合格者数				12人	14人	13人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				6人	8人	7人
		受験者数				6人	8人	7人
		合格者数				6人	7人	7人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					1人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	40人	40人	16人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	38人	57人	19人
		受験者数	0人	0人	0人	38人	56人	19人
		合格者数	0人	0人	0人	31人	42人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	25人	35人	12人
		受験者数	0人	0人	0人	24人	35人	12人
		合格者数	0人	0人	0人	23人	34人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	14人	18人	6人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				40人	40人	40人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.35	0.45	0.40
歩 留 率	—	—	—	0.45	0.43	0.44

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和６年度開設

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学	R4年度入学	R5年度入学	R6年度入学	R7年度入学	平均
総合型選抜	募集人員				12人	11人	12人
	延べ人数				14人	12人	13人
	志願者数				14人	12人	13人
	受験者数				14人	12人	13人
	合格者数				14人	12人	13人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				14人	12人	13人
	志願者数				14人	12人	13人
	受験者数				14人	12人	13人
学校推薦型選抜	合格者数				14人	12人	13人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				14人	12人	13人
	募集人員				16人	17人	17人
	延べ人数				15人	16人	16人
	志願者数				15人	16人	16人
	受験者数				13人	12人	13人
	合格者数				13人	12人	13人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
一般選抜	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				13人	12人	13人
	志願者数				13人	12人	13人
	受験者数				13人	12人	13人
	合格者数				13人	12人	13人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				10人	8人	9人
	募集人員				18人	18人	18人
	延べ人数				32人	19人	26人
共通テスト利用入試	志願者数				32人	19人	26人
	受験者数				23人	12人	18人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				15人	9人	12人
	志願者数				15人	9人	12人
	受験者数				15人	9人	12人
	合格者数				15人	9人	12人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
その他の特別選抜	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				6人	2人	4人
	募集人員				4人	4人	4人
	延べ人数				24人	15人	20人
	志願者数				24人	15人	20人
	受験者数				19人	7人	13人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				12人	7人	10人
合計	志願者数				12人	7人	10人
	受験者数				12人	7人	10人
	合格者数				12人	4人	8人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				4人	2人	3人
	募集人員				0人	0人	0人
	延べ人数				0人	1人	1人
	志願者数				0人	1人	1人
	受験者数				0人	1人	1人
合計	合格者数				0人	1人	1人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				0人	1人	1人
	志願者数				0人	1人	1人
	受験者数				0人	1人	1人
	合格者数				0人	1人	1人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				0人	0人	0人
合計	募集人員	0人	0人	0人	50人	50人	20人
	延べ人数	0人	0人	0人	85人	63人	30人
	志願者数	0人	0人	0人	85人	63人	30人
	受験者数	0人	0人	0人	69人	44人	23人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	0人	54人	41人	19人
	志願者数	0人	0人	0人	54人	41人	19人
	受験者数	0人	0人	0人	54人	38人	18人
合計	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	34人	24人	12人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学	R4年度入学	R5年度入学	R6年度入学	R7年度入学	平均
入学定員				50人	50人	50人
入学定員充足率	—	—	—	0.68	0.48	0.58
歩留率	—	—	—	0.49	0.55	0.52

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度開設

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員				10人	9人	10人
	延べ人数				10人	10人	10人
	志願者数				10人	10人	10人
	受験者数				10人	10人	10人
	合格者数				10人	10人	10人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				10人	10人	10人
	志願者数				10人	10人	10人
	受験者数				10人	10人	10人
	合格者数				10人	10人	10人
学校推薦型選抜	入学者数				10人	10人	10人
	募集人員				14人	15人	15人
	延べ人数				7人	33人	20人
	志願者数				7人	33人	20人
	受験者数				7人	21人	14人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				7人	22人	15人
	志願者数				7人	22人	15人
	受験者数				7人	20人	14人
一般選抜	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				5人	18人	12人
	募集人員				12人	12人	12人
	延べ人数				34人	33人	34人
	志願者数				32人	33人	33人
	受験者数				17人	19人	18人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
共通テスト利用入試	実人数				14人	16人	15人
	志願者数				13人	16人	15人
	受験者数				13人	13人	13人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				4人	8人	6人
	募集人員				4人	4人	4人
	延べ人数				29人	33人	31人
	志願者数				29人	33人	31人
	受験者数				18人	26人	22人
その他の特別選抜	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				13人	13人	13人
	志願者数				13人	13人	13人
	受験者数				11人	11人	11人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				3人	2人	3人
	募集人員				0人	0人	0人
合計	延べ人数				0人	1人	1人
	志願者数				0人	1人	1人
	受験者数				0人	1人	1人
	合格者数				0人	1人	1人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				0人	1人	1人
	志願者数				0人	1人	1人
	受験者数				0人	1人	1人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
合計	入学者数				0人	1人	1人
	募集人員	0人	0人	0人	40人	40人	16人
	延べ人数	0人	0人	0人	80人	110人	38人
	志願者数	0人	0人	0人	78人	110人	38人
	受験者数	0人	0人	0人	52人	77人	26人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	0人	44人	62人	21人
	志願者数	0人	0人	0人	43人	62人	21人
	受験者数	0人	0人	0人	41人	55人	19人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	22人	39人	12人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				40人	40人	40人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.55	0.98	0.76
歩 留 率	—	—	—	0.42	0.51	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度開設

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					23人	23人	23人
	延べ人数	志願者数				15人	12人	14人
		受験者数				15人	12人	14人
		合格者数				15人	12人	14人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				15人	12人	14人
		受験者数				15人	12人	14人
		合格者数				15人	12人	14人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					15人	12人	14人
学校推薦型選抜	募集人員					9人	9人	9人
	延べ人数	志願者数				9人	15人	12人
		受験者数				9人	15人	12人
		合格者数				9人	14人	12人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				9人	15人	12人
		受験者数				9人	15人	12人
		合格者数				9人	14人	12人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					7人	11人	9人
一般選抜	募集人員					6人	6人	6人
	延べ人数	志願者数				19人	8人	14人
		受験者数				19人	8人	14人
		合格者数				9人	5人	7人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				10人	5人	8人
		受験者数				10人	5人	8人
		合格者数				7人	4人	6人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					1人	2人	2人
共通テスト利用入試	募集人員					2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数				8人	8人	8人
		受験者数				8人	8人	8人
		合格者数				3人	3人	3人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				6人	3人	5人
		受験者数				6人	3人	5人
		合格者数				3人	1人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	40人	40人	16人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	51人	43人	19人
		受験者数	0人	0人	0人	51人	43人	19人
		合格者数	0人	0人	0人	36人	34人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	40人	35人	15人
		受験者数	0人	0人	0人	40人	35人	15人
		合格者数	0人	0人	0人	34人	31人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	23人	25人	10人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				40人	40人	40人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.58	0.63	0.60
歩 留 率	—	—	—	0.64	0.74	0.69

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度開設

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員				18人	15人	17人
	延べ人数				26人	30人	28人
	志願者数				26人	30人	28人
	受験者数				26人	30人	28人
	合格者数				26人	30人	28人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				26人	30人	28人
	志願者数				26人	30人	28人
	受験者数				26人	30人	28人
学校推薦型選抜	合格者数				26人	30人	28人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				26人	30人	28人
	募集人員				17人	20人	19人
	延べ人数				6人	13人	10人
	志願者数				6人	13人	10人
	受験者数				6人	10人	8人
	合格者数				6人	10人	8人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
一般選抜	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				5人	11人	8人
	志願者数				5人	11人	8人
	受験者数				5人	11人	8人
	合格者数				5人	10人	8人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				3人	9人	6人
	募集人員				12人	12人	12人
	延べ人数				13人	15人	14人
共通テスト利用入試	志願者数				11人	15人	13人
	受験者数				5人	7人	6人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				5人	6人	6人
	志願者数				4人	6人	5人
	受験者数				4人	5人	5人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
その他の特別選抜	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				1人	0人	1人
	募集人員				3人	3人	3人
	延べ人数				7人	9人	8人
	志願者数				7人	9人	8人
	受験者数				4人	4人	4人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				3人	4人	4人
合計	志願者数				3人	4人	4人
	受験者数				2人	2人	2人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				0人	0人	0人
	募集人員				0人	0人	0人
	延べ人数				0人	0人	0人
	志願者数				0人	0人	0人
	受験者数				0人	0人	0人
合計	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	実人数				0人	0人	0人
	志願者数				0人	0人	0人
	受験者数				0人	0人	0人
	合格者数				0人	0人	0人
	うち追加合格者数				0人	0人	0人
	辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数				0人	0人	0人
合計	募集人員	0人	0人	0人	50人	50人	20人
	延べ人数	0人	0人	0人	52人	67人	24人
	志願者数	0人	0人	0人	50人	67人	23人
	受験者数	0人	0人	0人	41人	51人	18人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	0人	39人	51人	18人
	志願者数	0人	0人	0人	38人	51人	18人
	受験者数	0人	0人	0人	37人	47人	17人
合計	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	30人	39人	14人
	募集人員	0人	0人	0人	50人	50人	20人
	延べ人数	0人	0人	0人	52人	67人	24人
	志願者数	0人	0人	0人	50人	67人	23人
	受験者数	0人	0人	0人	41人	51人	18人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				50人	50人	50人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.60	0.78	0.69
歩 留 率	—	—	—	0.73	0.76	0.75

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度開設

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		10人	10人	10人			10人
	延べ人数	志願者数	15人	14人	15人			15人
		受験者数	15人	14人	15人			15人
		合格者数	15人	14人	15人			15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	15人	14人	15人			15人
		受験者数	15人	14人	15人			15人
		合格者数	15人	14人	15人			15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		15人	14人	15人			15人
学校推薦型選抜	募集人員		20人	20人	20人			20人
	延べ人数	志願者数	1人	5人	11人			6人
		受験者数	1人	5人	11人			6人
		合格者数	1人	4人	8人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	1人	3人	8人			4人
		受験者数	1人	3人	8人			4人
		合格者数	1人	3人	8人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		1人	3人	5人			3人
一般選抜	募集人員		5人	5人	5人			5人
	延べ人数	志願者数	7人	15人	3人			8人
		受験者数	7人	14人	3人			8人
		合格者数	4人	8人	2人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	4人	8人	2人			5人
		受験者数	4人	7人	2人			4人
		合格者数	3人	6人	2人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		2人	6人	1人			3人
共通テスト利用入試	募集人員		5人	5人	5人			5人
	延べ人数	志願者数	5人	6人	2人			4人
		受験者数	5人	6人	2人			4人
		合格者数	4人	5人	0人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	4人	5人	1人			3人
		受験者数	4人	5人	1人			3人
		合格者数	4人	4人	0人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		1人	1人	0人			1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		40人	40人	40人	0人	0人	24人
	延べ人数	志願者数	28人	40人	31人	0人	0人	20人
		受験者数	28人	39人	31人	0人	0人	20人
		合格者数	24人	31人	25人	0人	0人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	24人	30人	26人	0人	0人	16人
		受験者数	24人	29人	26人	0人	0人	16人
		合格者数	23人	27人	25人	0人	0人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		19人	24人	21人	0人	0人	13人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	40人	40人	40人			40人
入 学 定 員 充 足 率	0.48	0.60	0.53	—	—	0.53
歩 留 率	0.79	0.77	0.84	—	—	0.80

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

大学学部学科等名：天理大学人間学部人間関係学科臨床心理専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	14人	16人	17人			16人
		受験者数	14人	16人	17人			16人
		合格者数	13人	13人	17人			14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	14人	16人	17人			16人
		受験者数	14人	16人	17人			16人
		合格者数	13人	13人	17人			14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		13人	13人	17人			14人
学校推薦型選抜	募集人員		15人	15人	15人			15人
	延べ人数	志願者数	26人	18人	12人			19人
		受験者数	26人	17人	12人			18人
		合格者数	12人	14人	12人			13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	20人	14人	11人			15人
		受験者数	20人	14人	11人			15人
		合格者数	12人	12人	11人			12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		8人	9人	8人			8人
一般選抜	募集人員		12人	12人	12人			12人
	延べ人数	志願者数	34人	28人	26人			29人
		受験者数	32人	28人	24人			28人
		合格者数	17人	14人	17人			16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	18人	18人	12人			16人
		受験者数	18人	18人	11人			16人
		合格者数	14人	12人	10人			12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		6人	4人	4人			5人
共通テスト利用入試	募集人員		3人	3人	3人			3人
	延べ人数	志願者数	19人	11人	25人			18人
		受験者数	19人	11人	25人			18人
		合格者数	6人	7人	16人			10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	15人	9人	11人			12人
		受験者数	15人	9人	11人			12人
		合格者数	5人	6人	9人			7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		1人	1人	1人			1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	3人	2人	1人			2人
		受験者数	3人	2人	1人			2人
		合格者数	1人	1人	0人			1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	3人	2人	1人			2人
		受験者数	3人	2人	1人			2人
		合格者数	1人	1人	0人			1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		30人	30人	30人	0人	0人	18人
	延べ人数	志願者数	96人	75人	81人	0人	0人	50人
		受験者数	94人	74人	79人	0人	0人	49人
		合格者数	49人	49人	62人	0人	0人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	70人	59人	52人	0人	0人	36人
		受験者数	70人	59人	51人	0人	0人	36人
		合格者数	45人	44人	47人	0人	0人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		28人	27人	30人	0人	0人	17人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
入学定員	30人	30人	30人			30人
入学定員充足率	0.93	0.90	1.00	—	—	0.94
歩留率	0.57	0.55	0.48	—	—	0.54

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

大学学部学科等名：天理大学人間学部人間関係学科生涯教育専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	11人	10人	6人			9人
		受験者数	11人	10人	6人			9人
		合格者数	11人	10人	6人			9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	11人	10人	6人			9人
		受験者数	11人	10人	6人			9人
		合格者数	11人	10人	6人			9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		11人	10人	6人			9人
学校推薦型選抜	募集人員		10人	10人	10人			10人
	延べ人数	志願者数	3人	8人	9人			7人
		受験者数	3人	8人	7人			6人
		合格者数	2人	7人	7人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	2人	7人	9人			6人
		受験者数	2人	7人	7人			5人
		合格者数	2人	7人	7人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		2人	6人	6人			5人
一般選抜	募集人員		8人	8人	8人			8人
	延べ人数	志願者数	8人	3人	6人			6人
		受験者数	8人	2人	6人			5人
		合格者数	6人	2人	4人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	6人	3人	4人			4人
		受験者数	6人	2人	4人			4人
		合格者数	5人	2人	4人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		2人	2人	2人			2人
共通テスト利用入試	募集人員		2人	2人	2人			2人
	延べ人数	志願者数	3人	4人	12人			6人
		受験者数	3人	4人	12人			6人
		合格者数	2人	4人	8人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	2人	4人	6人			4人
		受験者数	2人	4人	6人			4人
		合格者数	2人	4人	5人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		1人	1人	1人			1人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	1人	0人			0人
		受験者数	0人	1人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	1人	0人			0人
		受験者数	0人	1人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		20人	20人	20人	0人	0人	12人
	延べ人数	志願者数	25人	26人	33人	0人	0人	17人
		受験者数	25人	25人	31人	0人	0人	16人
		合格者数	21人	23人	25人	0人	0人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	21人	25人	25人	0人	0人	14人
		受験者数	21人	24人	23人	0人	0人	14人
		合格者数	20人	23人	22人	0人	0人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		16人	19人	15人	0人	0人	10人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	20人	20人	20人			20人
入 学 定 員 充 足 率	0.80	0.95	0.75	—	—	0.83
歩 留 率	0.76	0.83	0.60	—	—	0.73

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

大学学部学科等名：天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	20人	21人	17人			19人
		受験者数	20人	21人	17人			19人
		合格者数	17人	20人	17人			18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	20人	21人	17人			19人
		受験者数	20人	21人	17人			19人
		合格者数	17人	20人	17人			18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		17人	20人	17人			18人
学校推薦型選抜	募集人員		15人	15人	15人			15人
	延べ人数	志願者数	18人	13人	10人			14人
		受験者数	18人	13人	10人			14人
		合格者数	14人	10人	10人			11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	15人	10人	8人			11人
		受験者数	15人	10人	8人			11人
		合格者数	12人	9人	8人			10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		11人	8人	6人			8人
一般選抜	募集人員		13人	13人	13人			13人
	延べ人数	志願者数	12人	12人	13人			12人
		受験者数	12人	12人	13人			12人
		合格者数	5人	7人	11人			8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	6人	7人	7人			7人
		受験者数	6人	7人	7人			7人
		合格者数	4人	6人	7人			6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		3人	3人	3人			3人
共通テスト利用入試	募集人員		2人	2人	2人			2人
	延べ人数	志願者数	6人	7人	12人			8人
		受験者数	6人	7人	12人			8人
		合格者数	2人	5人	8人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	4人	5人	5人			5人
		受験者数	4人	5人	5人			5人
		合格者数	2人	4人	4人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	1人	0人			0人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		30人	30人	30人	0人	0人	18人
	延べ人数	志願者数	56人	53人	52人	0人	0人	32人
		受験者数	56人	53人	52人	0人	0人	32人
		合格者数	38人	42人	46人	0人	0人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	45人	43人	37人	0人	0人	25人
		受験者数	45人	43人	37人	0人	0人	25人
		合格者数	35人	39人	36人	0人	0人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		31人	32人	26人	0人	0人	18人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
入学定員	30人	30人	30人			30人
入学定員充足率	1.03	1.07	0.87	—	—	0.99
歩留率	0.82	0.76	0.57	—	—	0.71

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	6人	10人	12人			9人
		受験者数	6人	10人	12人			9人
		合格者数	6人	10人	12人			9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	6人	10人	12人			9人
		受験者数	6人	10人	12人			9人
		合格者数	6人	10人	12人			9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		6人	10人	12人			9人
学校推薦型選抜	募集人員		20人	20人	20人			20人
	延べ人数	志願者数	19人	23人	25人			22人
		受験者数	19人	23人	25人			22人
		合格者数	13人	20人	22人			18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	14人	21人	21人			19人
		受験者数	14人	21人	21人			19人
		合格者数	12人	19人	19人			17人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		9人	15人	12人			12人
一般選抜	募集人員		17人	17人	17人			17人
	延べ人数	志願者数	23人	18人	23人			21人
		受験者数	22人	16人	18人			19人
		合格者数	16人	6人	15人			12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	17人	12人	13人			14人
		受験者数	16人	10人	11人			12人
		合格者数	14人	5人	10人			10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		8人	1人	2人			4人
共通テスト利用入試	募集人員		3人	3人	3人			3人
	延べ人数	志願者数	16人	15人	16人			16人
		受験者数	16人	15人	16人			16人
		合格者数	12人	14人	13人			13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	14人	11人	7人			11人
		受験者数	14人	11人	7人			11人
		合格者数	11人	11人	7人			10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		3人	4人	2人			3人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		40人	40人	40人	0人	0人	24人
	延べ人数	志願者数	64人	66人	76人	0人	0人	41人
		受験者数	63人	64人	71人	0人	0人	40人
		合格者数	47人	50人	62人	0人	0人	32人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	51人	54人	53人	0人	0人	32人
		受験者数	50人	52人	51人	0人	0人	31人
		合格者数	43人	45人	48人	0人	0人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		26人	30人	28人	0人	0人	17人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	40人	40人	40人			40人
入 学 定 員 充 足 率	0.65	0.75	0.70	—	—	0.70
歩 留 率	0.55	0.60	0.45	—	—	0.53

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）
大学学部学科等名：天理大学文学部歴史文化学科

別紙２の２－１２

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員	0人	0人	0人			0人
	延べ人数	8人	11人	10人			10人
	志願者数	8人	11人	10人			10人
	受験者数	8人	11人	10人			10人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
	辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	8人	11人	10人			10人
	志願者数	8人	11人	10人			10人
	受験者数	8人	11人	10人			10人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
	辞退者数	0人	0人	0人			0人
学校推薦型選抜	入学者数	8人	11人	10人			10人
	募集人員	24人	24人	24人			24人
	延べ人数	36人	44人	21人			34人
	志願者数	36人	44人	21人			34人
	受験者数	28人	38人	20人			29人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
	辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	32人	41人	21人			31人
	志願者数	32人	41人	21人			31人
	受験者数	27人	35人	20人			27人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
一般選抜	入学者数	14人	19人	13人			15人
	募集人員	22人	22人	22人			22人
	延べ人数	53人	35人	43人			44人
	志願者数	45人	29人	36人			37人
	受験者数	32人	18人	22人			24人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
	辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	45人	27人	29人			34人
	志願者数	37人	23人	25人			28人
	受験者数	31人	18人	18人			22人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
共通テスト利用入試	入学者数	11人	6人	4人			7人
	募集人員	4人	4人	4人			4人
	延べ人数	18人	24人	50人			31人
	志願者数	18人	24人	50人			31人
	受験者数	9人	20人	39人			23人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
	辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	16人	19人	28人			21人
	志願者数	16人	19人	28人			21人
	受験者数	9人	17人	23人			16人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
その他の特別選抜	入学者数	2人	4人	2人			3人
	募集人員	0人	0人	0人			0人
	延べ人数	2人	0人	1人			1人
	志願者数	1人	0人	1人			1人
	受験者数	1人	0人	0人			0人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
	辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	2人	0人	1人			1人
	志願者数	1人	0人	1人			1人
	受験者数	1人	0人	0人			0人
	合格者数	0人	0人	0人			0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
合計	入学者数	1人	0人	0人			0人
	募集人員	50人	50人	50人	0人	0人	30人
	延べ人数	117人	114人	125人	0人	0人	71人
	志願者数	108人	108人	118人	0人	0人	67人
	受験者数	78人	87人	91人	0人	0人	51人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	103人	98人	89人	0人	0人	58人
	志願者数	94人	94人	85人	0人	0人	55人
	受験者数	76人	81人	71人	0人	0人	46人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	36人	40人	29人	0人	0人	21人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	50人	50人	50人			50人
入 学 定 員 充 足 率	0.72	0.80	0.58	—	—	0.70
歩 留 率	0.46	0.46	0.32	—	—	0.41

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					12人	10人	11人
	延べ人数	志願者数				9人	16人	13人
		受験者数				9人	16人	13人
		合格者数				8人	16人	12人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				9人	15人	12人
		受験者数				9人	15人	12人
		合格者数				8人	15人	12人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					8人	13人	11人
学校推薦型選抜	募集人員					14人	17人	16人
	延べ人数	志願者数				22人	21人	22人
		受験者数				22人	21人	22人
		合格者数				22人	14人	18人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				19人	13人	16人
		受験者数				19人	13人	16人
		合格者数				19人	13人	16人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					13人	10人	12人
一般選抜	募集人員					11人	10人	11人
	延べ人数	志願者数				9人	5人	7人
		受験者数				7人	5人	6人
		合格者数				6人	4人	5人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				7人	3人	5人
		受験者数				6人	3人	5人
		合格者数				5人	3人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					2人	0人	1人
共通テスト利用入試	募集人員					3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数				4人	5人	5人
		受験者数				4人	5人	5人
		合格者数				4人	3人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				2人	2人	2人
		受験者数				2人	2人	2人
		合格者数				2人	1人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					1人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	40人	40人	16人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	44人	47人	18人
		受験者数	0人	0人	0人	42人	47人	18人
		合格者数	0人	0人	0人	40人	37人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	37人	33人	14人
		受験者数	0人	0人	0人	36人	33人	14人
		合格者数	0人	0人	0人	34人	32人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	24人	24人	10人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				40人	40人	40人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.60	0.60	0.60
歩 留 率	—	—	—	0.60	0.65	0.62

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和６年度開設

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数				4人	6人	5人
		受験者数				4人	6人	5人
		合格者数				4人	6人	5人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				4人	6人	5人
		受験者数				4人	6人	5人
		合格者数				4人	6人	5人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					4人	6人	5人
学校推薦型選抜	募集人員					14人	14人	14人
	延べ人数	志願者数				7人	1人	4人
		受験者数				7人	1人	4人
		合格者数				6人	1人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				6人	1人	4人
		受験者数				6人	1人	4人
		合格者数				6人	1人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					5人	1人	3人
一般選抜	募集人員					10人	10人	10人
	延べ人数	志願者数				7人	4人	6人
		受験者数				7人	4人	6人
		合格者数				4人	4人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				4人	2人	3人
		受験者数				4人	2人	3人
		合格者数				3人	2人	3人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					2人	1人	2人
共通テスト利用入試	募集人員					2人	2人	2人
	延べ人数	志願者数				0人	5人	3人
		受験者数				0人	5人	3人
		合格者数				0人	3人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	2人	1人
		受験者数				0人	2人	1人
		合格者数				0人	2人	1人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	1人	1人
その他の特別選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	1人	1人
		受験者数				0人	1人	1人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	1人	1人
		受験者数				0人	1人	1人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	40人	40人	16人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	18人	17人	7人
		受験者数	0人	0人	0人	18人	17人	7人
		合格者数	0人	0人	0人	14人	14人	6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	14人	12人	5人
		受験者数	0人	0人	0人	14人	12人	5人
		合格者数	0人	0人	0人	13人	11人	5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	11人	9人	4人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				40人	40人	40人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.28	0.23	0.25
歩 留 率	—	—	—	0.79	0.64	0.71

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度開設

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					19人	16人	18人
	延べ人数	志願者数				17人	34人	26人
		受験者数				17人	34人	26人
		合格者数				17人	33人	25人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				17人	34人	26人
		受験者数				17人	34人	26人
		合格者数				17人	33人	25人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					17人	32人	25人
学校推薦型選抜	募集人員					21人	24人	23人
	延べ人数	志願者数				19人	17人	18人
		受験者数				19人	14人	17人
		合格者数				19人	8人	14人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				17人	11人	14人
		受験者数				17人	11人	14人
		合格者数				17人	8人	13人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					12人	5人	9人
一般選抜	募集人員					16人	16人	16人
	延べ人数	志願者数				13人	31人	22人
		受験者数				13人	29人	21人
		合格者数				10人	22人	16人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				10人	18人	14人
		受験者数				10人	17人	14人
		合格者数				8人	15人	12人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					4人	7人	6人
共通テスト利用入試	募集人員					4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数				18人	16人	17人
		受験者数				18人	16人	17人
		合格者数				16人	15人	16人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				8人	7人	8人
		受験者数				8人	7人	8人
		合格者数				8人	7人	8人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					2人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	1人	1人
		受験者数				0人	1人	1人
		合格者数				0人	1人	1人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	1人	1人
		受験者数				0人	1人	1人
		合格者数				0人	1人	1人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	1人	1人
合計	募集人員		0人	0人	0人	60人	60人	24人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	67人	99人	33人
		受験者数	0人	0人	0人	67人	94人	32人
		合格者数	0人	0人	0人	62人	79人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	52人	71人	25人
		受験者数	0人	0人	0人	52人	70人	24人
		合格者数	0人	0人	0人	50人	64人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	35人	46人	16人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				60人	60人	60人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.58	0.77	0.68
歩 留 率	—	—	—	0.56	0.58	0.57

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度開設

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					21人	18人	20人
	延べ人数	志願者数				8人	16人	12人
		受験者数				8人	16人	12人
		合格者数				8人	16人	12人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				8人	16人	12人
		受験者数				8人	16人	12人
		合格者数				8人	16人	12人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					8人	15人	12人
学校推薦型選抜	募集人員					21人	24人	23人
	延べ人数	志願者数				4人	9人	7人
		受験者数				4人	9人	7人
		合格者数				4人	7人	6人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				4人	7人	6人
		受験者数				4人	7人	6人
		合格者数				4人	7人	6人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					3人	4人	4人
一般選抜	募集人員					15人	15人	15人
	延べ人数	志願者数				8人	6人	7人
		受験者数				7人	6人	7人
		合格者数				5人	5人	5人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				6人	5人	6人
		受験者数				5人	5人	5人
		合格者数				4人	5人	5人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					1人	2人	2人
共通テスト利用入試	募集人員					3人	3人	3人
	延べ人数	志願者数				10人	9人	10人
		受験者数				10人	9人	10人
		合格者数				10人	9人	10人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				4人	3人	4人
		受験者数				4人	3人	4人
		合格者数				4人	3人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					1人	0人	1人
その他の特別選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	0人	60人	60人	24人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	30人	40人	14人
		受験者数	0人	0人	0人	29人	40人	14人
		合格者数	0人	0人	0人	27人	37人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	22人	31人	11人
		受験者数	0人	0人	0人	21人	31人	10人
		合格者数	0人	0人	0人	20人	31人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	13人	21人	7人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				60人	60人	60人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.22	0.35	0.28
歩 留 率	—	—	—	0.48	0.57	0.52

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度収容定員に係る学則変更

165人〔英米語専攻（廃止）70、中国語専攻（廃止）30、韓国・朝鮮語専攻（廃止）30、スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻（廃止）35〕
→60人

大学学部学科等名：天理大学国際学部外国語学科英語専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		9人	9人	9人			9人
	延べ人数	志願者数	27人	18人	24人			23人
		受験者数	27人	18人	23人			23人
		合格者数	27人	18人	23人			23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	27人	18人	24人			23人
		受験者数	27人	18人	23人			23人
		合格者数	27人	18人	23人			23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		27人	18人	22人			22人
学校推薦型選抜	募集人員		35人	35人	35人			35人
	延べ人数	志願者数	32人	28人	28人			29人
		受験者数	31人	28人	27人			29人
		合格者数	28人	24人	25人			26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	28人	24人	24人			25人
		受験者数	27人	24人	23人			25人
		合格者数	26人	22人	23人			24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		16人	16人	17人			16人
一般選抜	募集人員		21人	21人	21人			21人
	延べ人数	志願者数	46人	36人	17人			33人
		受験者数	42人	32人	15人			30人
		合格者数	23人	19人	11人			18人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	30人	22人	8人			20人
		受験者数	27人	19人	7人			18人
		合格者数	18人	17人	7人			14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		6人	9人	2人			6人
共通テスト利用入試	募集人員		5人	5人	5人			5人
	延べ人数	志願者数	19人	17人	15人			17人
		受験者数	19人	17人	15人			17人
		合格者数	11人	9人	10人			10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	16人	14人	7人			12人
		受験者数	16人	14人	7人			12人
		合格者数	9人	8人	7人			8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		2人	1人	2人			2人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		70人	70人	70人	0人	0人	42人
	延べ人数	志願者数	124人	99人	84人	0人	0人	61人
		受験者数	119人	95人	80人	0人	0人	59人
		合格者数	89人	70人	69人	0人	0人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	101人	78人	63人	0人	0人	48人
		受験者数	97人	75人	60人	0人	0人	46人
		合格者数	80人	65人	60人	0人	0人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		51人	44人	43人	0人	0人	28人

２．入学定員充足率

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員			70人	70人	70人			70人
入 学 定 員 充 足 率			0.73	0.63	0.61	—	—	0.66
歩 留 率			0.57	0.63	0.62	—	—	0.61

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

大学学部学科等名：天理大学国際学部外国語学科中国語専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		4人	4人	4人			4人
	延べ人数	志願者数	5人	7人	5人			6人
		受験者数	5人	7人	5人			6人
		合格者数	5人	7人	5人			6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	5人	7人	5人			6人
		受験者数	5人	7人	5人			6人
		合格者数	5人	7人	5人			6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		5人	7人	5人			6人
学校推薦型選抜	募集人員		15人	15人	15人			15人
	延べ人数	志願者数	9人	15人	7人			10人
		受験者数	9人	15人	7人			10人
		合格者数	6人	14人	7人			9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	8人	14人	7人			10人
		受験者数	8人	14人	7人			10人
		合格者数	6人	14人	7人			9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		4人	11人	6人			7人
一般選抜	募集人員		9人	9人	9人			9人
	延べ人数	志願者数	16人	4人	11人			10人
		受験者数	16人	3人	9人			9人
		合格者数	8人	2人	6人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	8人	4人	5人			6人
		受験者数	8人	3人	4人			5人
		合格者数	6人	2人	3人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		2人	1人	0人			1人
共通テスト利用入試	募集人員		2人	2人	2人			2人
	延べ人数	志願者数	5人	1人	1人			2人
		受験者数	5人	1人	1人			2人
		合格者数	5人	1人	1人			2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	5人	1人	1人			2人
		受験者数	5人	1人	1人			2人
		合格者数	5人	1人	1人			2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		30人	30人	30人	0人	0人	18人
	延べ人数	志願者数	35人	27人	24人	0人	0人	17人
		受験者数	35人	26人	22人	0人	0人	17人
		合格者数	24人	24人	19人	0人	0人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	26人	26人	18人	0人	0人	14人
		受験者数	26人	25人	17人	0人	0人	14人
		合格者数	22人	24人	16人	0人	0人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		11人	19人	11人	0人	0人	8人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	30人	30人	30人			30人
入 学 定 員 充 足 率	0.37	0.63	0.37	—	—	0.46
歩 留 率	0.46	0.79	0.58	—	—	0.61

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

1. 各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		4人	4人	4人			4人
	延べ人数	志願者数	19人	9人	11人			13人
		受験者数	19人	9人	11人			13人
		合格者数	18人	9人	11人			13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	19人	9人	11人			13人
		受験者数	19人	9人	11人			13人
		合格者数	18人	9人	11人			13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		18人	9人	11人			13人
学校推薦型選抜	募集人員		15人	15人	15人			15人
	延べ人数	志願者数	19人	27人	22人			23人
		受験者数	19人	27人	22人			23人
		合格者数	15人	22人	20人			19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	14人	20人	18人			17人
		受験者数	14人	20人	18人			17人
		合格者数	12人	18人	17人			16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		12人	16人	13人			14人
一般選抜	募集人員		9人	9人	9人			9人
	延べ人数	志願者数	18人	15人	8人			14人
		受験者数	17人	15人	6人			13人
		合格者数	6人	9人	5人			7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	10人	10人	5人			8人
		受験者数	10人	10人	4人			8人
		合格者数	5人	9人	4人			6人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		1人	4人	0人			2人
共通テスト利用入試	募集人員		2人	2人	2人			2人
	延べ人数	志願者数	6人	10人	3人			6人
		受験者数	6人	10人	3人			6人
		合格者数	3人	6人	3人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	5人	8人	1人			5人
		受験者数	5人	8人	1人			5人
		合格者数	3人	5人	1人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	1人			0人
		受験者数	0人	0人	1人			0人
		合格者数	0人	0人	1人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	0人	1人			0人
		受験者数	0人	0人	1人			0人
		合格者数	0人	0人	1人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	1人			0人
合計	募集人員		30人	30人	30人	0人	0人	18人
	延べ人数	志願者数	62人	61人	45人	0人	0人	34人
		受験者数	61人	61人	43人	0人	0人	33人
		合格者数	42人	46人	40人	0人	0人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	48人	47人	36人	0人	0人	26人
		受験者数	48人	47人	35人	0人	0人	26人
		合格者数	38人	41人	34人	0人	0人	23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		31人	29人	25人	0人	0人	17人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	30人	30人	30人			30人
入 学 定 員 充 足 率	1.03	0.97	0.83	—	—	0.94
歩 留 率	0.74	0.63	0.63	—	—	0.66

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

大学学部学科等名：天理大学国際学部外国語学科スペイン語・ブラジルポルトガル語専攻

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		4人	4人	4人			4人
	延べ人数	志願者数	5人	7人	3人			5人
		受験者数	5人	6人	3人			5人
		合格者数	5人	6人	3人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	5人	7人	3人			5人
		受験者数	5人	6人	3人			5人
		合格者数	5人	6人	3人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		5人	6人	3人			5人
学校推薦型選抜	募集人員		17人	17人	17人			17人
	延べ人数	志願者数	3人	6人	8人			6人
		受験者数	3人	6人	8人			6人
		合格者数	2人	5人	8人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	3人	5人	8人			5人
		受験者数	3人	5人	8人			5人
		合格者数	2人	5人	8人			5人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		2人	5人	5人			4人
一般選抜	募集人員		11人	11人	11人			11人
	延べ人数	志願者数	1人	10人	5人			5人
		受験者数	1人	9人	2人			4人
		合格者数	1人	7人	2人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	1人	9人	3人			4人
		受験者数	1人	8人	1人			3人
		合格者数	1人	7人	1人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		1人	3人	0人			1人
共通テスト利用入試	募集人員		3人	3人	3人			3人
	延べ人数	志願者数	4人	7人	6人			6人
		受験者数	4人	7人	6人			6人
		合格者数	3人	5人	4人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	4人	6人	3人			4人
		受験者数	4人	6人	3人			4人
		合格者数	3人	4人	3人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		2人	2人	1人			2人
その他の特別選抜	募集人員		0人	0人	0人			0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人			0人
		受験者数	0人	0人	0人			0人
		合格者数	0人	0人	0人			0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
合計	募集人員		35人	35人	35人	0人	0人	21人
	延べ人数	志願者数	13人	30人	22人	0人	0人	13人
		受験者数	13人	28人	19人	0人	0人	12人
		合格者数	11人	23人	17人	0人	0人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	13人	27人	17人	0人	0人	11人
		受験者数	13人	25人	15人	0人	0人	11人
		合格者数	11人	22人	15人	0人	0人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		10人	16人	9人	0人	0人	7人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	35人	35人	35人			35人
入 学 定 員 充 足 率	0.29	0.46	0.26	—	—	0.33
歩 留 率	0.91	0.70	0.53	—	—	0.71

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

			R3年度入学	R4年度入学	R5年度入学	R6年度入学	R7年度入学	平均
総合型選抜	募集人員					27人	26人	27人
	延べ人数	志願者数				37人	46人	42人
		受験者数				37人	46人	42人
		合格者数				37人	46人	42人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				37人	46人	42人
		受験者数				37人	46人	42人
		合格者数				37人	46人	42人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
学校推薦型選抜	入学人数					37人	46人	42人
	募集人員					13人	14人	14人
	延べ人数	志願者数				14人	8人	11人
		受験者数				14人	8人	11人
		合格者数				12人	6人	9人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				12人	6人	9人
		受験者数				12人	6人	9人
		合格者数				12人	6人	9人
一般選抜		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学人数					11人	5人	8人
	募集人員					7人	8人	8人
	延べ人数	志願者数				4人	7人	6人
		受験者数				4人	5人	5人
		合格者数				4人	1人	3人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				4人	4人	4人
共通テスト利用入試		受験者数				4人	3人	4人
		合格者数				4人	1人	3人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学人数					2人	1人	2人
	募集人員					3人	2人	3人
	延べ人数	志願者数				3人	2人	3人
		受験者数				3人	2人	3人
		合格者数				1人	2人	2人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
その他の特別選抜		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				1人	1人	1人
		受験者数				1人	1人	1人
		合格者数				1人	1人	1人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学人数					0人	0人	0人
	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	1人	1人
		受験者数				0人	1人	1人
合計		合格者数				0人	1人	1人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	1人	1人
		受験者数				0人	1人	1人
		合格者数				0人	1人	1人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学人数					0人	0人	0人
	募集人員		0人	0人	0人	50人	50人	20人
合計	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	58人	64人	24人
		受験者数	0人	0人	0人	58人	62人	24人
		合格者数	0人	0人	0人	54人	56人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	54人	58人	22人
		受験者数	0人	0人	0人	54人	57人	22人
		合格者数	0人	0人	0人	54人	55人	22人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合計	入学人数		0人	0人	0人	50人	52人	20人
	募集人員							
	延べ人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						
		うち追加合格者数						
		辞退者数						
	実人数	志願者数						
		受験者数						
		合格者数						

2. 入学定員充足率

	R3年度入学	R4年度入学	R5年度入学	R6年度入学	R7年度入学	平均
入学定員				50人	50人	50人
入学定員充足率	—	—	—	1.00	1.04	1.02
歩留率	—	—	—	0.93	0.93	0.93

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度開設

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				3人	8人	6人
		受験者数				3人	8人	6人
		合格者数				3人	8人	6人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				3人	8人	6人
		受験者数				3人	8人	6人
		合格者数				3人	8人	6人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					3人	8人	6人
学校推薦型選抜	募集人員					4人	4人	4人
	延べ人数	志願者数				1人	7人	4人
		受験者数				1人	7人	4人
		合格者数				1人	7人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				1人	7人	4人
		受験者数				1人	7人	4人
		合格者数				1人	7人	4人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					1人	7人	4人
一般選抜	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
共通テスト利用入試	募集人員					0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				0人	0人	0人
		受験者数				0人	0人	0人
		合格者数				0人	0人	0人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人員					36人	36人	36人
	延べ人数	志願者数				15人	21人	18人
		受験者数				15人	21人	18人
		合格者数				15人	16人	16人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	実人数	志願者数				15人	21人	18人
		受験者数				15人	21人	18人
		合格者数				15人	16人	16人
		うち追加合格者数				0人	0人	0人
		辞退者数				0人	0人	0人
	入学者数					12人	14人	13人
合計	募集人員		0人	0人	0人	40人	40人	16人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	19人	36人	11人
		受験者数	0人	0人	0人	19人	36人	11人
		合格者数	0人	0人	0人	19人	31人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	19人	36人	11人
		受験者数	0人	0人	0人	19人	36人	11人
		合格者数	0人	0人	0人	19人	31人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	0人	16人	29人	9人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員				40人	40人	40人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	—	0.40	0.73	0.56
歩 留 率	—	—	—	0.84	0.94	0.89

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和６年度開設

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）
大学学部学科等名：天理大学国際学部地域文化学科

別紙２の２－23

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員		91人	91人	91人			91人
	延べ人数	志願者数	89人	96人	93人			93人
		受験者数	89人	95人	93人			92人
		合格者数	89人	95人	93人			92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	89人	96人	93人			93人
		受験者数	89人	95人	93人			92人
		合格者数	89人	95人	93人			92人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		89人	95人	92人			92人
学校推薦型選抜	募集人員		61人	61人	61人			61人
	延べ人数	志願者数	33人	28人	24人			28人
		受験者数	33人	28人	24人			28人
		合格者数	25人	24人	22人			24人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	30人	25人	23人			26人
		受験者数	30人	25人	23人			26人
		合格者数	24人	23人	22人			23人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		20人	20人	21人			20人
一般選抜	募集人員		13人	13人	13人			13人
	延べ人数	志願者数	7人	6人	13人			9人
		受験者数	7人	6人	12人			8人
		合格者数	3人	4人	6人			4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	5人	4人	5人			5人
		受験者数	5人	4人	4人			4人
		合格者数	3人	3人	4人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	2人	2人			1人
共通テスト利用入試	募集人員		3人	3人	3人			3人
	延べ人数	志願者数	3人	5人	3人			4人
		受験者数	3人	5人	3人			4人
		合格者数	2人	4人	2人			3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	3人	4人	2人			3人
		受験者数	3人	4人	2人			3人
		合格者数	2人	3人	2人			2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		0人	0人	0人			0人
その他の特別選抜	募集人員		27人	27人	27人			27人
	延べ人数	志願者数	42人	14人	9人			22人
		受験者数	40人	13人	9人			21人
		合格者数	38人	13人	9人			20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	実人数	志願者数	42人	14人	9人			22人
		受験者数	40人	13人	9人			21人
		合格者数	38人	13人	9人			20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人			0人
		辞退者数	0人	0人	0人			0人
	入学者数		29人	11人	8人			16人
合計	募集人員		195人	195人	195人	0人	0人	117人
	延べ人数	志願者数	174人	149人	142人	0人	0人	93人
		受験者数	172人	147人	141人	0人	0人	92人
		合格者数	157人	140人	132人	0人	0人	86人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	169人	143人	132人	0人	0人	89人
		受験者数	167人	141人	131人	0人	0人	88人
		合格者数	156人	137人	130人	0人	0人	85人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		138人	128人	123人	0人	0人	78人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	195人	195人	195人			195人
入 学 定 員 充 足 率	0.71	0.66	0.63	—	—	0.66
歩 留 率	0.88	0.91	0.93	—	—	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より学生募集停止

既設学科等の入学定員の充足状況（直近５年間）
大学学部学科等名：天理大学体育学部体育学科

別紙２の２－24

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

１．各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員	90人	90人	90人	135人	135人	108人
	延べ人数	141人	178人	170人	200人	249人	188人
		141人	178人	170人	200人	249人	188人
		127人	150人	159人	200人	218人	171人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	141人	178人	170人	200人	249人	188人
		141人	178人	170人	200人	249人	188人
		127人	150人	159人	200人	218人	171人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	125人	150人	159人	199人	218人	170人
学校推薦型選抜	募集人員	60人	60人	60人	60人	75人	63人
	延べ人数	103人	135人	96人	83人	202人	124人
		103人	135人	93人	83人	198人	122人
		65人	74人	83人	68人	103人	79人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	84人	107人	69人	55人	111人	85人
		84人	107人	67人	55人	109人	84人
		58人	67人	63人	51人	83人	64人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	53人	64人	55人	42人	74人	58人
一般選抜	募集人員	50人	50人	50人	45人	30人	45人
	延べ人数	119人	154人	52人	36人	58人	84人
		117人	144人	52人	36人	58人	81人
		74人	52人	32人	19人	13人	38人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	59人	65人	24人	17人	27人	38人
		57人	61人	24人	17人	27人	37人
		51人	38人	20人	14人	10人	27人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	22人	19人	6人	6人	5人	12人
共通テスト利用入試	募集人員	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	18人	26人	19人	24人	28人	23人
		18人	26人	19人	24人	28人	23人
		6人	7人	10人	15人	7人	9人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	16人	19人	8人	11人	13人	13人
		16人	19人	8人	11人	13人	13人
		6人	6人	5人	7人	4人	6人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	1人	0人	0人	0人	0人
その他の特別選抜	募集人員	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	2人	0人	1人	0人	1人	1人
		2人	0人	1人	0人	1人	1人
		2人	0人	1人	0人	1人	1人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	2人	0人	1人	0人	1人	1人
		2人	0人	1人	0人	1人	1人
		2人	0人	1人	0人	1人	1人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	2人	0人	1人	0人	1人	1人
合計	募集人員	200人	200人	200人	240人	240人	216人
	延べ人数	383人	493人	338人	343人	538人	419人
		381人	483人	335人	343人	534人	415人
		274人	283人	285人	302人	342人	297人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	302人	369人	272人	283人	401人	325人
		300人	365人	270人	283人	399人	323人
		244人	261人	248人	272人	316人	268人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	202人	234人	221人	247人	298人	240人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員	200人	200人	200人	240人	240人	216人
入 学 定 員 充 足 率	1.01	1.17	1.11	1.03	1.24	1.11
歩 留 率	0.74	0.83	0.78	0.82	0.87	0.81

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和6年度より入学定員変更

１．各選抜方法の状況

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
総合型選抜	募集人員				0人	11人	11人	7人
	延べ人数	志願者数			0人	26人	25人	17人
		受験者数			0人	26人	25人	17人
		合格者数			0人	25人	14人	13人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数			0人	26人	25人	17人
		受験者数			0人	26人	25人	17人
		合格者数			0人	25人	14人	13人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数				0人	25人	14人	13人
学校推薦型選抜	募集人員				34人	27人	34人	32人
	延べ人数	志願者数			47人	107人	131人	95人
		受験者数			47人	106人	130人	94人
		合格者数			46人	60人	62人	56人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数			47人	64人	55人	55人
		受験者数			47人	63人	54人	55人
		合格者数			46人	48人	47人	47人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数				46人	47人	46人	46人
一般選抜	募集人員				30人	27人	20人	26人
	延べ人数	志願者数			48人	79人	71人	66人
		受験者数			46人	78人	70人	65人
		合格者数			43人	24人	28人	32人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数			48人	31人	30人	36人
		受験者数			46人	30人	29人	35人
		合格者数			43人	14人	21人	26人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数				27人	7人	13人	16人
共通テスト利用入試	募集人員				6人	5人	5人	5人
	延べ人数	志願者数			6人	62人	38人	35人
		受験者数			5人	62人	38人	35人
		合格者数			5人	11人	20人	12人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数			6人	20人	14人	13人
		受験者数			5人	20人	14人	13人
		合格者数			5人	7人	9人	7人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数				5人	0人	1人	2人
その他の特別選抜	募集人員				0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数			0人	2人	0人	1人
		受験者数			0人	2人	0人	1人
		合格者数			0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数			0人	2人	0人	1人
		受験者数			0人	2人	0人	1人
		合格者数			0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
		辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数				0人	0人	0人	0人
合計	募集人員		0人	0人	70人	70人	70人	42人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	101人	276人	265人	128人
		受験者数	0人	0人	98人	274人	263人	127人
		合格者数	0人	0人	94人	120人	124人	68人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	101人	143人	124人	74人
		受験者数	0人	0人	98人	141人	122人	72人
		合格者数	0人	0人	94人	94人	91人	56人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数		0人	0人	78人	79人	74人	46人

２．入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
入 学 定 員			70人	70人	70人	70人
入 学 定 員 充 足 率	—	—	1.11	1.13	1.06	1.10
歩 留 率	—	—	0.83	0.66	0.60	0.69

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和５年度学部の設置者変更

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
総合型選抜	募集人員			0人	5人	5人	3人
	延べ人数			0人	8人	6人	5人
	志願者数			0人	8人	6人	5人
	受験者数			0人	8人	6人	5人
	合格者数			0人	8人	6人	5人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数			0人	8人	6人	5人
	志願者数			0人	8人	6人	5人
	受験者数			0人	8人	6人	5人
	合格者数			0人	8人	6人	5人
学校推薦型選抜	入学者数			0人	8人	6人	5人
	募集人員			14人	12人	12人	13人
	延べ人数			9人	36人	33人	26人
	志願者数			9人	36人	33人	26人
	受験者数			9人	24人	18人	17人
	合格者数			9人	24人	18人	17人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数			9人	33人	19人	20人
	志願者数			9人	33人	19人	20人
	受験者数			9人	27人	16人	17人
一般選抜	合格者数			9人	23人	15人	16人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数			9人	18人	12人	13人
	募集人員			13人	10人	10人	11人
	延べ人数			23人	73人	17人	38人
	志願者数			23人	71人	15人	36人
	受験者数			20人	19人	8人	16人
	合格者数			0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
共通テスト利用入試	実人数			21人	27人	7人	18人
	志願者数			21人	27人	6人	18人
	受験者数			20人	13人	6人	13人
	合格者数			0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数			15人	6人	2人	8人
	募集人員			3人	3人	3人	3人
	延べ人数			2人	38人	9人	16人
	志願者数			2人	38人	9人	16人
	受験者数			2人	15人	6人	8人
その他の特別選抜	合格者数			0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数			2人	15人	3人	7人
	志願者数			2人	15人	3人	7人
	受験者数			2人	7人	2人	4人
	合格者数			0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	入学者数			1人	2人	1人	1人
	募集人員			0人	0人	0人	0人
合計	延べ人数			0人	0人	0人	0人
	志願者数			0人	0人	0人	0人
	受験者数			0人	0人	0人	0人
	合格者数			0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
	実人数			0人	0人	0人	0人
	志願者数			0人	0人	0人	0人
	受験者数			0人	0人	0人	0人
	合格者数			0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人
	辞退者数			0人	0人	0人	0人
合計	入学者数	0人	0人	30人	30人	30人	18人
	募集人員	0人	0人	34人	155人	65人	51人
	延べ人数	0人	0人	34人	153人	63人	50人
	志願者数	0人	0人	31人	66人	38人	27人
	受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	0人	0人	32人	83人	35人	30人
	志願者数	0人	0人	32人	77人	31人	28人
	受験者数	0人	0人	31人	51人	29人	22人
	合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	25人	34人	21人	16人

2. 入学定員充足率

	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平均
入学定員			30人	30人	30人	30人
入学定員充足率	—	—	0.83	1.13	0.70	0.89
歩留率	—	—	0.81	0.52	0.55	0.62

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

令和５年度学部の設置者変更

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

別紙 3

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：本学資料請求への配布

	R6年度 入学者入試	R7年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	29755人	31172人	①取組概要 本学への（入試媒体業者含む）大学案内等の冊子・チラシの請求者への送付。 R6 (2024) 年度入試対象者は、R3～5年度に資料請求 R7 (2025) 年度入試対象者は、R4～6年度に資料請求 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 資料請求者から本学への受験率は、5%後半～6%前半で推移している。入学率は約5%であるが、受験者に限ると入学に至る割合は高い水準にある。このことから受験に至るまでの動線強化が重要と考え、資料請求者に対し、LINE等のSNSを活用して本学の魅力や入試情報を継続的に発信し、受験率の向上を図っている。
うち受験対象者数 (b)	14027人	14509人	
うち受験者数 (c)	792人	889人	
うち入学者数 (d)	620人	711人	
(受験率 c/b)	5. 6%	6. 1%	
(入学率 d/b)	4. 4%	4. 9%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：進路ガイダンス

	R6年度 入学者入試	R7年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	2574人	2986人	①取組概要 大学進学者を支援する企業等が催している高校内ガイダンスや合同進路相談会に本学関係者（入学課員が中心）が参加している。 ガイダンス及び進路相談会には、近畿圏の高校・会場を中心に訪問または参加し、本学に入学を希望あるいは興味のある受験生を対象にきめ細かな説明を実施。 R3 (2021)－参加数1, 225名<高校ガイダンス123件／会場相談会62件> R4 (2022)－参加数1, 562名<高校ガイダンス123件／会場相談会53件> R5 (2023)－参加数1, 360名<高校ガイダンス142件／会場相談会37件> R6 (2024)－参加数1, 656名<高校ガイダンス133件／会場相談会38件> ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 この取組は、高校生にとっても本学にとっても最初の接点となる重要な機会となる。ガイダンス及び相談会等の参加者のうち、10%を超える受験生が入学している。この接触をきっかけに資料請求へとつながるだけでなく、本学教職員と直接交流し、対面で伝えることで、本学への理解を一層深めてもらえる貴重な場となる。
うち受験対象者数 (b)	1266人	1328人	
うち受験者数 (c)	157人	199人	
うち入学者数 (d)	149人	173人	
(受験率 c/b)	12. 4%	15. 0%	
(入学率 d/b)	11. 8%	13. 0%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：オープンキャンパス

	R6年度 入学者入試	R7年度 入学者入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数 (a)	2382人	2617人	①取組概要 本学へ入学を希望する高校生を対象にオープンキャンパスを開催。学部学科での学びを紹介する学科説明や模擬授業、入試に関する説明、キャンパス見学等を通じて、本学の教育内容やキャンパスライフを知ることができる機会を提供。（※受験者のみ対象） R3 (2021)－4回（6/27、7/11、8/21、11/6） R4 (2022)－5回（3/25、6/25、7/17、8/27、8/28、11/6） R5 (2023)－7回（3/24、6/17、7/8、8/5、8/26、9/9、11/5） R6 (2024)－7回（3/22、6/16、7/14、8/10、8/24、9/8、11/3） ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパスの参加者は在学生や教職員と直接ふれあうことで、志望度を高めている。実際にオープンキャンパス参加者の受験率は50%前後、入学率も約40%後半と高く、本学にとって極めて重要なイベントになっている。より多くの受験生がオープンキャンパスに参加するよう効果的な広報活動を展開している。
うち受験対象者数 (b)	745人	804人	
うち受験者数 (c)	359人	411人	
うち入学者数 (d)	345人	380人	
(受験率 c/b)	48. 2%	51. 1%	
(入学率 d/b)	46. 3%	47. 3%	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
一	学長	ナガオ ヒナオ 永尾 比奈夫 ＜令和5年4月＞		Master of Arts in Religious Studies (米国)		天理大学 学長 (令和7.4～令和10.3)